

平成 11 年研究業績目録

(前段：和文業績)
後段：欧文業績

次 長 Deputy Director-General

原 著

- 岩崎輝雄, 後藤康影, 上畠鉄之丞. 温泉保養による身体所見の変化と消費・摂取エネルギーに関する研究. 公衆衛生研究. 1998; 47(4): 338-347
- 須藤紀子, 上畠鉄之丞. 喫煙・飲酒習慣と職務ストレス. 労働の科学. 1999; 54(2): 30-34
- 上畠鉄之丞. ストレスと高血圧. 循環科学. 1999; 19(1): 68-70
- 上畠鉄之丞. ストレス軽減法と降圧効果. 循環科学. 1999; 19(2): 164-166
- 上畠鉄之丞. 職場の健康づくり. 教育と医学. 1999; 47(2): 38-47
- 須藤紀子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 福島富士子, 石井敏弘, 上畠鉄之丞. 保健所栄養士の卒後教育と職能訓練の現状について. 栄養学雑誌. 1999; 57(2): 97-106
- 上畠鉄之丞. 過労死と心臓性突然死. 循環器科. 1999; 46: 144-151
- 上畠鉄之丞. 労働者の健康と Healthy worker effect. 癌の臨床. 1999; 45: 1311-1315

著 書

- 上畠鉄之丞. 過労死. 日本保健医療行動科学会監修. 保健

医療行動科学事典. メヂカルフレンド社, 東京. 1999; 60

抄録のある学会報告

- 須藤紀子, 上畠鉄之丞. わが国労働者の労働時間と自覚症状の関連に関する研究. 第9回日本疫学会, 名古屋. 1999. 1

上畠鉄之丞, 西田茂樹. 保健所医師の行政研修ニーズに関する検討. 第40回社会医学研究会, 金沢. 1999. 7

上畠鉄之丞. タイプA行動の疫学. 第45回心身医療研究会シンポジウム, 横浜. 1999. 9

学術報告書等

- 上畠鉄之丞. 看護婦のストレスとライフィベントー他の女性職種との比較研究. (主任研究者: 上畠鉄之丞) 平成10年度厚生科学研究, 看護婦の交代勤務制の改善に関する研究報告書, 1999; 9-14

- 上畠鉄之丞, 他. 低GNP国での保健活動のための人材養成に関する研究. (主任研究者: 上畠鉄之丞) 平成10年度厚生省国際医療協力研究委託事業, 開発途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発の在り方に関する研究報告書, 1999; 33-34

Aug. 1999

- Uehata T. An epidemiological approach of karoshi problem as risk factors of cardiovascular diseases in Japan. 2nd Japan-Korea Joint Seminar on Epidemiology. Pusan. Oct. 1999

保健統計人口学部 Department of Demography and Health Statistics

原 著

- 田中哲郎, 加藤則子, 土井徹, 市川光太郎, 中川聰, 宮坂勝之, 武田康久, 北島智子, 小田清一. 乳幼児突然死症候群の育児環境因子に関する研究—保健婦による聞き取り調査結果一. 日本公衛誌. 1999; 46(5): 364-372
- 八幡裕一郎, 畑栄一, 佐藤千枝子, 岩永俊博. 育児不安に関する要因の検討. 日本公衛誌. 1999; 46: 521-531

新郷歩, 畑栄一. 大学生相談室の性に対する関心と活動の現状. 思春期学. 1999; 17: 337-344

家田重晴, 西岡伸紀, 後藤ひとみ, 田中豊穂, 戸部秀之, 畑栄一, 渡邊正樹. 学校健康教育の内容体系化に関する研究(3)各系列の目標, 内容及び校種配当. 学校保健研究. 1999; 41: 223-245

総 説

西田茂樹. 地域診断事例 統計資料に基づいたニーズ把握と保健計画の立案について. 保健婦雑誌. 1999 ; 55(10) : 804-810

畠栄一. 学校健康教育に期待すること. 学校保健のひろば. 1999 ; 46 : 58-61

林謙治. アジア・アフリカにおける思春期の性. 思春期医学. 1999 ; 17(3) : 327-332

林謙治. 日本におけるプライマリ・ヘルスケアをふりかえって. Quality Nursing. 1999 ; 5(11) : 78-81

林謙治. 国際協力の視点からみたプライマリ・ヘルスケア. Quality Nursing. 1999 ; 5(12)

林謙治. ケニアの人口教育. 人口と開発. 1999 ; 66 : 28-35

林謙治. 交通社会がもたらす医学的諸問題. 日本医師会雑誌. 1999 ; 122(2) : 293-296

著 書

野田順子. 経口避妊薬の特殊な用法 プロゲスチン単独のミニピル緊急避妊法. 我妻堯監訳. 避妊ガイドブック. 文光堂, 1999 ; 117-126

抄録のある学会報告

土井徹, 大坪浩一, 伊藤英幸, 曾根智史. 保健情報の地域における活用に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 . 10 ; 173

大坪浩一, 土井徹. 介護システム整備のための計画行政圏域の策定および資源再配分に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 . 10 ; 296

大坪浩一. 地域医療計画の策定手法に関する研究—住民行動の計量分析による医療資源再配分—. 日本病院管理学会, 1999 ; 118

野田順子. 女性の精神保健と援助の可能性—精神科医の立場から—. 第32回日本カウンセリング学会, 東京. 1999 ; 7-8

青陰純子, 野田順子. 精神障害者のホームヘルプサービス推進に向けての保健所の役割—ホームヘルパーへの調査を通して. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 . 10 ; 6

寺添千恵子, 野田順子. 精神保健福祉分野における保健所の役割について考える—保健所管内の市町職員及び県職員への調査を通して. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 . 10 ; 623

佐藤准子, 工藤芳子, 兵井伸行, 亀井貴世子. 臨床検査分野の国際協力に関する一考察. 日本国際保健医療学会, 1999 ; 126

新郷歩, 畠栄一. 大学生相談室における性に対する関心と活動の現状. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 . 10

西岡伸紀, 渡辺正樹, 畠栄一, 戸部秀之, 田中豊穂, 後藤ひとみ, 家田重晴. 学校健康教育の内容体系の検討(5) —各系列の教育目標—. 日本学校保健学会, 1999

家田重晴, 後藤ひとみ, 田中豊穂, 戸部秀之, 西岡伸紀, 畠栄一, 渡辺正樹. 学校健康教育の内容体系の検討(6) —各系列の内容と校種配当—. 日本学校保健学会, 1999

田中良明, 畠栄一. Health Belief Modelの改訂による有効性の検討. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999.10

山口康代, 谷畠健生, 岩井裕子, 加藤恵子, 三間智恵子, 新郷歩, 中村まり, 田中由香, 岩永俊博, 畠栄一, 鳩野洋子, 福島富士子, 寺田宙. 住民とスタッフの意識の変化を探る—目的を共有する瞬間を目指して—. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 . 10

林謙治. 人口問題を考える. 日本医師会シンポジウム, 1999 ; 20-22

林謙治. 国際保健における地域保健の推進. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 . 10 ; 57 (シンポジウム)

林謙治. 人口動態統計百周年記念国際シンポジウム. 厚生省大臣官房統計情報部, 東京. 1999

野田順子. 働く女性の健康を考える. 性と健康を考える女性専門家の会第1回／第2回シンポジウム、1999 ; 10-12, 19-57

学術報告書等

綿引信義. 利用者側から見た水道整備プロジェクトの効果と維持管理に関する評価要素について—ネパールの村落水道整備と地方小規模水道整備の比較を通して—. (主任研究者: 林謙治) 厚生省国際医療協力研究委託事業 環境と健康問題を中心とした国際医療協力のあり方に関する研究 平成10年度研究報告書, 1999 ; 39-46

兵井伸行. プロジェクト・サイクル・マネージメントの概要とその特徴. 平成10年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業地域保健活動の類型化と展開方法の適用に関する研究報告書, 1999 ; 27-43

兵井伸行. ヴィエトナムにおけるリプロダクティブ・ヘルス・プロジェクトの評価指標と関連保健医療情報システム. (主任研究者: 林謙治) 厚生省国際医療協力研究委託事業環境と健康問題を中心とした国際医療協力のあり方に関する研究平成10年度研究報告書, 1999 ; 47-63

兵井伸行. 國際機関や先進国が担う国際協力研修プログラムのあり方に関する研究. (主任研究者: 上畠鉄之丞) 厚生省国際医療協力研究委託事業開発途上国P H Cにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究平成10年度研究報告書, 1999 ; 13-14

佐々木昭彦, 兵井伸行, 内山巖雄, 他. 健康影響に関するIPCC第3次報告作業 一適応の多様性評価と国内・国際ネットワーク. 気候影響利用研究会会報, 1999 ; (16)

林謙治, 土井徹, 西田茂樹, 兵井伸行, 畠栄一, 野田順子, 綿引信義, 大坪浩一. 保健統計学・疫学【保健統計学】. (代表: 古市圭治) 地域保健総合推進事業(総合的地域保健検討事業) 公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究1998年度報告書, 1999 ; 301-389

西田茂樹, 上畠鉄之丞. 国立公衆衛生院専門課程必修科

目／専門課程分割前期（基礎）科目的カリキュラム作成について。（代表：古市圭治）地域保健総合推進事業（総合的地域保健検討事業）公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究1998年度報告書，1999；3-13

野田順子. 精神科医の役割と今後の展望. 自分らしく生きるためにⅢ－女性に対する暴力－. 東京ウイメンズプラザ相談室, 1999；25

林謙治. 包括的プロジェクトの評価に関する研究. (主任研究者：林謙治) 厚生省国際医療協力研究委託事業 環境

と健康問題を中心とした国際医療協力のあり方に関する研究平成10年度研究報告書, 1999；15-33

林謙治. 研究の戦略. (主任研究者：林謙治) 厚生科学研究 厚生統計の国際的情報発信戦略の基盤確立に関する研究 平成10年度研究報告書, 1999；1-7

林謙治. 第二次中国援助研究会報告書. 1999

林謙治. ペルー援助研究会報告書. 1999

林謙治. アジア開発戦略研究報告書. 1999

Originals

Lin L, Hayashi K. Attitudes toward abortion among married women in Shanghai. *Asia Pacific J*, 1999；10(2) : 68-74

Hayashi K, Gao J. Demographic impact on environment - A case study focussing on CO₂ emission in China. *Asia Pacific J*. 1999；10(2) : 81-87

Books

Hayashi K. **La contraception au Japon:** in "Contraception : Constrainte ou Liberte?"(ed. Baulieu E.E.). College de France. Paris (in French) : 1999 ; 279-291

Proceedings with abstracts

Hyo N. Problem identification and issues-population dynamics. International Symposium on Health Aspects of Urbanization. Tokai University School of Medicine. 1999；25-33

Hyo N. Review of the ageing situation in Asia and the Pacific. International Symposium on Health Aspects of Urbanization. Tokai University School of Medicine. 1999；34-39

Hayashi K. Intervention trial in population. International Symposium on Health Aspects of Urbanization. Tokai University School of Medicine. 1999；50-56

Doi T, Kan W. Birth weight distribution in a hospital in China. The International Workshop on Health Indicator Development Toward the 21st Century. 1999；101-106

Doi T, Chen B. Patterns of family members of elderlies admitted into GICF (Geriatric Intermediate Care Facility) in Japan. The International Workshop on Health Indicator Development Toward the 21st Century, 1999；131-137

Watahiki N. The sex differential in life expectancy at birth in Japan. International Workshop on Health Indicator Development toward the 21st Century, 1999；33-38

Hyo N. Management information system for reproductive health in Vietnam. International Workshop on Health Indicators towards 21st Century, 1999

Hyo N. Reproductive health indicators and management information system in Vietnam. The IX Seminar on National Tuberculosis control Programme. 1999

Kudo Y, Sato S, Hyoi N, Akashi H. The role of clinical examinations in antenatal care of developing countries --- Evaluation of mass-screening of preeclampsia by examining of proteinuria in Cambodia. 14th Annual Meeting of Japanese Association for International Health. 1999；14(Suppl.) : 126

Hayashi K. Life style related diseases in Japan. International symposium on Health Behavior. Honolulu. 1999；25-29

Reports

Hayashi K. Report on "Health indicator development toward the 21st century", Japan International Science and Technology Agency. 1999；1-375

疫学部

Department of Epidemiology

原 著

飯塚俊子, 尾形由紀子, 箕輪真澄, 藤田利治, 神経難病患者の主観的QOLに対するADLの影響についての追跡調査. 日本公衆衛生雑誌, 1999；46 : 595-603

尾形由紀子, 飯塚俊子, 福久由光, 箕輪真澄, 藤田利治. 神経難病患者の主観的QOLに関する要因. 日本公衆衛生雑誌, 1999；46 : 650-657

熊本悦明, 塚本泰司, 西谷巖, 赤座英之, 野口昌良, 守

殿貞夫, 碓井亞, 柏木征三郎, 箕輪真澄, 谷畠健生. 本邦における性感染症流行の実態調査（疾患, 性, 年令別, 10万人・年対罹患率）《1998年度報告》. 日本性感染症学雑誌. 1999；10(1) : 40-60

谷本佐理名, 箕輪真澄. 渋谷駅周辺の路上生活者の生活と健康. 日本公衆衛生雑誌. 1999；46 : 838-847

丹後俊郎. 検査精度と基準範囲の推定に関する統計学的諸問題. *Japanese Journal of Biometrics*. 1999；19 : 75-102

丹後俊郎. 疾病地図と疾病集積性—疾病指標の正しい解釈をめざして. 公衆衛生研究. 1999; **48**: 84-93

尾崎米厚, 篠輪眞澄. 阪神・淡路大震災における死亡の関連要因についての研究. 日本公衆衛生学雑誌. 1999; **46**: 175-183

尾崎米厚, 篠輪眞澄. わが国の中高生の喫煙者のタバコの入手経路に関する研究. 公衆衛生研究. 1998; **47**: 347-352

尾崎米厚, 川南勝彦, 篠輪眞澄. わが国の未成年者によるタバコ消費量の推計. 公衆衛生研究. 1999; **48**: 44-47

尾崎米厚, 篠輪眞澄, 鈴木健二, 和田清. 中高生の飲酒行動に関する全国調査. 日本公衆衛生雑誌. 1999; **46**: 883-893

尾崎米厚, 篠輪眞澄, 鈴木健二, 和田清. 1996年度未成年者の喫煙行動に関する全国調査. 厚生の指標. 1999; **46**(13): 16-22

尾崎米厚. 未成年者へのアルコールの害. 学校保健ニュース. 1999; **1151**(付録): 1-3

尾崎米厚, 篠輪眞澄. 腸管感染症の現状. 医薬ジャーナル. 1999; **35**(5): 67-71

尾崎米厚. 中・高生の少女達もタバコを吸い出した. 世論時報. 1999; **32**(7): 12-15

尾崎米厚. これからの感染症対策. 保健婦雑誌. 1999; **55**(12): 1091-1095

大井田隆, 松原茂, 尾崎米厚, 城戸尚治, 河原和夫, 篠輪眞澄, 岩本圭史. 1薬学系大学における学生の喫煙行動と喫煙意識に関する男女間の比較. 学校保健研究. 1999; **41**: 465-475

大井田隆, 尾崎米厚, 岡田加奈子, 望月友美子, 小椋正之, 篠輪眞澄, 川口毅. 看護専門学校と看護大学の学生における喫煙行動の比較. 日本衛生学雑誌. 1999; **54**: 539-543

大井田隆, 尾崎米厚, 小椋正之, 城戸尚治, 小林督章, 関山昌人, 川口毅, 篠輪眞澄. わが国における看護婦の喫煙行動. 厚生の指標. 1999; **46**(6): 18-22

大井田隆, 尾崎米厚, 望月友美子, 川口毅, 篠輪眞澄. 三重県における看護婦の喫煙行動に関する調査研究. 日本衛生学雑誌. 1999; **53**: 611-617

岡永真由美, 尾崎米厚, 梅家模. 中国江西省の青少年に対する健康教育の現状と課題. 小児保健研究. 1999; **58**: 680-684

牛山明, 福島富士子, 尾崎米厚. 教育プログラムを活用した乳幼児事故予防教育の実際 誤飲・窒息事故予防プログラムを通して. 生活教育. 1999; **43**(3): 7-10

竹木幸恵, 青山旬, 杉山弘夫, 佐野修司, 福田雅臣, 丹羽源男. 歯科衛生士学校学生を対象とした生活習慣と口腔保健行動について. 歯学. 1998; **86**: 678-686

土井由利子, 篠輪眞澄, 内山真, 金圭子, 渋井佳代, 亀井雄一, 大川匡子. 地域住民を対象としたDSM-IV診断基準による睡眠障害の有病調査について. 精神医学. 1999; **41**: 1071-1078

橋とも子, 川南勝彦, 篠輪眞澄. インフルエンザの流行と超過死亡. 日本公衆衛生雑誌. 1999; **46**: 263-274

西田美佐, 川南勝彦. 小児の体格とライフスタイルに関する追跡的研究—都市における小学1年生児の体格, ライフスタイルの3歳時からの追跡結果—. 順天堂医学. 1999; **45**(1): 75-92

総 説

篠輪眞澄. 1998年世界保健報告の概要①. 公衆衛生情報. 1999; **29**(2): 22-25

篠輪眞澄. 1998年世界保健報告の概要②. 公衆衛生情報. 1999; **29**(3): 52-55

篠輪眞澄. 1998年世界保健報告の概要③. 公衆衛生情報. 1999; **29**(4): 56-59

篠輪眞澄. たばこの害. 学校保健ニュース(高校版). 1999; (1162): 1-3

篠輪眞澄. たばこ対策の重要性. Pharma Medica. 1999; **17**: 19-24

篠輪眞澄. たばこ流行の制圧とモニタリングのための指針その1. 呼吸器疾患・結核. 資料と展望.. 1999; (31): 1-17

篠輪眞澄. 受動喫煙. 臨床栄養. 1999; **95**: 812-814

篠輪眞澄. 若者と喫煙. 臨床栄養. 1999; **95**: 822-824

篠輪眞澄. 仲野暢子. たばこ問題の国際格差. 総合臨床. 1999; **48**: 2080-2083

篠輪眞澄. タバコと全身の関係. 歯界展望. 1999; **94**: 753-762

篠輪眞澄. 喫煙はアルツハイマー病などの難病を防がない. 蘇る. 1999; **11**(12): 96-97

篠輪眞澄. 谷畠健生. 地域でのたばこ対策推進における保健所の役割. 公衆衛生. 1999; **63**: 782-786

篠輪眞澄. 三浦宜彦. がんの地理疫学—これまでの経験一. 癌の臨床. 1999; **45**(12): 1243-1252

熊本悦明, 塚本泰司, 西谷巖, 赤座英之, 野口昌良, 守殿貞夫, 碓井亜, 柏木征三郎, 篠輪眞澄. 性感染症(STD)ークラミジアや各種ウイルス. 最新医学. 1999; **54**: 706-722

丹後俊郎. がんの地図作成と疾病集積性の検出に関する方法論最前線. 癌の臨床. 1999; **45**: 1253-1260

丹後俊郎. ポアソン分布の確率. 臨床検査. 1999; **43**: 816-817

丹後俊郎. これから医学研究に必要な統計技法ー科学研究者に必要なデータを見る目, 解析するセンスー. 日消誌. 1999; **96**: 1365-1374

藤田利治. 新生児死亡の歴史的変遷. 周産期医学. 1999; **29**: 1451-1457

青山旬. 8020運動. 特集; 新しい健康観. 教育と医学. 1999; **47**: 172-81

青山旬. 市町村における歯科保健事業実施状況. 日本歯科評論. 1999; (679): 220-221

青山旬. 行政に勤務する歯科保健医療従事者について. 日本歯科評論. 1999; (681): 220-221

青山旬. タバコと歯周病の関係. 歯界展望. 1999 ; 94 : 771-778

著 書

簗輪眞澄. 感染症予防必携. 山崎修道, 井上榮, 大久保一郎, 神谷齊, 倉田毅, 小池麒一郎, 竹内勤, 千葉俊三編. (財)日本公衆衛生協会, 東京. 1999

椿広計, 藤田利治, 佐藤俊哉編. これからの臨床試験. 朝倉書店. 東京. 1999

土井由利子. 母子保健の現状と動向. 鈴木庄介, 久道茂. シンプル衛生公衆衛生学改訂第8版. 南江堂, 東京. 1999 ; 181-188

土井由利子. 子宮内避妊法(子宮内避妊具:IUD). 我妻堯監訳, 早乙女智子編訳. 避妊ガイドブック. 文光堂, 東京. 1999 ; 187-224

抄録のある学会報告

簗輪眞澄. APACIT報告. 第8回日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会, 仙台. 1999.7

簗輪眞澄, 尾崎米厚, 鈴木健二, 和田清. 中高生の喫煙行動に関する全国調査. 第8回日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会, 仙台. 1999 ; 21

簗輪眞澄, 松本美富士, 倉恒弘彦, 木谷照夫. 慢性疲労症候群患者対照研究実施計画. 第8回日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会, 仙台. 1999 ; 36

簗輪眞澄, 倉恒弘彦, 木谷照夫. 地域および医療機関外来における慢性疲労調査の計画. 第4回慢性疲労症候群(CFS)研究会. 1999 ; 35

簗輪眞澄, 邱冬梅, 川南勝彦, 梅家模. 中国江西省における癌・循環器疾患とライフスタイルに関する研究(第1報). 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 156

稻川千夏, 三徳和子, 簗輪眞澄. 女子短大生の喫煙実態. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 219

三徳和子, 稲川千夏, 簗輪眞澄. 喫煙防止教育の評価. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 219

関根道和, 山上孝司, 沼田直子, そうけ島茂, 斎藤友博, 飯田恭子, 南里清一郎, 吉田勝美, 吉村健清, 簗輪眞澄, 鏡森定信. 乳幼児低体重と両親の体格—富山スタディの成績から. 第69回日本衛生学会, 千葉. 1999 ; 324

関根道和, 山上孝司, 沼田直子, そうけ島茂, 飯田恭子, 斎藤友博, 南里清一郎, 簗輪眞澄, 吉田勝美, 吉村健清, 徳井教孝, 鏡森定信. 小児肥満と両親の体格—富山スタディの成績から. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 524

窪山泉, 百齊さち, 伊藤拳, 早藤知恵子, 市川久次, 増田智子, 吉澤満利子, 小松博久, 簗輪眞澄. 中高年男性の喫煙—生活習慣と生化学検査の面から. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 479

丹後俊郎. Randomized controlled trial はなぜ必要か? 第2回日本代替医療学会学術集会, 横浜. 1999.10 (教育講演)

丹後俊郎. ごみ焼却施設周辺の曝露評価とその方法—茨城県龍ケ崎市新利根町ごみ焼却施設周辺—. 日本計量生物学会・応用統計学会. 1999年度合同年次大会, 東京. 1999.5 (シンポジウム: ダイオキシン類のリスク評価での特別講演)

丹後俊郎. がんの地図作成と疾病集積性の検出に関する方法論最前線. 第22回日本がん疫学研究会, 東京. 1999.7 (シンポジウム: がんの地理疫学)

藤田利治, 三浦宜彦. 循環器疾患での死亡についての二次医療圏別の疾病地図の作成. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 379

真崎直子, 下野正鍵, 平井順枝, 橋本修二, 藤田利治. 精神障害者ホームヘルプモデル事業の評価に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 614

成田友代, 藤田利治, 松本まり, 森亨. 結核の接触者検診の実施状況とその関連要因. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 656

尾崎米厚, 谷畠健生, 簗輪眞澄, 曽根智史. たばこ広告の媒体別にみた動向に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 507

福島富士子, 藤内修二, 杉本聖子, 尾崎米厚, 柴田真理子, 長谷川トミエ, 安藤実里, 宮里和子. 保健所における母子保健活動の展開. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 270

畠山明美, 結城鈴代, 野崎真彦, 前田秀雄, 池上千寿子, 尾崎米厚, 長野みさ子. 東京都北多摩南部保健医療圏におけるエイズ地域連携推進事業(第2報)療養支援体制整備の検討. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 273

菊地とも子, 上野文彌, 長沢弘美, 尾崎米厚, 安斎ひとみ. 市町村母子保健計画に基づく評価の取り組み. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 350

義永直巳, 山口一郎, 鷹箸右子, 尾崎米厚. HIV感染者の経済的負担に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 686

尾崎米厚. 未成年者飲酒の実態調査: なぜ未成年者は御酒を飲むのか!. アルコール健康医学協会, 1997(シンポジウム)

青山旬, 高久悟, 福田雅臣, 尾崎哲則, 長田斉, 安井利一, 丹羽源男, 宮武光吉. 市町村の3歳児齶蝕の状況と関連要因について. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 368

尾崎哲則, 青山旬, 福田雅臣, 長田斉, 高久悟, 安井利一, 丹羽源男, 宮武光吉. 市町村における歯科保健事業実施と福祉指標との関連. 第48回口腔衛生学会, 福岡. 1999 ; 730-731

増岡雅子, 井上伸子, 掛川武生, 田中直志, 久松栄, 小川千寿子, 小石真子, 松島美奈子, 植田悠紀子, 山田和子, 渡辺征夫, 河村清史, 井上雄三, 山田正人, 市川勇, 青山旬. 住民の生活環境保全に関する意識を育てるための学習プログラムの開発(第1報). 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 769

小川千寿子, 井上伸子, 掛川武生, 田中直志, 久松栄, 小石真子, 増岡雅子, 松島美奈子, 植田悠紀子, 山田和子, 渡辺征夫, 河村清史, 井上雄三, 山田正人, 市川勇, 青山旬. 住民の生活環境保全に関する意識を育てるための学習プログラムの開発(第2報). 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999; 769

土井由利子, 篠輪眞澄, 内山真, 大川匡子. 日本における睡眠障害・睡眠習慣に関する疫学. 第9回日本疫学会, 名古屋. 1999; 124

土井由利子. 日本人女性労働者のタイプA - 疫学的見地から-. 第10回タイプA研究会, 東京. 1999

川南勝彦, 篠輪眞澄, 永井正規. 難病患者の地域ベースコホート研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999; 402

邱冬梅, 川南勝彦, 篠輪眞澄, 梅家模. 中国江西省における癌・循環器疾患とライフスタイルに関する研究(第2報). 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999; 780

石川博康, 橋本功, 川南勝彦, 篠輪眞澄. 乾癬患者QOL評価の標準化の試み(第2報). 日本皮膚科学会, 東京. 1999

谷畑健生, 尾崎米厚, 篠輪眞澄. 保健所におけるたばこ対策実施状況. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999; 276

山口康代, 谷畑健生, 岩井裕子, 加藤恵子, 三間智恵子, 新郷歩, 中村まり, 田中由香, 岩永俊博, 畑栄一, 鳩野洋子, 福島富士子, 寺田宙. 住民とスタッフの意識の変化を探るー目的を共有する瞬間を目指してー. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999; 338

学術報告書等

篠輪眞澄, 尾崎米厚. エイズ患者・感染者の動向予測(将来推計). (研究代表者: 篠輪眞澄) 平成9年度東京都エイズ研究班研究報告書, 1999; 209-216

篠輪眞澄. 未成年者の牛乳飲用実態とその関連要因に関する全国調査. (主任研究者: 篠輪眞澄) 平成7-9年度牛乳栄養学研究会委託研究報告書(I), 牛乳・乳製品健康づくり委員会, 社団法人全国牛乳普及協会, 1999; 184-194

篠輪眞澄. 慢性疲労疫学調査計画検討経過. (主任研究者: 木谷照夫) 厚生省特別研究事業疲労の実態調査と健康づくりのための疲労回復手法に関する研究平成10年度研究業績報告書, 1999; 21-33

篠輪眞澄, 川南勝彦. 喫煙とCVDリスクファクターについて・・喫煙と循環器疾患死亡, QOLとの関連(7指-2高齢者の循環器疾患による生活の質の低下予防策に関する研究. (主任研究者: 上島弘嗣) 平成9年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告集, 1998; 47

篠輪眞澄, 藤田利治, 川南勝彦, 他. 健康関連QOLの考え方と難病患者に共通の主観的QOL評価尺度の開発. (主任研究者: 大野良之) 厚生省特定疾患に関する疫学研究班平成10年度研究報告書, 1999; 203-215

篠輪眞澄, 土井由利子. 日常生活における快適な睡眠の

確保に関する総合研究一人間の睡眠習慣と睡眠の役割の解明に関する研究ー「一般住民の健康に及ぼす睡眠問題の影響とその調整法に関する研究」(主任研究者: 早石修). 1999 (印刷予定)

丹後俊郎. 統計学的評価. 平成10年度東京都衛生検査所精度管理事業報告書, 東京都衛生局編. 1999; 151-180

藤田利治. 乳幼児突然死症候群の年次推移および地域分布. (主任研究者: 澤口彰子) 平成10年度厚生科学研究所子ども家庭総合研究事業報告(第4/6), 1999; 366-370

藤田利治. 乳児の主な突然死の発生率と解剖制度との関連についての検討. (主任研究者: 澤口彰子) 平成10年度厚生科学研究所子ども家庭総合研究事業報告(第4/6), 1999; 371-376

藤田利治. 乳幼児突然死症候群の解剖例と非解剖例の比較. (主任研究者: 澤口彰子) 平成10年度厚生科学研究所子ども家庭総合研究事業報告(第4/6), 1999; 377-378

澤口彰子, 澤口聰子, 藤田利治, 的場梁次. 乳幼児死亡に際する解剖率向上の為の研究: 法医解剖体制(監察医務体制および行政・承諾解剖体制)の医療経済的評価. (主任研究者: 澤口彰子) 平成10年度厚生科学研究所子ども家庭総合研究事業報告(第4/6), 1999; 317-321

尾崎米厚, 曽根智史, 谷畑健生. 未成年者の喫煙・飲酒を取り巻く環境に関する研究. (主任研究者: 尾崎米厚) 平成10年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業未成年者の喫煙・飲酒を取り巻く環境に関する研究班報告書, 1999

宮里和子, 福島富士子, 藤内修二, 尾崎米厚, 杉本聖子. 保健所における母子保健活動のあり方に関する研究報告書. (主任研究者: 宮里和子) 平成10年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業保健所における母子保健活動のあり方に関する研究班報告書, 1999

岩永俊博, 尾崎米厚, 篠輪眞澄. 日本人の性行動と性意識についての全国確率サンプル・サーベイ実施のための予備調査と分析. (主任研究者: 木原正博) 平成10年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業HIV感染症の疫学研究研究報告書, 1999; 458-491

和田清, 中野良吾, 尾崎米厚, 勝野眞吾. 薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査研究報告書. (主任研究者: 和田清) 平成10年度厚生科学研究費補助金医薬安全総合研究事業薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神病患者等に対する適切な医療のあり方についての研究班報告書, 1999

土井由利子. 地域医療・福祉等高度化促進支援事業. (主任研究者: 中村好一) 保健福祉活動の現状と課題に関する全国実態調査研究報告書, 1999; 1-28

土井由利子, 尾方克巳. へき地における在宅高齢者を介護する者の精神的健康度に関する研究. (研究代表者: 土井由利子) 日本財團平成10年度へき地住民の健康増進に関する健康等報告書, 1999; 109-125

青山旬, 他. 市町村における地域歯科保健推進に関する総合的研究. 1999; 1-41

青山旬, 他. 平成10年度先駆的保健事業研究支援小委員会報告書. 1999 ; 1-20

青山旬, 他. 平成10年度茨城県日立保健所地域保健推進特別事業報告書. 1999 ; 47-75

青山旬, 他. 平成10年度埼玉県歯科保健委員会概要報告書. 1999 ; 1-30

川南勝彦, 箕輪眞澄. 地域ベース難病患者コーホート研究(特定疾患情報システム+難病患者のQOL, 保健福祉サー

Original

Tango T. Improved confidence intervals for the difference between binomial proportions based on paired data. *Stat.Med.* 1999 ; **18** : 3511-3513

Mori H, Taketani Y, Uemura T, Miyake A, Tango T. Rates of endometriosis recurrence and pregnancy 1 year after treatment with intranasal Buserelin Acetate: A prospective Study. *J. of Obstetrics and Gynaecology Research.* 1999 ; **25** : 153-164

Hayashi M, Iwanaga T, Mitoku K, Minowa M. Getting a highresponse rate of sexual behavior survey among the general population in Japan. Three different methods of survey on sexual behavior. *J. Epidemiol.* 1999 ; **9** : 107-113

Nakagawa H, Hara-Kudo Y, Onoue Y, Konuma H, Fujita T, Kumagai S. Method for isolation of Escherichia coli O157:H7 from radish sprouts: A collaborative study. *Biocontrol Science.* 1999 ; **4** : 45-49

Onoue Y, Konuma H, Nakagawa H, Hara-Kudo Y, Fujita T, Kumagai S. Collaborative evaluation of detection methods for Escherichia coli O157:H7 from radish sprouts and ground beef. *International Journal of Food Microbiology.* 1999 ; **46** : 27-36

Ohida T, Osaki Y, Kobayashi Y, Sekiyama M, Minowa M. Smoking prevalence of female nurses in the national hospitals of Japan. *Tobacco Control.* 1999 ; **8** : 192-195

Osaki Y, Minowa M, Mei J. A comparison of correlates of cigarette smoking behavior between Jianxi province, China and Japanese high school students. *J Epidemiol.* 1999 ; **9**(4) : 254-260

Osaki Y, Kawaminami K, Minowa M. Estimating adolescent cigarette smoking consumption in Japan. *J Epidemiol.* 1999 ; **9** : 56-60

Kim K, Uchiyama M, Doi Y, Oida T, Minowa M, Ogihara R. Lifestyles and sleep disorders among the Japanese adult population. *Psychiatry and Clinical Neurosciences.* 1999 ; **53** : 269-270

Matsushita H, Kawaminami K, et al. Proliferation of parathyroid cells negatively correlates with expression

ビス調査). (主任研究者: 大野良之) 厚生省特定疾患免疫疾患調査研究班平成10年度研究報告書, 1999 ; 40-48

視聴覚資料等

「CD-ROM」

青山旬. たばこと歯周病. CD-ROMで考える「たばこと健康」. 日本公衆衛生協会: 1999

of parathyroid hormone-related protein in secondary-parathyroid hyperplasia. *Kidney International.* 1999 ; **55** : 130-138

Books

Tango T. Comparison of general tests for disease clustering: in "Disease mapping and risk assessment for public health"(eds. Lawson et al.). John-Wiley & Sons. Chichester : 1999 ; 111-117

Proceedings with abstracts

Choudhury Sohel R, Ueshima H, Horibe H, Iida M, Kodama K, Minowa M, Sawai K, Shibata S, Tanaka S, Ueda K, Yanagawa H. Alcohol drinking and mortality in Japanese men: An analysis from NIPPON DATA. 第9回日本疫学会, 名古屋. 1999 ; 86

Tango T. An extended score test for detecting clusters around putative sources. International Conference on the Analysis and Interpretation of Disease Clusters and Ecological Studies. London. Dec. 1999

Osaki Y, Minowa M. Factors associated with earthquake deaths in the Great Hanshin-Awaji Earthquake, 1995. The 15th International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, Abstract book, Florence. Italy. 31 Aug - 4 Sep. 1999

Doi Y, Minowa M, Uchiyama M, Okawa M. A population-based study on hypnotic medication use among Japanese adults. The XV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association. Florence. Italy. 31 Aug - 4 Sep. 1999

Osaki Y, Minowa M. Factors associated with earthquake deaths in the Great Hanshin-Awaji Earthquake, 1995. The XV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association. Nagoya. 1999 ; 373

Doi Y, Minowa M, Uchiyama M, Okawa M. A population-based study on hypnotic medication use among Japanese adults. The XV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association. Nagoya. 1999 ; 327

公衆衛生行政学部
Department of Public Health Administration

原 著

大井田隆, 尾崎米厚, 望月友美子, 篠輪眞澄, 川口毅.
三重県における看護婦の喫煙行動に関する調査研究. 日衛誌. 1999; **53**: 611-617

大井田隆, 尾崎米厚, 小椋正之, 城戸尚治, 正林督章, 関山昌人, 川口毅, 篠輪眞澄. わが国における看護婦の喫煙行動. 厚生の指標. 1999; **46**: 18-22

大井田隆, 松原茂, 尾崎米厚, 城戸尚治, 針田哲, 他.
薬学系大学生の喫煙行動に関する男女間の比較. 学校保健研究. 1999; **41**: 469-75

大井田隆, 伏見清秀, 針田哲, 城戸尚. 退院日からみる入院のすがた. 日本医事新報. 1999; (3931) : 41-44.

大井田隆, 尾崎米厚, 岡田加奈子, 望月友美子, 小椋正之, 篠輪眞澄. **看護専門学校と看護大学の学生における喫煙行動の比較.** 日衛誌. 1999; **54**: 539-43

伏見清秀, 大井田隆. **特定機能病院における入院保険診療の分析.** 病院管理. 1999; **36**: 361-367

金子光延, 子根森敬子, 曽根智史, 吉田貴彦, 岡崎勲.
企業における海外勤務者帶同小児の健康管理支援. 小児保健研究. 1999; **58**: 527-533

金子光延, 子根森敬子, 曽根智史, 吉田貴彦, 岡崎勲.
企業における海外勤務者への健康管理対策の試み. 産業医学ジャーナル. 1999; **22**: 58-61

須藤紀子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 福島富士子, 石井敏弘, 上畠鉄之丞. **保健所栄養士の卒後教育と職能訓練の現状について.** 栄養学雑誌. 1999; **57**(2) : 97-106

石井敏弘. **保健活動でストレスに対してどのように取り組むか.** 地域保健. 1999; **30**(6) : 67-73

筒井孝子. **看護援助の効果を評価する指標とは—「看護必要度」の開発—.** インターナショナルナーシングレビュー. 1999; **22**(2) : 61 - 66

筒井孝子, 中嶋和夫. **共分散構造解析を用いた痴呆の認知及び身体機能と問題行動の関連性の検討.** 病院管理. 1999; **36**(3) : (253)27

孟宇峰, 関庸一, 筒井孝子, 宮野尚哉. **線形回帰項を含む樹形回帰モデルによる老人介護時間の推定.** 日本経営工学会, 1999; 318-319

武村真治, 橋本廸生, 古谷野亘, 長田久雄. **介護サービスが高齢者に及ぼす効果に関する介入研究—特別養護老人ホームにおける「声かけ」の効果の検証—.** 老年社会科学. 1999; **21**(1) : 15-25

総 説

藤崎清道. **ヘルスプロモーションの概念と今日的意義.** 公衆衛生研究. 1999; **48** (3) : 178-186

伏見清秀、梅田勝、大井田隆. **診療報酬上の評価とこれ**

からの見通し.

看護管理. 1999; **9** : 440-444
 岩永俊博、鳩野洋子、渡部郁子. **我が国におけるヘルスプロモーション活動の展開と課題.** 公衆衛生研究. 1999 ; **48**(3) : 187-193

曾根智史. **海外におけるヘルスプロモーション活動の展開事例とその特徴.** 公衆衛生研究. 1999 ; **48** : 194-198

曾根智史. **ヘルスプロモーション活動におけるPRECEDE-PROCEED Modelの意義とその応用.** 医学のあゆみ. 1999 ; **191** : 806-7

石井敏弘. **健康, QOLとストレス.** 地域保健. 1999 ; **30**(6) : 4-9

石井敏弘. **ヘルスプロモーションの新しさと公衆衛生従事者の教育研修.** 公衆衛生研究. 1999 ; **48**(3) : 199-209

筒井孝子. **良質な介護サービスの提供体制の確立—国・都道府県の役割と新たなシステムの構築—.** 公衆衛生研究. 1999 ; **48**(1) : 17 - 22

筒井孝子. **図解・介護保険で始める新しいコミュニティケア像とは? 1 「制度」の変化—“再生と癒し”のコミュニティにむけて—.** コミュニティケア. 1999 ; **1** : 22 - 25

筒井孝子. **要介護認定の夜明け前.** コミュニティケア. 1999 ; **2** : 26 - 29

筒井孝子. **要介護状態.** *Journal of clinical rehabilitation.* 1999 ; **8**(7) : 665

武村真治, 藤崎清道, 中原俊隆, 近藤健文. **老人保健事業の経済的分析.** 公衆衛生. 1999 ; **63**(1) : 15-19

武村真治. **ソーシャルマーケティングの保健医療分野への応用.** 医学のあゆみ. 1999 ; **191**(8) : 842-843

武村真治. **経済学からみたヘルスプロモーションの意義.** 公衆衛生研究. 1999 ; **48**(3) : 210-214

武村真治. **保健サービスの公的責任と効率性.** 保健婦雑誌. 1999 ; **55**(12) : 1059-1063

著 書

日比野省三, 岩永俊博, 吉田浩二. **保健活動のブレイクスルー.** 医学書院, 1999

曾根智史, 他共著. **事例から学ぶ産業保健の実務第2集.** 労働基準調査会, 東京 : 1999

石井敏弘. **QOL向上をめざす医療、主体的な能力形成を支援する健康教育.** Quality of Life 研究会編. Quality of Life -私の考えるQOLの高い医療とは. 日総研出版, 名古屋 : 1999 ; 39-49

筒井孝子. **図解よくわかる要介護認定.** 日本看護協会出版会, 東京 : 1999

山崎泰彦, 高橋紘士, 池田省三, 高橋信幸, 竹内孝仁, 石川誠, 丸山美知子, 松本博規, 筒井孝子, 小山秀夫. **介護保険システムのマネジメント.** 医学書院, 東京 : 1999

抄録のある学会報告

谷本佐理名, 太田久彦, 山川久仁子, 大井田隆, 高柳和江, 木村哲彦. カルテ開示は診療内容に影響を与えるか. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999. 10

谷本佐理名, 太田久彦, 山川久仁子, 大井田隆, 高柳和江, 木村哲彦, 長谷川敏彦. カルテ開示, 医療情報の行方. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999. 10

伏見清秀, 針田哲, 大井田隆. 入院医療費上の高機能病院の特徴についての分析. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999. 10

太田久彦, 谷本佐理名, 山川久美子, 高柳和江, 木村哲彦, 大井田隆, 長谷川敏彦. 医療保険制度と診療報酬情報の開示に関する一般勤務医の意識. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999. 10

岩永俊博. 保健所, 市町村の今後のあり方. 第25回日本医学会総会1999東京. 東京国際フォーラム, 1999.4 : 546(3-2)

岩永俊博, 鳩野洋子, 鈴木浩子, 横森喜久美, 田畠好喜. 地域保健活動展開方法選択のための場面の類型化. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999.10 ; 279(3-11)

野中伸子, 白井敏明, 海蔵寺マチ子, 伊藤さおり, 岩永俊博. 住民主体の考え方を基盤とした地域看護学実習の取り組み～地域づくり型保健活動の導入による学生の反応の変化～. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 284 (3-32)

上中雪子, 宮田貴子, 夏見昭子, 岡本羊子, 水馬朋子, 桐山美紀子, 岩永俊博. 住民参加の町づくり3カ年の取り組み. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 337 (4-9)

山口康代, 谷畠健生, 岩井裕子, 加藤恵子, 三間智恵子, 新郷歩, 中村まり, 田中由香, 畑栄一, 岩永俊博, 鳩野洋子, 福島富士子, 寺田宙. 住民とスタッフの意識の変化を探る～目的を共有する瞬間を目指して～. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 338 (4-11)

曾根智史, 藤崎清道. 自治体の公衆衛生従事者教育におけるディベート演習導入の評価. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999

土井徹, 大坪浩一, 伊藤英幸, 曾根智史. 保健情報の地域における活用に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999

里村一成, 中原俊隆, 野網祥代, 野網恵, 曾根智史, 高橋裕子, 櫻見武彦. 病院, 保健所における分煙と禁煙指導の実態. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999

野網恵, 中原俊隆, 里村一成, 宮城島一明, 野網祥代, 曾根智史, 高橋裕子, 櫻見武彦. 病院, 特定機能病院における喫煙対策の実態調査. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999

尾崎米厚, 谷畠健生, 篠輪眞澄, 曾根智史. たばこ広告の媒体別にみた動向に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999

角田智玲, 石川清美, 浅沼奈美, 今田美穂子, 大坪浩一,

邱冬梅, 塚下和彦, 中板育美, 向井美香子, 曾根智史, 牛山明, 武村真治, 須藤紀子, 上畠鉄之丞. 外食における栄養成分表示に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999

向井美香子, 曾根智史, 牛山明, 武村真治, 須藤紀子. 外食における栄養成分表示に関する研究. 第46回日本栄養改善学会学術総会, 郡山. 1999

石井敏弘. 健康教育から考える栄養教育の役割. 第53回日本栄養・食糧学会大会, 東京. 1999. 5 ; 52 (シンポジウム)

石井敏弘. 救急車利用の関連要因. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 329

筒井孝子. 在宅高齢者に対する「要援護高齢者問題行動指標」の妥当性の検討. 日本地域福祉学会第13回大会, 埼玉. 1999. 6 ; 164-165

西村秋生, 長澤紀美子, 筒井孝子, 小山秀夫. 要介護判定基準の妥当性の検討-オーストラリアにおける施設入所者判定基準による判定結果との比較-. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999.10 ; 221

小山秀夫, 西村秋生, 筒井孝子. 平成10年度モデル事業における介護保険施設種類別の要介護認定結果に関する検討. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999. 10 ; 222

長澤紀美子, 西村秋生, 筒井孝子, 小山秀夫. 要介護認定調査における評定者間一致率と研修の有効性に関する検討. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999. 10 ; 223

筒井孝子. 急性期病棟で提供される看護業務時間と患者の特性との関係-「看護必要度」予測システムの基礎的研究-. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999 . 10 ; 88

筒井孝子. 介護保険制度における「要介護認定システム」の新たな考え方とその課題. 日本社会福祉学会第47回全国大会, 岡山. 1999 . 10 ; 273

東野定律, 筒井孝子, 筒井澄栄. 特別養護老人ホーム・老人保健施設入所者の車いす利用に際しての問題点の現状. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999.10 ; 598

武村真治, 中原俊隆, 府川哲夫, 吉田成良, 薩摩林康彦, 東川薫. 地域高齢者の居住移動が医療・福祉サービス利用に及ぼす影響. 日本老年社会学会第41回大会, 京都. 1999. 6 ; 167

武村真治, 曾根智史, 福田敬, 中原俊隆. 老人保健事業における健康診査の需要関数と需要の価格弾力性の推定. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999. 10 ; 208

福田敬, 木下弘貴, 武村真治, 八巻心太郎. 患者の医療機関選好に関するコンジョイント分析を用いた調査研究. 第37回日本病院管理学会学術総会, 千葉. 1999.10 ; 156

武村真治, 藤崎清道, 府川哲夫, 中原俊隆, 近藤健文. 保健サービスの費用関数と効率性の推定 一健康診査を例として-. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 280

角田厚子, 武村真治, 曾根智史, 中原俊隆. 日常生活行

動圈からみた高齢者の保健・医療サービス利用の特性. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 313

石山直子, 久保田憲子, 熊澤春美, 前島悦子, 石井浩子, 金子さゆみ, 寺田勇人, 吉田健治, 武村真治. 小児のアレルギー疾患の実態・ニーズ 一東京都内3市を対象に実施したアンケート調査から. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999.10 ; 519

山根寛、石井敏弘. 精神医療保健福祉における連携の現状と課題. 第7回日本精神障害者リハビリテーション学会大会, 東京. 1999. 11 ; 82-83

学術報告書等

藤崎清道, 曽根智史, 武村真治, 他. 地域保健法施行後の保健所機能の強化・推進の評価に関する研究. (主任研究者: 藤崎清道) 平成10年度厚生科学研究健康科学総合研究事業報告書, 1999

藤崎清道, 曽根智史. 開発途上国の公衆衛生従事者の教育研修システムの現状把握に関する研究. (主任研究者: 上畠鉄之丞). 開発途上国のPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究報告書, 1999 ; 7-12

岩永俊博. 地域保健活動方法論の概要と地域での活動機会の類型化. 公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究 1998年度報告書, 1999.4 ; 421

岩永俊博、鷲野洋子. 地域づくり型保健活動の考え方と展開. 公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究 1998年度報告書, 1999.4 ; 441

岩永俊博. 地域保健活動の類型化と展開方法の適用に関する研究. 平成10年度厚生科学研究費補助金 健康科学総合研究事業研究報告書, 1999.3

曾根智史, 藤崎清道, 他. フィリピン家族計画・母子保健プロジェクトのプリシード・プロシードモデルを用いた評価(Ⅱ). (主任研究者: 林謙治) 環境と健康問題を中心とした国際医療協力の在り方に関する研究報告書, 1999 ; 64-74

尾崎米厚, 曽根智史, 谷畑健生. 未成年者の喫煙・飲酒を取り巻く環境に関する研究報告書 (主任研究者: 尾崎米厚). 1999

Originals

Ohida T, Osaki Y, Mochizuki Y, Sekiyama M, Minowa M. The smoking prevalence of female nurses in the national hospitals in Japan. *Tobacco Control*. 1999 ; 8: 192-96

Kim K, Uchiyama M, Okawa M, Doi Y, Oida T, et al. Lifestyle and sleep disorder among Japanese population. *Psychiatry & Clinic Neuroscience*. 1999 ; 53: 269-70

Sone T. Tobacco-related scenes in TV dramas for Japanese young audiences. *Tobacco Control*. 1999 ; 8: 350

Matsuda S, Sone T, Murata H. Income elasticity of education and smoking. *Environmental Health and*

曾根智史, 武村真治, 他. ソーシャルマーケティング理論を応用した, 生活者・消費者主体の地域保健事業のあり方に関する研究. (主任研究者: 中原俊隆) 平成10年度報告書. 厚生科学研究健康科学総合研究事業, 1999

曾根智史. ソーシャルマーケティングに関する文献研究. (主任研究者: 中原俊隆) ソーシャルマーケティング理論を応用した, 生活者・消費者主体の地域保健事業のあり方に関する研究 平成10年度報告書. 厚生科学研究健康科学総合研究事業, 1999 ; 5-12

曾根智史, 他. 保健所の運営に関する研究. (主任研究者: 藤崎清道) 地域保健法施行後の保健所機能の強化・推進の評価に関する研究報告書, 1999 ; 34-52

筒井孝子. 包括的支払方式における看護業務量測定に関する研究. 平成10年度厚生科学研究報告書, 1999

筒井孝子. 看護必要度に関する調査研究. 社団法人病院管理研究協会, 1999

武村真治, 藤崎清道, 曽根智史, 他. 保健所の整備に関する研究. (主任研究者: 藤崎清道) 地域保健法施行後の保健所機能の強化・推進の評価に関する研究 平成10年度報告書. 厚生科学研究健康科学総合研究事業, 1999 ; 5-33

武村真治, 他. 地域保健におけるソーシャルマーケティング・ミックスに関する研究. (主任研究者: 中原俊隆) ソーシャルマーケティング理論を応用した, 生活者・消費者主体の地域保健事業のあり方に関する研究 平成10年度報告書. 厚生科学研究健康科学総合研究事業, 1999 ; 31-95

武村真治, 他. アレルギー疾患に関するアンケート調査報告書. 東京都衛生局, 1999

武村真治, 他. 大都市における保健・健康理由による移転者の実態と保健サービスの在り方に関する研究. (主任研究者: 府川哲夫) 1998年度報告書. 厚生科学研究健康科学総合研究事業, 1999.

武村真治, 他. 医療費の自己負担増に伴う医療需要の価格弾力性に関する研究報告書 (主任研究者: 南部鶴彦). 平成10年度老人保健健康増進等事業, 医療経済研究機構, 1999

Preventive Medicine. 1999 ; 3 : 180-183

Yoichi S, Fitrau G, Takako T, Takaya M. Tree regression model to estimate care service time to elderly persons. The second Asia-Pacific Conference on Industrial Engineering and Management Systems (APIEMS'99). 1999 ; 41-44

Proceedings with abstracts

Sone T. Acquired ability and training needs of voluntary health workers in Central Luzon in the Philippines. The 127th American Public Health Association Annual Meeting. Chicago, U.S.A. 1999

Sone T. An evaluation of a Puppet Show Health Education Program for children in the Philippines. Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health,

Tokyo Meeting. Tokyo, Japan. 1999

Nakahara T, Satomura K, Noami S, Noami M, Mochizuki Y, Sone T. **Social marketing approach to health education for the minors - The measures to prevent the minors from starting smoking and developing their smoking habits -**. 2nd European Conference on Tobacco or Health / 1st Iberoamerican Conference on Tobacco or Health. Las Palmas de Gran Canaria, Spain. 1999

Satomura K, Nakahara T, Noami S, Noami M, Sone T, Tsukamoto I, Takahashi Y, Sakurami T. **Is it enough to teach stop smoking only to young people?** 2nd European Conference on Tobacco or Health / 1st Iberoamerican Conference on Tobacco or Health. Las Palmas de Gran Canaria, Spain. 1999

Takako T, Kazuo N. **Validity of the dementia behavior disturbance Index(1)-Patients in hospitals specializing in long term care, and residents at health care facilities for the elderly and special nursing homes-**. 6th Asia/Oseania Regional Congress of Gerontology. Seoul. Jun. 1999; 224

Kazuo N, Takako T. **Validity of the dementia**

behavior disturbance index(2)-Study for factor invariance regarding problematic behavior index for the elderly who require assistance by a simultaneous factor analysis-. 6th Asia/Oseania Regional Congress of Gerontology. Seoul. Jun. 1999 ; 224

Takako T, Kazuo N. **Validity of the dementia behavior disturbance index.** XI World Congress of Psychiatry. Hanburg. Aug. 1999 ; 50

Yoichi S, Fitrau G, Takako T, Takaya M. **Tree regression model to estimate care service time to elderly persons.** The second Asia-Pacific Conference on Industrial Engineering and Management Systems (APIEMS'99). Kanazawa. Oct. 1999 ; 41-44

Yoichi S, Takako T, Miyano T. **Model selection of tree regression models including linear regression terms.** 1999 Workshop on Information-Based Induction Sciences (IBIS' 99). Izu. Aug. 1999 ; 123 - 128

Takemura S, Hashimoto M, Koyano Y, Osada H. **The effects of verbal touching on physical and mental status for the institutionalized elderly.** 6th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology. Book of Abstracts. Seoul. Jun. 1999 ; 224.

公衆衛生看護学部

Department of Public Health Nursing

原 著

久村真紀江, 山田和子. **慢性呼吸不全患者の主観的幸福感に関連する要因.** 保健の科学. 1999 ; 41(10) : 791-797

九島久美子, 鳩野洋子, 田中久恵, 他. **住民主体型のグループ育成をめざした保健婦活動のあり方に関する研究—グループの形態分類.** 保健婦雑誌. 1999 ; 55(3) : 194-200

鳩野洋子, 田中久恵. **地域ひとり暮らし高齢者の閉じこもりの実態と生活状況.** 保健婦雑誌. 1999 ; 55(8) : 664-669

守田孝恵, 井上奈美. **臨地実習による学習内容の分析—これから保健婦が備えるべき「4つの能力」を中心に.** 第30回日本看護学会論文集－看護教育－. 1999 ; 133-135

菱沼典子, 及川郁子, 丸山美知子, 他. **看護の質の確保に関する研究—先進諸国における免許更新制度—.** 聖路加看護大学紀要. 1999 ; 25 : 52-67

総 説

山田和子. **国試を読む「子どもの虐待」.** 保健婦雑誌. 1999 ; 55(8) : 671-675

丸山美知子. **介護保険制度における公衆衛生従事者の関与と役割の明確化.** 公衆衛生研究. 1999 ; 48(1) : 39-43

丸山美知子. **平成10年度特別課程「公衆衛生看護管理」コース.** 公衆衛生研究. 1999 ; 48(3) : 234-235

九島久美子, 飯谷信子, 林ゆりや, 和田千恵美, 戸島眞実, 長谷部史乃, 鳩野洋子, 田中久恵. **高齢者のいきいき度評価と寝たきり予防活動のあり方に関する研究.** 生活教

育. 1999 ; 43(6) : 7-14

鳩野洋子. **日本更年期女性の健康観と医療施設受診状況.** 日本更年期医学会雑誌. 1999 ; 7(1) : 43-45

岩永俊博, 鳩野洋子, 渡部育子. **我が国におけるヘルスプロモーション活動の展開と課題.** 公衆衛生研究. 1999 ; 48(3) : 187-193

守田孝恵. **保健所の再編に伴う地域精神保健活動の方向性.** 季刊地域精神保健福祉情報REVIEW. 1999 ; 5(27) : 6-9

牛山明, 福島富士子, 尾崎米厚. **教育プログラムを活用した乳幼児事故予防教育の実際—誤飲・窒息事故予防プログラムを通して.** 生活教育. 1999 ; 43(3) : 7-10

福島富士子. **母子保健活動と助産婦.** 栄養日本. 1999 ; 42(3) : 28-29

須藤紀子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 福島富士子, 石井敏弘, 上畠鉄之丞. **保健所栄養士の卒後教育と職能訓練の現状について.** 栄養学雑誌. 1999 ; 57(2) : 97-106

平野かよ子. **公衆衛生活動の専門家としての保健婦の未来.** 保健婦雑誌. 1999 ; 55(11) : 901-906

著 書

丸山美知子. **これから保健婦の役割, 地域保健法および介護保健法における保健役割.** 平山朝子, 他. 第3版公衆衛生看護学大系第1巻公衆衛生看護学総論1. 日本看護協会出版会, 東京 : 1999 ; 20-21, 41-50

丸山美知子. 新たな地域保健・福祉制度の構築に向けての看護職の役割—地域の特性を踏まえた施策化を目指して. 日本看護協会. 平成11年版看護白書. 日本看護協会出版会, 東京: 1999; 8-80

丸山美知子. 居宅介護支援の課題. 山崎泰彦. 介護保険システムのマネジメント. 医学書院, 東京: 1999; 120-128
平野かよ子. 地域・職場での健康づくり戦略, 組織. 日本看護協会編. 保健婦(士)業務要覧(第9版) 第3章IX. 日本看護協会出版会, 1999; 3

平野かよ子. 地域看護活動の展開方法: 集団健診. 飯田澄美子, 金川克子編集. 地域看護学概論. メガルフレンド社, 1999; 12

抄録のある学会報告

島内節, 藤谷久美子, 丸山美知子, 他. 訪問看護業務内容の難易度とケア所要時間との関係. 第19回日本看護科学会, 北海道. 1999

山田洋子, 丸山美知子. 難病訪問診療事業の効果と保健婦の役割—新潟県の6保健所への調査結果から. 日本難病看護学会誌. 新潟. 1999; 2(2): 132-139

丸山美知子, 山田和子, 鳩野洋子, 福島富士子. 保健婦の調査・研究の資質向上に関する研究—調査・研究能力の自己評価に関する実態ー. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999.10

守田孝恵, 井上奈美. 臨地実習による学習内容の分析—「4つの能力」を中心に. 第30回日本看護学会 - 看護教育-, 三重. 1999. 8

守田孝恵, 川畑貴美子, 金子昌子. 精神障害者のセルフ・ヘルプ・グループと保健婦のかかわり. 第30回日本看護学会 - 地域看護-, 兵庫. 1999.9

守田孝恵, 高橋正雄, 山村礎. 東京都における精神障害者のセルフ・ヘルプ・グループの実態. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

河原智江, 平野かよ子, 浅沼奈美, 中板育美, 宮本ふみ, 石田昌弘, 上畠鉄之丞, 守田孝恵, 熊谷勝子, 斎藤真理子, 佐々木峰子, 田中久恵. 地域保健における保健婦の活動展開方法に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999.10

守彰一郎, 武智真理, 長瀬希, 星野笑子, 牧野容子, 守田孝恵, 井上奈美. 「キレる」と言われる中学生の実態. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

井上奈美, 網野寛子, 守田孝恵. 保健婦(士)教育機関における教育実習(養護教諭)の現状と課題. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

鴻野洋子, 田中久恵, 長谷部史乃, 他. 地域ひとり暮らし高齢者の閉じこもり要因の分析. 2回日本地域看護学会, 山梨. 1999. 6

丸山美知子, 山田和子, 石井享子, 福島富士子, 鳩野洋子, 植田悠紀子. 保健婦の調査・研究の資質向上に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

岩永俊博, 鳩野洋子, 鈴木浩子, 他. 地域保健活動展開

方法選択のための場面の類型化. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

坪川トモ子, 鳩野洋子. 地域における住民組織の主体性に関するアセスメント指標の検討. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

田中久恵, 佐藤京子, 金丸洋子, 植田悠紀子, 鳩野洋子, 長谷部史乃. 総合相談窓口体制の実施状況. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10.

鳩野洋子, 田中久恵, 長谷部史乃, 小林政子, 三田尚子, 竹谷美樹. ひとり暮らし高齢者に対する訪問の効果と背景要因. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

丸山美知子, 山田和子, 石井享子, 福島富士子, 鳩野洋子, 植田悠紀子. 保健婦の調査・研究の資質向上に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10; 274

山口康代, 谷畠健生, 岩井裕子, 岩永俊博, 福島富士子, 他. 住民とスタッフの意識の変化を探る 目的を共有する瞬間を目指して. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10; 338.

福島富士子, 藤内修二, 杉本聖子, 尾崎米厚, 柴田真理子, 長川トミエ, 安藤実里, 宮里和子. 保健所における母子保健活動の展開. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

内山弘子, 福島富士子. 母子保健事業からみた市町村に対する保健所の役割. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10; 296

福島富士子, 宮里和子, 柴田真理子, 長川トミエ. 保健所における母子保健活動の実態. 第40回日本母性衛生学会, 横浜. 1999. 9; 283

山田和子, 上野昌江, 植田悠紀子. 訪問看護ステーションにおける小児患者の現状と課題～管理者への調査から～. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 810-811

上野昌江, 山田和子, 植田悠紀子. 訪問看護ステーションにおける小児患者の現状と課題～援助している小児の事例～. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 812-813

中板育美, 山田和子. 保健機関における虐待問題の取り組みについて～東京都(多摩地区)保健所と市町村の実態調査より～. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 270-271

山田和子, 上野昌江, 植田悠紀子. 訪問看護ステーションにおける重症心身障害児への在宅支援. 第25回日本重症心身障害学会, 高崎. 1999. 9; 52

植田悠紀子, 山田和子, 大竹ひろ子, 工藤恵子, 中谷肇一, 古川ヨシ. 保健所における企画調整部門の現状(第1報)～企画調整部門の体制～. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999; 269

山田和子, 植田悠紀子, 大竹ひろ子, 工藤恵子, 中谷肇一, 古川ヨシ. 保健所における企画調整部門の現状(第2報)～企画調整部門の機能と評価～. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999; 270

丸山美知子, 山田和子, 石井享子, 福島富士子, 石井享子, 鳩野洋子, 植田悠紀子. 保健婦の調査・研究の資質向

上に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 274

小川千寿子, 井上伸子, 掛川武生, 田中直志, 久松栄, 小石真子, 増岡雅子, 松島美奈子, 植田悠紀子, 山田和子, 渡邊征夫, 河村清史, 井上雄三, 山田正人, 市川勇, 青山旬. 住民の生活環境保全に関する意識を育てるための学習プログラムの開発(第1報). 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 769

増岡雅子, 井上伸子, 掛川武生, 田中直志, 久松栄, 小川千寿子, 小石真子, 松島美奈子, 植田悠紀子, 山田和子, 渡邊征夫, 河村清史, 井上雄三, 山田正人, 市川勇, 青山旬. 住民の生活環境保全に関する意識を育てるための学習プログラムの開発(第2報). 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 769

中板育美, 山田和子. 保健所と市町村の連携を考える—子どもの虐待問題からのアプローチ. 第21回全国地域保健学術研究会, 札幌. 1999 ; 306-307

平野かよ子, 島田美喜, 湯澤布矢子. 地域保健における保健婦の活動方法論. 聖路加学会, 1999. 9

河原智江, 平野かよ子, 浅沼奈美, 中板育美, 宮本ふみ, 石田昌宏, 上畠鉄之丞, 守田孝恵, 熊谷勝子, 斎藤真理子. 地域保健における保健婦の活動展開方法に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999.10

学術報告書等

山田和子, 他. 児童虐待への援助における保健婦の役割に関する研究—家庭訪問活動の分析—. (研究代表者 : 上野昌江) 平成9年度・平成10年度科学研究費補助金(基盤研究(C))(2)研究成果報告書, 1999 ; 10 : 1-42

植田悠紀子, 鳩野洋子, 丸山美知子, 山田和子, 他. 介護保険実施に伴う保健婦活動のあり方に関する研究. (主任研究者 : 植田悠紀子) 平成10年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業度事業報告書, 1999 ; 1-38

藤崎清道, 曽根智史, 武村真治, 岩永俊博, 丸山美知子, 山田和子, 他. 地域保健法施行後の保健所機能の強化・推進の評価に関する研究 (保健所の整備に関する研究) (主任研究者 : 藤崎清道) 平成10年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業度事業報告書, 1998 ; 1-33

山田和子, 他. 大阪府内の訪問看護ステーションにおける小児患者の現状と課題—地域のシステム化をめざして—. 第9回(平成10年度)研究助成・事業助成報告書. 財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団, 1999 ; 253-271

丸山美知子, 山田和子, 植田悠紀子, 石井享子, 福島富士子, 鳩野洋子. 保健婦の調査・研究に関する指導方法の開発・指針作成. (主任研究者 : 丸山美知子) 平成10年度地

域保健における保健婦の機能・役割と資質向上に関する研究報告書, 1999 ; 1-71

植田悠紀子, 山田和子. 保健婦活動(特に保健所の企画調整)の評価に関する研究. (主任研究者 : 湯澤布矢子) 平成10年度厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業度事業報告書, 1999

植田悠紀子, 鳩野洋子, 丸山美知子, 他. 介護保険に実施に伴う保健婦活動のあり方に関する研究. 平成10年度厚生科学研究費補助金(健康科学総合研究事業), 1999

丸山美知子, 他. 地域保健における保健婦の機能・役割と資質向上に関する研究. 平成10年度厚生科学研究費補助金(健康科学総合研究事業), 1999. 3

藤崎清道, 曽根智史, 丸山美知子. 地域保健法施行後の保健所の機能の強化・推進の評価に関する研究. 1999

植田悠紀子, 鳩野洋子, 丸山美知子, 山田和子. 介護保険実施に伴う保健婦活動のあり方に関する研究報告書(研究代表者 : 植田悠紀子). 平成10年度健康科学総合研究事業, 1999

丸山美知子, 山田和子, 鳩野洋子, 福島富士子. 保健婦の調査・研究の資質向上に関する研究(研究代表者 : 丸山美知子) 地域保健における保健婦の機能・役割と資質向上に関する研究報告書. 保健医療福祉地域総合調査研究事業, 1999 ; 1-71

鳩野洋子, 岩永俊博. 地域づくり型保健活動の概要とその特徴, 地域保健の類型化と展開方法の適用に関する研究(主任研究者 : 岩永俊博) 平成10年度健康科学総合研究事業, 1999 ; 44-62

岩永俊博, 鳩野洋子. 健康づくりにおける住民参加度の測定に関する研究. (主任研究者 : 岩永俊博) 平成10年度健康体力づくり財団健康づくり等調査研究結果報告書, 1999

田中久恵, 鳩野洋子. 一人暮らし高齢者フォローアップ調査. 平成10年度厚生省老人保健健康増進等補助事業報告書,

鳩野洋子. 保健婦・看護婦・助産婦のPHC研修—WHO Regional Centerでの経験, 開発途上国とのPHCにおける地域看護の強化と人材開発のあり方に関する研究. (主任研究者 : 上畠鉄之丞) 平成10年度国際協力研究委託費報告書, 1999 ; 15-20

守田孝恵, 他. (研究代表者 : 北川定謙) 報告書. 平成10年度健康科学総合研究事業, 1999

福島富士子, 他. 保健所における母子保健活動のあり方に関する研究. 平成10年度厚生科学研究費補助金健康科学研究報告書, 1999

福島富士子, 他. 「子供と家族の心と健康」調査報告書. 「子供と家族の心と健康」調査委員会 日本性科学情報センター, 1999. 12

133-139

Originals

Murashima S, Hatono Y, Whyte N, Asahara K. Public health nursing in Japan—New opportunities for health promotion. *Public Health Nursing*. 1999 ; 16(2) :

Proceedings with Abstracts

Ishizuka B, Kudo Y, Sato S, Hatono Y, et.al. Factor

analysis of the climacteric symptoms in 50 year-old Japanese women : a cross-sectional, community survey. The 9th International Menopause Society World Congress on the Menopause. Yokohama, Oct. 1999

Hatono Y, Kushima K, Tanaka H, et.al. **An attempt to measure the vitality level of the elderly in the community (workshop).** International Workshop on Health Indicator Development toward the 21st Century. Seoul, Mar. 1999 ; 303-312

Maruyama M, Miura Y, Kinoda M. **A study nursing / Care workload required for home care.** International Workshop on Health Indicator Development toward the

21st Century. Seoul. Mar. 1999 ; 337-352

Kobayashi M, Naya Y, Suzuki A, Sato T. **A study of background causes and problems in nurture in child abuse, neglect and necessity of support cases.** International Workshop on Health Indicator Development toward the 21st Century. Seoul. Mar. 1999 ; 267-283

Hirano K. **Public health nurse activities and evaluations in Japan.** International Workshop on Health Indicator Development toward the 21st Century. Seoul. Mar. 1999 ; 225-230

生理衛生学部 Department of Physiological Hygiene

原 著

佐々木昭彦, 兵井伸行, 内山巖雄, 原沢英夫, 兜真徳. **IPCC-TARの健康影響チャプターに関する国内・国際協力-----適応の多様性評価に関する分野間ネットワーク-----.** 気候影響・利用研究会会報. 1999 ; **16** : 12-17

高橋美加, 佐々木昭彦, 西田泰. 幼児の自動車内熱中症死亡事故の分析—気象条件とリスクの認識について—. 気候影響・利用研究会会報. 1999 ; **16** : 40-48

永田久雄, 佐々木昭彦, 酒井一博, 李善永. **高齢社会対応の労働環境づくりに関する意識調査—40歳代労働者と60歳以上の高齢者に対する調査—.** 産業安全研究所研究報告. 1999 ; NIIS-RR-98 : 53-66

総 説

大久保千代次. **電磁界の健康への影響.** 保健婦雑誌. 1999 ; **55**(2) ; 153-165

大久保千代次. **商用周波電磁界の健康影響—最近の動向—.** 保健婦雑誌. 1999 ; **55**(10) : 860-865

牛山明, 福島富士子, 尾崎米厚. **教育プログラムを活用した乳幼児事故予防教育の実際.** 生活教育. 1999 ; **43** : 7-10

著 書

佐々木昭彦. **環境と人体・健康影響 (第VIII部 人間活動圏データ編 第4章).** 茅陽一監修, オーム社編. 環境年表'2000/'2001. 1999 ; 406-414

抄録のある学会報告

高橋美加, 佐々木昭彦, 内山巖雄, 永井由美子, 中山栄純. **高齢者の暑熱適応における体温調節とR-R間隔変動のモデル化の試み.** 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 600

永井由美子, 高橋美加, 中山栄純, 佐々木昭彦, 内山巖雄. **高齢者の暑熱環境における体温調節とR-R間隔変動.** 第69回日本衛生学会, 千葉. 1999. 3 ; 198

浅野牧茂, 大久保千代次. **ウサギのインシュリン低血糖症発作に及ぼす薬理学的自律神経遮断の影響と皮膚微小循環動態変化の関連について.** 第24回日本微小循環学会総会, 東京. 1999. 2 ; 40

岡野英幸, 大久保千代次. **静磁場によるウサギ皮膚微小循環に対する血管運動調節作用について<カルシウム拮抗薬, 及び一酸化窒素合成阻害剤に対する影響>.** 第24回日本微小循環学会総会, 東京. 1999. 2 ; 45

大久保千代次, 岡野英幸, 浅野牧茂. **ストレスと動脈硬化発生因子に関する実験的研究3.** 第22回日本バイオレオロジー学会総会, 和光. 1999. 6 ; 45

佐々木昭彦, 兵井伸行, 内山巖雄, 原沢英夫, 兜真徳. **IPCC-TARの健康影響チャプターに関する国内・国際協力-----適応の多様性評価に関する分野間ネットワーク-----.** 第27回気候影響・利用研究会, 東京. 1999. 3

佐々木昭彦, 高橋美加, 内山巖雄, 西田泰. **乳幼児の車内熱中症事故の要因とリスク認知とのずれ.** 日本リスク研究会, 東京. 1999. 11

佐々木昭彦, 遠藤英俊. **高齢社会における共生---技術のユニバーサル化に対する役割.** 第6回ファイザーヘルスリサーチフォーラム: 新しい時代の保健・医療・福祉を考える—政策科学の実証研究を中心として—, 東京. 1999. 11

角田智玲, 牛山明, 須藤紀子, 武村真治, 曽根智史, 他. **外食における栄養成分表示に関する研究.** 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

向井美香子, 曽根智史, 牛山明, 武村真治, 須藤紀子. **外食における栄養成分表示に関する研究.** 第46回日本栄養改善学会総会, 郡山. 1999. 10

坂本雅恵, 坂本秀一, 永井亜希子, 麻生武志, 増田宏, 後藤守兄, 玉置賢, 東洋. **ヒト子宮平滑筋および平滑筋腫におけるET-1および受容体の役割.** 第72回日本薬理学会, 札幌. 1999. 3

尾林聰, 別府正志, 麻生武志, 後藤守兄, 玉置賢, 増田宏, 東洋. **ヒト子宮動脈内膜肥厚のエストロゲンによる抑制機構.** 第72回日本薬理学会, 札幌. 1999. 3

玉置賢, 増田宏, 後藤守兄, 東洋. ウサギ頸動脈内膜肥厚モデルにおけるNO合成酵素の免疫組織化学的検討. 第72回日本薬理学会, 札幌. 1999.3

後藤守兄, 増田宏, 玉置賢, 東洋. 内因性NOS阻害物質の増加が高血糖による内膜肥厚の増悪に関与する. 第72回日本薬理学会, 札幌. 1999.3

坂本秀一, 永井亜希子, 坂本雅恵, 麻生武志, 増田宏, 後藤守兄, 玉置賢, 東洋. ラット妊娠子宮筋における内因性NOS阻害物質, NOおよびET-1の役割. 第72回日本薬理学会, 札幌. 1999.3

増田宏, 後藤守兄, 東洋. 内皮依存性cyclic GMP産生とNOS阻害物質としてのL-NMMA. 第72回日本薬理学会, 札幌. 1999.3

学術報告書等

大久保千代次, 渋野牧茂. ストレスと動脈硬化発生因子に関する実験的研究. (主任研究者: 大久保千代次) 平成10年度喫煙科学研究財団研究報告書, 1999; 409-413

大久保千代次, 牛山明. 皮膚微小循環を中心とする生体の循環動態に及ぼす電磁場の全身暴露影響に関する研究. (主任研究者: 大久保千代次) 平成10年度環境保全研究成果集(II), 1999; 17-1 - 17-30

大久保千代次, 牛山明, 他. 居住環境アメニティー研究「電磁界安全対策調査研究」. (主任研究者: 大久保千代次) 平成10年度厚生科学研究費補助金事業実績報告書, 1999; 1-59

大久保千代次. 電磁環境基準の動向—世界保健機構(WHO)の国際電磁界プロジェクトを中心として—. (主任研究者: 安岡正人) 平成10年度電磁対策建材委員会報告書, 1999; 20-32

大久保千代次. 海外調査報告—世界的な電磁界暴露基準

に関するワークショップ概要一. (主任研究者: 安岡正人) 平成10年度電磁対策建材委員会報告書, 1999; 151-174

大久保千代次. リスクアセスメントからみた研究の現状. 2) 動物実験. (主任研究者: 高久史磨) 平成10年科学技術振興調整費生活環境中の電磁界の健康影響評価と安全対策に関する調査, 日本環境協会, 1999; 20-27

大久保千代次, 他. リスクアセスメントからみた研究の現状. 2) ヒトの生理実験. (主任研究者: 高久史磨) 平成10年科学技術振興調整費生活環境中の電磁界の健康影響評価と安全対策に関する調査, 日本環境協会, 1999; 28-35

佐々木昭彦, 他. 家庭・公共施設における共生特性のモデル化に関する研究, 科学技術振興調整費生活・社会基盤研究「高齢社会における製品・生活環境等のユニバーサル化に関する研究(エイジレス・エンバイロメント・テクノロジー)」. (主任研究者: 小木元) 平成10年度研究成果報告書, 1999; 17-23

佐々木昭彦, 石井享子, 望月友美子, 他. 自律分散都市の保健福祉機能からみた住民の満足感と健康意識の問題. (主任研究者: 佐々木昭彦) 科学技術振興調整費「システムと人間との調和のための人間特性に関する基礎的・基盤的研究」(第Ⅱ期 平成8-9年度) 成果報告書, 1999; 309-329

佐々木昭彦. 温暖化の健康影響からみたHDP展望一人間の側面と健康 (主任研究者: 佐々木昭彦). 国立環境研究所地球環境研究センター編. 地球環境研究展望一人間・社会的側面からみた地球環境問題, 1999; 1-8

内山巖雄, 佐々木昭彦, 兵井伸行, 他. 社会集団の健康事象に及ぼす気候変動の影響—アジア太平洋地域のライフスタイル研究—. (主任研究者: 内山巖雄) 安藤満編. 平成8-10年度環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書「地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究」. 1999; 103-149

Originals

Oral active and novel nonpeptide antagonist for endothelin receptors and inhibition of intimal hyperplasia after balloon denudation of rabbit carotid artery. *Jpn. J. Pharmacol.* 1999; 81: 21-28

Sakamoto S, Aso T, Masuda H, Goto M, Tamaoki S, Azuma H. Gestational changes in endothelin-1-induced receptors and myometrial contractions in rat. *Mol. Human Reproduction.* 1999; 5(3): 270-276

Masuda H, Goto M, Tamaoki S, Azuma H. Accelerated intimal hyperplasia and increased endogenous inhibitors for NO synthesis in rabbits with alloxan-induced hyperglycaemia. *Br. J. Pharmacol.* 1999; 126: 211-218

Books

Asano M, Ohkubo C. Cutaneous microcirculatory responses to insulin administration under pharmacological blockade of autonomic nervous pathways in relation to hypoglycemic convulsions in the fasted rabbit: in "Microcirculation annual. 1999; 15"

Okano C, Gmitrov J, Ohkubo C. Biphasic effects of static magnetic fields on cutaneous microcirculation in rabbits. *Bioelectromagnetics.* 1999; 20: 161-171

Gmitrov J, Ohkubo C. Static magnetic field and calcium channel blocking agent combined effect on baroreflex sensitivity in rabbits. *Electro- and Magnetobiology.* 1999; 18(1): 43-55

Gmitrov J, Ohkubo C. Geomagnetic field decreases cardiovascular variability. *Electro- and Magnetobiology.* 1999; 18(3): 291-303

Okano H, Ohkubo C. Anti-pressor effect of a Chinese-Japanese herbal medicine, Saiko-ka-ryukotsu-borei-to on hemodynamics in rabbits. *In Vivo.* 1999; 13: 333-338

Yamada S, Ohkubo C. The influence of frequent and excessive intake of glucose on microvascular aging in healthy mice. *Microcirculation.* 1999; 6: 55-62

Azuma H, Sato J, Masuda H, Goto M, Tamaoki S, Sugimoto A, Hamasaki H, Yamashita H. ATZ1993, an

(eds. Tsuchiya M, Asano M, Fukuuchi Y). Nihon-Igakukan. Tokyo : 1999 ; 51-52

Okano H, Ohkubo C. **Modulating effects of static magnetic fields on blood pressure in rabbits: in "Microcircularion annual. 1999 ; 15"** (eds. Tsuchiya M, Asano M, Fukuuchi Y). Nihon-Igakukan. Tokyo : 1999 ; 101-102

Proceedings with abstracts

Ohkubo C, Okano H. **Biphasic effects of locally applied static magnetic fields on cutaneous microcirculation.** China-Japan-Korea Congress on The Blood Stasis Syndrome. Beijin. Oct. 1999 ; 45 (Plenary Lecture)

Asano M, Ohkubo C. **On nervous control of immediate cardiopulmonary responses to passive smoking in the rabbit.** The 41st Annual World Congress of International College of Angiology. Sapporo. Jul. 1999 ; 83

Ohkubo C, Okano H, Asano M. **Experimental study on stress and arteriosclerotic factors in the rabbits 3.** Biorheology. 1999 ; 337-338

Ohkubo C, Okano H, Xu Sh, Gmitrov J. **Biological effects of static magnetic fields and ELF-electromagnetic fields on microcirculation in animals.** The 3rd Workshop on Biological Effects of Electro-

magnetic Field in Chungnam National University. Teajon, Korea. 1999 ; 115-129 (Invited Paper)

Okano H, Ohkubo C. **Anti-depressor effects of static magnetic fields on hypotensive conditions in rabbits.** The Second Meeting of Symposium on New Magneto-science '98. 1999 ; 1-11 (Invited Paper)

Takahashi M, Sasaki A, Uchiyama I, Nishida Y. **Heat-related death of small children left in parked cars during 1985-98 in Japan.** 10th Global Warming International Conference. Yamanashi. 1999 ; 128

Takahashi M, Sasaki A, Uchiyama I, Nishida Y. **Background of a child's heat-related death in a car.** Asian Regional Association for Home Economics. Yokohama. 1999 ; 314-315

K Wake, A Ushiyama, C Ohkubo, M Taki. **Induced electric fields and current densities in mice dorsal skinfold chamber exposed to ELF magnetic fields.** The 26th General Assembly of International Union of Radio Science. Toronto. Aug. 1999 ; 662

Ohkubo C. **Effects of static magnetic field and extremely low frequency electromagnetic fields on cutaneous microcirculation in rabbits.** The 26th General Assembly of International Union of Radio Science. Toronto. Aug. 1999 ; 629

栄養生化学部 Department of Nutrition and Biochemistry

原 著

梶本雅俊, 川野因, 武田一, 鈴木妙子. 女子学生ランナーの合宿時における鉄補足が赤血球 δ-Aminolevulinic Acid Dehydratase 活性に及ぼす影響. 栄養学雑誌. 1999 ; 56(5) : 265-275

梶本雅俊, 水沼俊美, 金子真紀子, 坂井堅太郎, 真鍋裕之, 久木野憲司, 久野一恵. n-3系及びn-6系不飽和脂肪酸量からみた料理（主材料別）の脂質評価. 栄養学雑誌. 1999 ; 57(1) : 37-44

梶本雅俊, 水沼俊美, 金子真紀子, 坂井堅太郎, 真鍋裕之, 久木野憲司, 久野一恵. 脂肪酸量からみた食事脂質評価の一例. 栄養学雑誌. 1999 ; 57(1) : 45-49

亀好良一, 田中稔孝, 楠原理子, 柳田明伸, 山本昇壯, 神安雅哉, 水野正晴, 近藤雅雄. 先天性骨髄性ポルフィリン症. 西日本皮膚科学雑誌. 1999 ; 61 : 163-167

村松理子, 白杵憲祐, 伊豆津宏二, 山口祐子, 臺岐聖子, 古山和道, 近藤雅雄, 浦部晶夫. X染色体連鎖鉄芽球性貧血. 臨床血液. 1999 ; 40 : 593-598

小平純一, 竹森信男, 豊島經康, 近藤雅雄. 肝機能異常を示した急性間歇性ポルフィリン症の一例. 旭厚医誌. 1999 ; 9 : 26-31

近藤雅雄, 伊藤嘉信. 肝赤芽球性ポルフィリン症が疑わ

れた一例. ポルフィリン. 1999 ; 8 : 81-86

総 説

近藤雅雄. ポルフィリン症. 疾患概念の変遷. 一肝胆膵疾患研究のあゆみ. 医学のあゆみ. 1999 ; 13 : 1123-1127

近藤雅雄, 中山健, 矢野雄三. ポルフィリン症と薬剤. ポルフィリン. 1999 ; 8 : 87-96

著 書

梶本雅俊. 第1章 公衆衛生の概念 第2章 公衆衛生の歴史. 梶本雅俊, 村松宰編, 公衆衛生学. 講談社, 東京 : 1999 ; 1-6

近藤雅雄. ポルフィリン症の生化学的診断. 日本皮膚学会研修委員会監修. 皮膚科専門医テキスト集. 1999 ; 305-332

近藤雅雄. ポルフィリン. 広範囲血液尿化学検査免疫学的検査（上巻）. 一その数値をどう読むか, 第5版, II. 生化学的検査, L. 色素関連物質. 日本臨牀. 1999 ; 333-336

近藤雅雄. δ-アミノレブリン酸合成酵素 (ALAS). 広範囲血液尿化学検査免疫学的検査（上巻）. 一その数値をどう読むか, 第5版, II. 生化学的検査, L. 色素関連物

質. 日本臨牀. 1999 ; 341-344

近藤雅雄, 大門真. ポルフォビリノーゲン・デアミナーゼ(PB GD). 広範囲血液尿化学検査免疫学的検査(上巻), 一その数値をどう読むかー, 第5版, II. 生化学的検査, L. 色素関連物質. 日本臨牀. 1999 ; 352-355

抄録のある学会報告

鎌内ミチ子, 家永紀子, 藤森和子, 田村須美子, 伊東蘆一, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 白鷹増男. ワーキングママの健康づくりに関する調査から(第1報). 第46回日本栄養改善学会, 福島. 1999 ; 145

佐藤加代子, 布川直子, 梶本雅俊, 田中真智子, 西田祐子, 樋口直美, 杉原茂孝, 平田直子, 鈴木久乃, 君羅満, 石井莊子, 坂本元子. 全国レベルにおける1~6歳児の食物摂取状況の現状とその問題(第1報). 第46回日本小児保健学会, 北海道. 1999 ; 616

渡辺則和, 近藤雅雄, 弘重壽一, 杉本勝彦, 有賀徹, 松井恒太郎, 早野大輔, 山本武史, 安部博昭, 三宅康史, 秋田泰. 意識障害を主訴に入院した急性間欠性ポルフィリン症の1例. 日本臨牀救急救急医学会, 福岡. 1999 . 4 ; 133

深田慶, 森谷真之, 階堂三砂子, 阿部和夫, 佐古田三郎, 柳原武彦, 近藤雅雄. 遺伝性コプロポルフィリン症(HCP)に8-アミノレブリン酸脱水酵素(ALAD)活性の低下を合併したポルフィリン症の1例. 第40回日本神経学会総会, 東京. 1999 . 5

近藤雅雄. わが国におけるポルフィリン症の動向. 第69回日本衛生学会, 千葉. 1999 . 3 ; 409

落合香織, 杉本元信, 定本貴明, 住野泰清, 近藤雅雄. 晚発性皮膚ポルフィリン症の1例. 第26回臨床肝臓懇話会, 東京. 1999 . 2

弘重壽一, 松井恒太郎, 早野大輔, 山本武史, 安部博昭, 三宅康史, 秋田泰, 杉本勝彦, 有賀徹, 渡辺則和, 矢野雄三, 近藤雅雄. 意識障害を主訴に入院した重症急性間欠性ポルフィリン症の1例. 第26回ポルフィリン研究会, 東京. 1999 . 5

前田直人, 工藤吉郎, 佐々木祐一郎, 堀江裕, 川崎寛中, 大門真, 佐々木英夫, 近藤雅雄. 急性間欠性ポルフィリン症におけるhydroxymethylbilane synthaseの遺伝子異常~本邦3家系における解析. 第26回ポルフィリン研究会, 東京. 1999 . 5

近藤雅雄, 落合香織, 中山健, 杉本元信. フェニトイン, カルバマゼピンによるポルフィリン症誘発機序. 第72回日本生化学会大会, 横浜. 1999 . 10

佐々木祐一郎, 前田直人, 堀江裕, 川崎寛中, 近藤雅雄. 多様性ポルフィリン症の遺伝子解析~本邦第2例報告~. 第35回日本肝臓学会総会, 横浜. 1999 . 6 ; 342

堀江裕, 前田直人, 岡本欣也, 岡野淳一, 川崎寛中, 岸本幸広, 三代俊治, 近藤雅雄. C型肝炎を合併した晩発性皮膚ポルフィリン症のインターフェロン治療. 第35回日本肝臓学会総会, 横浜. 1999 . 6 ; 342,

落合香織, 杉本元信, 中山健, 市川勇, 近藤雅雄. マウ

スの肝および造血器ポルフィリン代謝に及ぼすフェニトインおよびカルバマゼピンの影響. 第35回日本肝臓学会総会, 横浜. 1999 . 6 ; 343,

前田直人, 佐々木祐一郎, 堀江裕, 川崎寛中, 相坂康之, 浅田備之, 北本幹也, 中西敏夫, 梶山悟郎, 近藤雅雄. 急性胆汁うっ滞を合併した赤芽球性プロトポルフィリン症におけるフェロキラターゼ遺伝子の解析. 第26回ポルフィリン研究会, 東京. 1999 . 11 ; 99

井上伸子, 饗場直美, 山本茂貴. 放射線によるLMP2遺伝子欠損マウス胸腺細胞の細胞死の機構の解析. 第72回日本生化学会大会, 横浜. 1999 ; 822

饗場直美, 井上伸子, 櫻井浩. X線照射によって誘起される細胞死におけるCaspase familyの活性化. 第72回日本生化学会大会, 横浜. 1999 ; 822

山崎聖美, 岡田由美子, 久松由東. 内分泌攪乱化学物質のリンパ球の反応性に及ぼす影響について. 第72回日本生化学会大会, 横浜. 1999 . 10 ; 897

山崎聖美, 岡田由美子, 久松由東, 香山不二雄. 内分泌攪乱化学物質のリンパ球の反応性に及ぼす影響について. 第2回日本内分泌攪乱化学物質学会, 神戸. 1999 . 12 ; 157

山口晃子, 山崎聖美, 坂部貢, 中澤裕之. 生活関連化学物質のE-SCREEN Assayによる評価. 第2回日本内分泌攪乱化学物質学会, 神戸. 1999 . 12 ; 69

大嶋恵理子, 山崎聖美, 青木洋祐. 単球機能に対する顆粒球中性プロテアーゼの影響. 第72回日本生化学会, 横浜. 1999 . 10 ; 1074

向井美香子, 曽根智史, 牛山明, 武村真治, 須藤紀子. 外食における栄養成分表示に関する研究. 第46回日本栄養改善学会, 福島. 1999 . 10 ; 195

角田智玲, 石川清美, 浅沼奈美, 今田美穂子, 大坪浩一, 塚下和彦, 中坂育美, 向井美香子, 曽根智史, 牛山明, 武村真治, 須藤紀子, 上畠鉄之丞. 外食における栄養成分表示に関する研究. 第58回日本公衆衛生学会総会, 大分. 1999 . 10 ; 702

須藤紀子, 大塚柳太郎. 1事業所に勤務する女子交替制勤務者の栄養摂取状況と食事回数. 第58回日本公衆衛生学会総会, 大分. 1999 . 10 ; 729

須藤紀子, 大塚柳太郎. 1事業所に勤務する女子交替制勤務者における疲労の訴え数の日内変動とその関連要因. 第64回日本民族衛生学会総会, 弘前. 1999 . 9 ; 66-67

須藤紀子, 大塚柳太郎. 1事業所に勤務する女子交替制労働者の睡眠パターン. 第72回日本産業衛生学会, 東京. 1999 . 4 ; 578

須藤紀子, 上畠鉄之丞. わが国労働者の労働時間と自覚症状の関連に関する研究. 第9回日本疫学会総会, 名古屋. 1999 . 1 ; 140

学術報告書等

佐藤加代子, 梶本雅俊, 他. 幼児のライフスタイルに対応し, 食物摂取状況の発育・発達をふまえた食教育の枠組みをふまえて. 平成10年度厚生科学研究. 子ども家庭総合

研究, 1999; 1-13

山本茂貴, 饗場直美. 放射線によるリンパ球の細胞死 (apoptosis) のメカニズムの解析及びその回避因子に関する研究. 平成9年度国立原子力試験研究成果報告書 第38集, 1999; 101-1-4

梶本雅俊. 平成9年度全国減塩マップ調査結果. 全国減塩マップ事業報告事業報告. 全国食生活改善推進員団体連絡協議会(日本食生活協会), 1999; 1-64

梶本雅俊. 食生活を中心とした乳幼児期からの健康づくりについて. 乳幼児期の生活状況および食生活の実態とこれからの健康づくり対策, 津久井保健福祉事務所地域食生活

対策推進協議会, 津久井保健福祉事務所, 1999; 1-58

梶本雅俊, 熊本県健康福祉部. 熊本県民の食生活の現状. 平成8年度県民栄養調査及び平成10年度地域食生活実態調査の結果より, 熊本県健康福祉部健康増進課, 1999; 1-80

須藤紀子. 日本の労働者の労働習慣と生活習慣の関連についての研究. 公衆衛生研究. 1999; 48(3): 245-247

須藤紀子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 福島富士子, 石井敏弘, 上畠鉄之丞. 保健所栄養士の卒後教育と職能訓練の現状について. 栄養学雑誌. 1999; 57(2): 97-106

須藤紀子, 上畠鉄之丞. 喫煙・飲酒習慣と職務ストレス. 労働の科学. 1999; 54(2): 30(98)-34(102)

Originals

Asada K, Niwa M, Sato T, Kajimoto M. A Study of the bioavailability of calcined hydroxyapatite as a source of calcium. *Journal of Materials science Materials in Medicine*. 1999; 11

Kondo M, Ichikawa I. Acute effects of orally administered sodium arsenite on heme biosynthetic enzymes in the tissues of mice of three strains. *Journal of Applied Organometallic Chemistry*. 1999; 13: 649-654.

Maeda N, Horie Y, Sasaki Y, Ueda E, Adachi K, Nanba E, Kawasaki H, Kudo Y, Kondo M. A splicing mutation in the hydroxymethyl bilane synthase gene in a Japanese family with acute intermittent porphyria. *Clinical Biochemistry*. 1999; 32: 411-417

Furuyama K, Kondo M, Fujita H, Hayashi N, Anderson KE, Sassa S. Absence of C282Y and H63D mutation of the hemochromatosis gene in Japanese patients with sideroblastic anaemia. *American Journal of Hematology*. 1999; 61: 276.

Harigae H, Furuyama K, Kimura A, Neriishi K, Tahara

N, Kondo M, Hayashi N, Yamamoto M, Sassa S, Sasaki T. A novel mutation of the erythroid-specific δ-aminolaevulinate synthase gene in a patient with X-linked sideroblastic anaemia. *British Journal of Haematology*. 1999; 106: 175-177.

Furuyama K, Kondo M, Hirata K, Fujita H, Sassa S. Extremely rare association of HFE mutation with porphyria cutanea tarda in Japanese patients. *Hepatology*. 1999; 30: 1532-1533

Proceedings with abstracts

Yamazaki T, Okada Y, Hisamatsu Y. Effects of endocrine disruptors on lymphocyte functions. Keystone Symposia, Lake Tahoe. Jan. 1999; 48

Sudo N, Uehata T. The relationships between lifestyles, subjective complaints, and working habits in Japanese workers. The XV International Scientific Meeting of the International Epidemiology Association, Florence, Italy. 1999.8-9; 2: 319.

衛生微生物学部 Department of Microbiology

原 著

柿島安博, 杉枝正明, 中島節子. 急性胃腸炎患者集団発生例から的小型球形ウイルス(SRSV)遺伝子の検出. 日本獣医師会雑誌. 1999; 52: 120-124

柿島安博, 杉枝正明, 中島節子. 学校給食施設調理従業者糞便からのSRSV遺伝子の検出. 日本食品微生物学雑誌. 1999; 16: 193-196

原みゆき, 古屋由美子, 片山丘, 今井光信, 長谷川斐子, 西尾治. A群ロタウイルスが検出された食中毒様胃腸炎の集団発生事例について. 病原微生物検出情報. 1999; 120: 170

中島節子. インフルエンザの流行と抗原変異. 公衆衛生研究. 1999; 48: 274-281

西尾治. アデノウイルス7型感染症. *The Word on Respiration, Infection and Chemotherapy*. 1999; 3: 5

今岡浩一. アレルギー疾患増加と大気汚染. 獣医畜産新報. 1999; 52: 751-755

荒木国興, 新村宗敏. 輸入寄生虫病及び人獣共通寄生虫病の検査法. 千臨技会誌. 1999; 75: 25-35

山崎浩, 荒木国興. 寄生虫症の血清診断法—今日の寄生虫症診断の意義とその要領. 臨床検査. 1999; 43: 1617-1624

総 説

中島節子. インフルエンザの歴史と今シーズンの流行. 感染と抗菌薬. 1999; 2: 349-353

著 書

中島節子. インフルエンザ. 黒川清, 松澤祐次編. 内科学. 分光堂, 東京: 1999; 1944-1945

西尾治. カリシウイルスのRT-PCR法とハイブリダイゼーション. 国立感染症研究所ウイルス第二部編. ウィルス性下痢症診断マニュアル(第1版). 衛生微生物技術協議会レファレンス委員会, 東京: 1999; 18-28

西尾治. 酵素抗体法によるヒトA群ロタウイルスのG血清型別. 国立感染症研究所ウイルス第二部編. ウィルス性下痢症診断マニュアル(第1版). 衛生微生物技術協議会レファレンス委員会, 東京: 1999; 5-7

抄録のある学会報告

中島節子, 西川文雄, 中島捷久. インフルエンザ感染後の抗体価の推移と再感染. 第47回日本ウイルス学会総会, 横浜. 1999. 11

西川文雄, 秋田美千代, 中島節子. インフルエンザ反復感染の追跡調査. 第47回日本ウイルス学会総会, 横浜. 1999. 11

中島捷久, 信沢枝里, 中島節子. キメラHA蛋白質を用いたヒト抗血清の解析. 第47回日本ウイルス学会総会, 横浜. 1999. 11

川本尋義, 沢田晴美, 斎藤博之, 三上稔之, 秋山和夫, 篠川旦, 関根大正, 野口有三, 杉枝正明, 柴田伸一郎, 山下照夫, 松本和夫, 春木孝祐, 山崎謙治, 大石功, 池田義文, 大瀬戸光明, 大津隆一, 大野惇, 宇田川悦子, 西尾治. ウィルス性食中毒遺伝子検出検査指針確立と行政対応に関する研究. 第40回日本臨床ウイルス学会, 大阪. 1999.5

鈴木博, 加藤由美子, 南部みほ, 西尾治. 二枚貝におけるウイルス汚染指標. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

西川真, 渡邊香奈子, 新井礼子, 篠川旦, 加藤由美子, 鈴木宏, 西尾治. 短期間に発生した6集団の急性ウイルス性胃腸炎事例におけるノーオーク様ウイルスの分子疫学的研究. 第47回日本ウイルス学会総会, 横浜. 1999. 11

加藤由美子, 南部みほ, 西尾治, 鈴木博, 大瀬戸光明, 内田和枝, 西川真, 大田耿三, 山上隆也, 飯塚節子, 高橋信, 福田美和, 船津丸貞幸, 田中俊光, 猿渡正子, 西村浩一. 全国各地で検出されたヒトカリシウイルスの遺伝子配列. 第47回日本ウイルス学会総会, 横浜. 1999. 11

西尾治, 加藤由美子, 鈴木博, 牛島廣治, 秋山美穂. 輸入食品のウイルス学的安全性について. 第47回日本ウイルス学会総会, 横浜. 1999. 11

西尾治, 鈴木博, 高野陽, 磯村思无. パキスタン・カラチ地区におけるHIV意識調査について. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

和多佐依子, 加瀬哲男, 前田彰子, 奥野良信, 藤本嗣人, 近平雅嗣, 西尾治. アデノウイルス3型, 7型を区別できるPCRによるアデノウイルス検査. 第40回日本臨床ウイルス学会, 大阪. 1999. 5

藤本嗣人, 近平雅嗣, 加瀬哲男, 岡野輝夫, 西尾治. マルチプレックスPCRによるアデノウイルス迅速同定法の検

討. 第40回日本臨床ウイルス学会, 大阪. 1999. 5

松井清彦, 西尾治, 加藤由美子, 久松栄, 鈴木博, 藤本嗣人, 栄賢司, 小澤茂, 河田一伸, 鈴木宏, 長谷川斐子. 1950年代と現在のアデノウイルス7型分離株の分子疫学的解析について. 第47回日本ウイルス学会総会, 横浜. 1999. 11

伊藤健一郎, 山崎貢, 斎藤眞, 八柳潤, 森屋一雄. EPECのeae遺伝子検出とHeteroduplex Mobility Assayによる型別. 第73回日本感染症学会総会, 東京. 1999. 3

森屋一雄, 角典子, 諸石早苗, 伊藤健一郎. 散発下痢症患者及び健常乳幼児由来大腸菌における局在性(LA)及び凝集性付着(AA)大腸菌関連遺伝子, eaeA, aggR, astAの保有状況について. 第73回日本感染症学会総会, 東京. 1999. 3

蛭田徳昭, 山口純子, 日守満里子, 増山亨, 伊藤健一郎, 岡山登. EPECの血清型に該当する大腸菌O128:H12によると思われる集団下痢症について. 第73回日本感染症学会総会, 東京. 1999. 3

今岡浩一. 粘膜免疫と経粘膜ワクチン - HIVに対する経鼻ワクチンの開発-. 第11回獣医呼吸器談話会学術集会, 相模原. 1999. 4 (教育講演)

今岡浩一. アレルギー疾患増加と大気汚染 (Brown Norwayラットを用いて). 第127回日本獣医学会, 相模原. 1999. 4 (ワークショップ「小動物におけるアレルギー」)

三枝順三, 金鐘朱, 久保田久代, 今岡浩一. IQIマウスの皮膚炎. 第128回日本獣医学会, 熊本. 1999. 10

学術報告書等

中島節子. B型インフルエンザウイルスの2系統への分岐の解析. (研究代表者: 田代真人) 平成10年度厚生科学特別研究新興・再興感染症研究事業インフルエンザ大流行に備えた危機管理対策の確立に関する研究報告書, 1999; 34-35

西尾治. 輸入食品のウイルス学的安全性に係る研究. (研究代表者: 川本尋義) 平成10年度厚生科学特別研究事業ウイルス性食中毒原因の遺伝子検査法確立と全国行政対応整備に関する研究報告書, 1999; 76-80

西尾治. 遺伝子操作法による原虫の検出法に関する研究. (研究代表者: 国包章一) 平成10年度厚生科学特別研究新興・再興感染症研究事業水道水クリプトスピリジウム研究班報告書, 1999; 27-36

荒木国興. 原虫検出法の検討. (研究代表者: 国包章一) 平成10年度厚生科学特別研究新興・再興感染症研究事業水道水クリプトスピリジウム研究班報告書, 1999; 21-25

西尾治. 下痢症ウイルスの検出法, 予防法. 平成10年度厚生科学特別研究新興・再興感染症研究事業 (研究代表者: 武田直和) 汚染指標および疫学に関する研究報告, 1999

西尾治. 発展途上国のHIV母子感染の実体と防止に関する研究報告 (研究代表者: 高野陽). 1999

Originals

Hashido M, Horie H, Abe S, Doi Y, Hashizume S, Agboatwalla M, Isomura S, Nishio O, Hagiwara A, Inouye S. **Evaluation of an enzyme-linked immunosorbent assay based on binding inhibition for type-specific quantification of poliovirus neutralization-relevant antibodies.** *Microbiol Immunol*. 1999; 43: 73-77

Zhaou Y, Nakayam M, Hasegawa A, Kim B, Nishimura S, Chiba S, Nakata S, Nishimura T, Yamanishi S, Funatsumaru S, Motohiro T, Kaneishi K, Ueda Y, Nakaya S, Nishio O, Ushijima H. **Serotypes of human rotaviruses in 7 regions of Japan from 1984 to 1997.** *Jpn. Ass. Infect. Dis.* 1999; 73: 35-42

McGhee JR, Kiyono H, Kubota M, Kawabata S, Miller CJ, Lehner T, Imaoka K, Fujihashi K. **Mucosal Th1-versus Th2-type responses for antibody- or cell-mediated immunity to simian immunodeficiency virus in rhesus macaques.** *J. Inf. Dis.* 1999; 179: S480-S484

Ohsaki Y, Matsumoto A, Miyamoto K, Araki K, Ito A, Kikuchi K. **Necroticercosis without detectable specific antibody.** *Intern. Med.* 1999; 38: 67-70

Yamsaki H, Araki K, Zasmy N, Mak JW, Kim CL, Taib R, Watanabe Y, Kita K, Aoki T. **Immunodiagnosis of human toxocariasis: development of the highly specific recombinant Toxocara canis second stage larvae excretory-secretory antigen.** *J. Clin. Microbiol.*

1999 (in press)

Proceedings with abstracts

Nakajima S, Nishikawa F, Nakajima K. **Comparison of the evolution of influenza A(H1N1) viruses between recent and old A(H1N1) viruses.** The 3rd China-Japan International Congress of Virology. Changchun. Jun. 1999

Luo S, Nobusawa E, Nakajima S, Nakajima K. **The analysis of molecular mechanism of the role of neuraminidase for receptor-binding activity of influenza B virus by GG167.** The 3rd China-Japan International Congress of Virology. Changchun. Jun. 1999

Sugieda M, Sahara K, Nagaoka H, Kakishima Y, Kawamoto H, Nakamura S, Nakajima S. **Detection of Norwalk-like virus genes in the caecum contents of pigs.** International Workshop on Human Caliciviruses. Atlanta. Mar. 1999

Ratchrachenchai O-A, Subpasu S, Ito K, Hayashi H. **Prevalence of Enteropathogenic *E. coli* causing children diarrhea in Thailand.** 第40回日本熱帯医学会大会, 東京. 1999.9

Yamasaki H, Araki K, Ngah Z, Lim PKC, Takamiya S, Mak JW, Radzan T, Watanabe Y, Kita K, Aoki T. **The specificity and availability of recombinant Toxocara canis antigen for the immunodiagnosis of human toxocariasis.** 第68回日本寄生虫学会大会, 栃木. 1999.4

母子保健学部**Department of Maternal and Child Health****原 著**

田中哲郎, 加藤則子, 土井徹, 市川光太郎, 中川聰, 宮坂勝之, 武田康久, 北島智子, 小田清一. **乳幼児突然死症候群の育児環境因子に関する研究—保健婦による聞き取り調査結果一.** 日本公衆衛生雑誌. 1999; 46(5): 364-372

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. **少子化時代における小児救急医療の現状.** 小児科. 1999; 40(5): 503-511

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. **全国急患センターにおける小児初期救急医療の実態調査.** 小児科診療. 1999; 62(7): 1061-1066

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. **全国救急救命士における病院前小児救急医療の実態調査.** 小児科診療. 1999; 62(7): 1055-1060

鈴木朗子, 田中光子, 渡辺哲司, 小林正子, 衛藤隆. **肥満・非肥満喘息児の発育についての縦断的研究.** 学校保健研究. 1999; 41(3): 212-222

田中哲郎, 石井博子, 向井田紀子, 杉山太幹. **不慮の事故の国際比較.** 厚生の指標. 1999; 46(10): 12-17

久野孝子, 衛藤隆, 小林正子, 下方浩史. **高校生の性に関する意志決定とアイデンティティとの関係.** 学校保健研究. 1999; 41(4): 309-319

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. **21世紀へ向けての小児救急医療・体制一現状と将来への政策提言一.** 小児科. 1999; 40(11): 1484-1492

小林正子, 平澤勝治. **ローレル指数による戦後50年間の子どもの発育評価と体形指數に関する一考察.** Auxology. 1999; 6: 37-41

青柳直子, 内山有子, 小林正子, 柴若光昭, 衛藤隆. **小学校におけるはだし教育と安全に関する意識・態度, および健康習慣との関連性.** 民族衛生. 1999; 65(4): 173-181

加藤則子, 高野陽, 加藤忠明, 奈良平典子. **保育所児童の縦断的発育調査その1—育児支援のあり方に関する研究一.** 日本子ども家庭総合研究所紀要. 1999; 35: 167-170

加藤則子. **乳児期における発育研究の課題.** Auxology. 1999; 6: 11-13

須藤紀子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 福島富士子, 石井敏弘, 上畠鉄之丞. **保健所栄養士の卒後教育と職能訓練の現状について.** 栄養学雑誌. 1999; 57(2): 97-106

柿山哲治, 武川素子, 高石昌弘, 八倉巻和子, 大森世都子. **中学校における食生活指導の実態—往復葉書による全国抽出調査結果より一.** 学校保健研究. 1999; 41(2): 168-177

総 説

田中哲郎, 加藤則子, 北島智子, 武田康久, 小田清一.
わが国の乳幼児突然死症候群(SIDS)の疫学. 厚生の指標.
1999; 46(3): 3-10

田中哲郎. わが国における乳幼児事故—その現状と防止策一. 生活教育. 1999; 43(3): 23-26

田中哲郎. 子どもの事故の現状と対策. 小児保健研究.
1999; 58(2): 191-196

田中哲郎, 内山有子. 知っておきたい心肺蘇生法—溺水一. こども未来. 1999; 6: 17

田中哲郎. わが国的小児事故の現状. 薬の知識. 1999;
50(10): 254-257

田中哲郎. 小児保健. 小児科臨床. 1999; 52(12): 2347-
2356

田中哲郎. チャイルドシートにおける事故防止プログラム
の開発. 子ども家庭福祉情報. 1999; 15: 1-4

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
1回 : 浴室・洗濯機・ビニールプール. チャイルドヘルス.
1999; 2(1): 27-29

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
2回 : 台所. チャイルドヘルス. 1999; 2(2): 111-113

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
3回 : 公園での事故. チャイルドヘルス. 1999; 2(3): 190-
191

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
4回 : 道路での事故. チャイルドヘルス. 1999; 2(4): 270-
272

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
5回 : 誤飲. チャイルドヘルス. 1999; 2(5): 356-357

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
6回 : -スーパーやデパートでの事故. チャイルドヘルス.
1999; 2(6): 436-437

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
7回 : 海や川, プールでの事故. チャイルドヘルス. 1999;
2(7): 523-524.

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
8回 : -旅行中の事故・病気. チャイルドヘルス. 1999; 2(8)
: 590-591

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
9回 : 応急手当についての知識の普及度. チャイルドヘルス.
1999; 2(9): 661-662

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
10回 : 寝室での事故—窒息・転落. チャイルドヘルス.
1999; 2(10): 753-755

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
11回 : 窓・ベランダ・階段からの転落. チャイルドヘルス.
1999; 2(11): 835-836

小林正子, 田中哲郎. 知っておきたいファーストエイド第
12回 : 食事に関連する事故. チャイルドヘルス. 1999;
2(12): 916-918

加藤則子. SIDS(乳幼児突然死症候群)のリスクファクタ

ー. 子どもと安全. 母子衛生研究会, 1999: 34-39

加藤則子. 現代の子どもをとりまく環境. 栃木母性衛生.
1999; 25: 62

西野幸恵, 加藤則子. ハイリスク児の親の心の変容とそ
の支援 早期介入の立場から. 生活教育. 1999; 43(10):
30-33

加藤則子. 育てるものが心を支えあう明日. 小児保健研
究, 1999; 58(5): 571-573

加藤則子. 多胎児の死産統計. 周産期医学. 1999;
29(11): 1395-1398

加藤則子. 少子化. 保健婦雑誌. 1999; 55(12): 1040-
1046

著 書

田中哲郎. わが国の乳幼児突然死症候群(SIDS). まほろ
ば, 1999

田中哲郎. わが国の乳幼児事故—調査結果と事故防止指
導ガイドブック. まほろば, 1999

田中哲郎. 子どもの急な病気・ケガ. 三天書房監修.
1999

田中哲郎 (共著). 養護教諭—毎日の執務とその工夫-今
改めて考える救急処置 第1章-28. 第一法規出版, 1999

田中哲郎 (共著). 養護教諭-知っておきたい保健と教育の
キーワード インフルエンザなど. 第一法規出版, 1999

田中哲郎, 小林正子. 子どもの事故と安全. 財団法人女性
労働協会編集. 育児サポート. 財団法人女性労働協会出
版, 1999; 112-134.

加藤則子. 身体計測法. 小児科研修医ノート. 診断と治
療社, 1999; 305-309

佐藤加代子. 学童期・思春期の栄養と食生活. 高野陽,
高橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐
藤加代子, 編. 子どもの栄養と食生活. 医歯薬出版, 1999;
135-156

佐藤加代子. 障害をもつ小児の栄養と食生活. 高野陽, 高
橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐藤
加代子, 編. 小児栄養—子どもの栄養と食生活. 医歯薬出
版, 1999; 173-192

抄録のある学会報告

田中哲郎. 子どもの事故と安全. 東京都小児保健協会第
51回学術講演会, 東京. 1999. 11

田中哲郎. 小児の事故と防止. 母子愛育会厚生科学研究
子ども家庭総合研究報告会, 東京. 1999. 12

田中哲郎. 生涯にわたり健康の保持増進をめざす疾病予
防と保健管理の進め方. 第49回全国学校保健研究大会, 岐
阜. 1999. 11

田中哲郎, 加藤則子, 市川光太郎, 中川聰, 宮坂勝之.
乳幼児突然死症候群の育児環境因子に関する研究—保健婦
による聞き取り調査結果ー. 第102回日本小児科学会, 東京.
1999. 4

石井博子, 田中哲郎, 小林正子, 市川光太郎, 山田至康,

- 小林臻. 救急外来における小児患者の割合. 第13回日本小児救急医学会, 沖縄. 1999. 6
- 市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. 急患センター・救急病院小児科における小児救急患者の重症度調査. 第13回日本小児救急医学会, 沖縄. 1999. 6
- 山田至康, 市川光太郎, 田中哲郎. 大学付属病院における小児救急医療の実態調査—第2報—. 第13回日本小児救急医学会, 沖縄. 1999. 6
- 桑野聰, 市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. 急患センター受診保護者へのアンケート調査. 第13回日本小児救急医学会, 沖縄. 1999. 6
- 内山有子, 田中哲郎, 小林正子, 衛藤隆, 小林臻. 乳児へ心肺蘇生を行う際の脈拍確認部位について. 第13回日本小児救急医学会, 沖縄. 1999. 6
- 山田至康, 市川光太郎, 田中哲郎. 小児医療の採算性についての検討. 第13回日本小児救急医学会, 沖縄. 1999. 6
- 山田至康, 市川光太郎, 田中哲郎. 全国の救命救急センターにおける小児救急医療の実態調査. 第2回日本臨床救急医学会, 久留米. 1999. 7
- 内山有子, 田中哲郎, 佐藤勉, 丹羽源男, 逢坂文夫. 保育園児を持つ母親の少子化に対する考え方と現状. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10
- 市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. 小児初期救急医療の現状調査とその問題点の検討. 第2回日本臨床救急医学会, 久留米. 1999. 7
- 内山有子, 田中哲郎. 保育園児を持つ親のしつけの現状と考え. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10
- 内山有子, 田中哲郎, 岡智康, 若尾勇, 保育所における小児の事故防止事業について. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10
- 山田至康, 市川光太郎, 田中哲郎. 小児医療の採算性についての検討. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10
- 市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. 急患センター・救急病院小児科における小児救急患者の重症度調査. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10
- 石井博子, 田中哲郎, 小林臻. 保育園用事故防止プログラムの開発. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10
- 石井博子, 田中哲郎. 子どもの事故防止プログラムの開発. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10
- 小林正子, 田中哲郎. パキスタン女性のHIV/AIDSに関する知識および意識調査と啓発方法の検討. 第64回日本民族衛生学会, 弘前. 1999. 9; 112-113.
- 小林正子, 田中哲郎, 伊藤英幸, 池見好昭. インターネットを利用した小児事故防止の啓発と情報収集. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 648-649.
- 小林正子, 内山有子, 田中哲郎. 少子時代の育児支援に関する研究—その1—女性の仕事と育児の両立を阻む3歳児神話についての検討. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 122-123.
- 石井博子, 小林正子, 田中哲郎. 事故実態調査に基づいた安全チェックリストの作成. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 273-274.
- 向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. 小中高等学校における事故発生状況の調査. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 658-659.
- 石井博子, 小林正子, 田中哲郎. 子どもの事故に関する保育園児保護者の考え方. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 656-657.
- 小林正子, 内山有子, 田中哲郎. 働く女性の育児における精神的問題点の検討. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10; 510.
- 小林正子, 東郷正美. 健康情報としての身体計測値の活用について—阪神淡路大震災の影響を受けた小学生のデータよりー. 第10回 Auxology 研究会, 東京. 1999. 11
- 東郷正美, 小林正子. 短間隔で長期に亘る個人の身体計測がもたらすもの. 第10回 Auxology 研究会, 東京. 1999. 11
- 向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. 学校における救命救急体制整備に関わる要因の研究. 第46回日本学校保健学会, 名古屋. 1999. 11; 216-217
- 向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. 学校事故への対応能力に関する養護教諭の自己評価. 第46回日本学校保健学会, 名古屋. 1999. 11; 218-219
- 東郷正美, 小林正子. 発育の波動は, 貴重な発育及び健康情報を搬送している. 第46回日本学校保健学会, 名古屋. 1999. 11; 538-539
- 小林正子, 東郷正美. '95兵庫県南部地震が児童の発育に及ぼした影響—追跡調査の解析からー. 第46回日本学校保健学会, 名古屋. 1999. 11; 554-555
- 小林臻, 石井博子, 内山有子, 小林正子 田中哲郎, 衛藤隆. 中学生の親子関係とストレス. 第46回日本学校保健学会, 名古屋. 1999. 11; 640-641
- 加藤則子, 田中哲郎. わが国における乳幼児突然死症候群の疫学. 第102回日本小児科学会, 東京. 1999. 4
- 長谷川智子, 加藤則子. 肥満傾向児の体重増加の季節パターンについて—5歳時点での肥満傾向児に関する研究ー. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10
- 加藤則子, 大森世都子, 小林正子, 田中哲郎, 高野陽, 高石昌弘, 窪田英夫. 乳児期の栄養法と身長増加及び離乳との関連に関する一考察. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10
- 加藤則子. 双胎第2子が死産の場合の第1子の早期新生児死亡に関する検討. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10
- 鬼塚薰, 加藤則子. 周産期・乳児期に児をなくした母親の支援についての検討. 第40回日本母性学会総会, 母性衛生. 横浜. 1999. 10; 40(3): 243
- 田中由香, 秋山みどり, 布川直子, 田中真智子, 西田祐子, 橋口直美, 長谷川智子, 佐藤加代子. 幼児の生活リズムと食生活・養育環境との関連. 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 612-613
- 佐藤加代子, 布川直子, 梶本雅俊, 田中真智子, 西田祐子.

子, 樋口直美, 杉原茂孝, 平田直子, 鈴木久乃, 君羅満, 石井莊子, 坂本元子. **全国レベルにおける1~6歳児の食物摂取状況とその問題(第一報).** 第46回日本小児保健学会, 札幌. 1999. 10; 616-617

鎌内ミチ子, 家永紀子, 藤森和子, 田村須美子, 伊藤蘆一, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 白鷹増男. **ワーキングママの健康づくりに関する調査から(第一報).** 第46回日本栄養改善学会, 福島. 1999. 10; 194

学術報告書等

田中哲郎. **小児の事故とその防止に関する研究.** 平成10年度厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」報告書, 1999; 254-256

田中哲郎, 小林正子. **小児事故の全国調査の詳細分析に関する研究結果の概要.** 平成10年度厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」報告書(主任研究者: 田中哲郎), 1999; 257-266

田中哲郎, 他. **健診用事故防止プログラムの作成.** 平成10年度厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」報告書, 1999; 267-280

田中哲郎, 他. **保健所における小児の事故防止事業に関する実態調査.** 平成10年度厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」報告書, 1999; 281-288

田中哲郎, 小林正子, 他. **インターネットを利用した子どもの事故症例の収集と応急手当の啓発.** 平成10年度厚生科学研究「小児の事故とその防止に関する研究」報告書(主任研究者: 田中哲郎), 1999; 289-291

小林正子, 他. **正常日本人体内放射能の継続測定.** 東京大学原子力研究総合センター年報(共用設備管理部門・総合研究部門), 1999; 26; 50-53

丹後俊郎, 加藤則子. **平滑化の技術的側面.** 厚生科学研究所(子ども家庭総合研究事業)「乳幼児の身体発育基準のあ

り方に関する研究」平成10年度報告書(第1/6), 1999; 79-82

加藤則子, 小林正子, 田中哲郎. **2000年に行われる発育調査にあたっての課題.** 厚生科学研究所(子ども家庭総合研究事業)「乳幼児の身体発育基準のあり方に関する研究」平成10年度報告書(第1/6), 1999; 76-77

加藤則子, 小林正子, 田中哲郎, 他. **乳幼児健診における身体計測の意義.** 厚生科学研究所(子ども家庭総合研究事業)「乳幼児の身体発育基準のあり方に関する研究」平成10年度報告書(第1/6), 1999; 83-94

加藤則子, 他. **発展途上国における乳幼児の発育評価指標の開発—タンザニア乳幼児における対標準値法を中心にして.** 厚生省国際医療協力委託研究事業「環境と健康問題を中心とした国際医療協力のあり方に関する研究」(主任研究者: 林謙治) 平成10年度報告書, 1999; 75-81

加藤則子. **母子保健事業の推進.** 厚生科学研究所地域保健総合推進事業(総合的地域保健検討事業)「公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究」(主任研究者: 古市圭治) 平成10年度報告書, 1999; 453-460

佐藤加代子, 梶本雅俊, 他. **適正な給与栄養量の検討—年齢・性別食物摂取状況をふまえて.** 平成10年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)「幼児のライフスタイルに対応し, 食物摂取及び発育・発達をふまえた食教育の枠組みに関する研究」班(主任研究者: 足立己幸) 平成10年度研究報告書, 1999; 299-304

佐藤加代子, 梶本雅俊, 他. **食生活を中心とした乳幼児期からの健康づくりについて.** 津久井保健福祉事務所地域食生活対策推進協議会, 津久井保健福祉事務所, 1999

梶本雅俊, 佐藤加代子, 村上賢二, 他. **ワーキングママの健康づくりに関する調査.** 厚木保健福祉事務所地域食生活対策推進協議会, 厚木保健福祉事務所, 1999

Originals

Kobayashi M, Kobayashi M, Tanaka T, Uchiyama Y, Togo M. **Diurnal Height Variation in Growth of Children: Effects of Gravity.** *Journal of Gravitational Physiology.* 1999; 6(1): 23-24.

Kato N, Takaishi M. **A longitudinal study of the physical growth of Japanese infants.** *Annals of Human Biology.* 1999; 26(4): 353-363.

Proceedings with abstracts

Tanaka T, Ishii H, Simizu M, Umeda M. **The current situations of childhood accidents in Japan.** Third National Conference on Injury Prevention and Control. Brisbane, Australia. May. 1999

Ishii H, Tanaka T, Kobayashi M, Eto T. **International comparison of mortality from accidental death.** Third National Conference on Injury Prevention and Control. Brisbane, Australia. May. 1999

Uchiyama Y, Tanaka T, Ikemi Y, Osaka F, Kuno T. **Regional differences in the mortality from accidental death: the cases of ordinance-designated districts and non-ordinance.** Third National Conference on Injury-Prevention and Control. Brisbane, Australia. May. 1999

Tanaka T, Ishii H, Simizu M, Umeda M. **The current situations of childhood accidents in Japan.** Third National Conference on Injury Prevention and Control. Brisbane, Australia. May. 1999

Tanaka T, Kato N, Ichikawa K, Nakagawa S, Miyasaka K, Oda S, Kitajima S, Takeda Y. **A case-control study of sudden infant death syndrome (SIDS) and child-rearing environmental factors.** The 15 International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association. Florence-Italy. Aug. 1999

Kato N, Tanaka T, Oda S, Kitajima S, Takeda Y. **Epidemiological study of sudden infant death syndrome (SIDS) in Japan.** The 15 International

Scientific Meeting of the International Epidemiological Association. Florence-Italy. Aug. 1999

Ishi H, Tanaka T, Ikemi Y, Osaka H, Kobayashi I, Umeda M. **A comparative study of mortality from accidental death between Japan and other developed countries.** The 15 International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association. Florence-Italy. Aug. 1999

Uchiyama Y, Tanaka T, Kobayashi M, Mukaida N, Oka T, Imai K. **Rechional differences in the mortality caused by accidental death in Japan.** The 15 International Scientific Meeting of the International

Epidemiological Association, Florence-Italy. Aug. 1999.

Tanaka T, Shimizu M, Hyodo C, et al. **Effects of Pre-test counselling on the knouwledge of mother to child transmission among pregnant women.** Fifth congress on AIDS in Asia and the Pacific. Kuala Lumpur. Oct. 1999

Hyodo C, Tanaka T, Shimizu M, et al. **Knowledge and attitudes towards mother to child transmission among pregnantwomen in a maternal and child hospital.** Fifth congress on AIDS in Asia and the Pacific. Kuala Lumpur. Oct. 1999

労働衛生学部 Department of Industrial Health

原 著

熊江隆. 大学生と社会人の長距離走選手における健康状況と食品摂取状況の比較. 体力・栄養・免疫学雑誌. 1999 ; 9(1) : 13-20

熊江隆, 高橋正也, 有藤平八郎, 倉掛重精, 荒川はつ子, 内山巌雄. 実業団長距離走選手における副交感神経性オーバートレーニングの心拍スペクトル解析及び心理調査による検討. 体力・栄養・免疫学雑誌. 1999 ; 9(2) : 116-121

鈴樹享純, 劇強, 山田睦雄, 工藤悟, 桂修二, 中路重之, 菅原和夫, 熊江隆. 癌検診受診者と非受診者の喫煙習慣の相違が有効性評価のための症例対照研究に及ぼす影響. 体力・栄養・免疫学雑誌. 1999 ; 9(2) : 122-125

総 説

内山巌雄. 地球環境問題の健康への影響—地球温暖化とオゾン層の破壊を中心に. 保健婦雑誌. 1999 ; 55(8) : 682

内山巌雄. 環境中の内分泌攪乱化学物質問題と最近の動向. 安全工学. 1999 ; 32(2) : 70-77

内山巌雄. シンポジウム 内分泌攪乱物質（環境ホルモン）の影響はどこまでわかっているか. 内分泌攪乱物質とは. 公衆衛生. 1999 ; 63(7) : 522-536

内山巌雄. ダイオキシンの新しい耐容一日摂取量. 埼玉自治. 1999 ; 11 : 23-26

内山巌雄, 村山留美子. 化学物質過敏症—公衆衛生の立場から一. アレルギー・免疫. 1999 ; 6(7) : 1012-1017

内山巌雄, 渡辺征夫. 有害大気汚染物質（ベンゼンなど）の連続測定とその意義. 哮息. 1999 ; 12(3) : 49-52

佐々木昭彦, 兵井伸行, 内山巌雄, 原沢英夫, 兜真徳. IPCC-T A R の健康影響チャプターに関する国内・国際協力—適応の多様性評価に関する分野間ネットワーク. 気候影響・利用研究会会報. 1999 ; 16 : 12-17

著 書

熊江隆. 免疫機能の変動. 中野昭一編. スポーツ医科学. 杏林書院, 東京 : 1999 ; 309-327.

内山巌雄. 大気中微小粒子の呼吸器への影響. Annual Review 呼吸器1999. 中外医学社, 東京 ; 1999 : 133-139

抄録のある学会報告

内山巌雄. 内分泌攪乱化学物質の概要. 第72回日本産業衛生学会. 1999 ; 98-99

高橋美加, 佐々木昭彦, 内山巌雄, 永井由美子, 中山栄純. 高齢者の暑熱適応における体温調節とR-R間隔変動のモデル化の試み. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 ; 600

永井由美子, 高橋美加, 中山栄純, 佐々木昭彦, 内山巌雄. 高齢者の暑熱環境における体温調節とR-R間隔変動. 第69回日本衛生学会, 千葉. 1999. 3 ; 198

佐々木昭彦, 兵井伸行, 内山巌雄, 原沢英夫, 兜真徳. IPCC-T A R の健康影響チャプターに関する国内・国際協力—適応の多様性評価に関する分野間ネットワーク. 第27回気候影響・利用研究会, 東京. 1999. 3

佐々木昭彦, 高橋美加, 内山巌雄, 西田泰. 乳幼児の車内熱中症事故の要因とリスク認知とのずれ. 日本リスク研究会. 東京. 1999. 11 ; 1-4

落合香織, 杉本元信, 市川勇, 中山健, 近藤雅雄. マウスの肝および造血器に及ぼすフェニトインおよびカルバマゼピンの影響. 第35回日本肝臓学会, 東京. 1999. 6 ; 343

小川千寿子, 井上伸子, 掛川武生, 田中直志, 久松栄, 小石真子, 増岡雅子, 松島美奈子, 植田悠紀子, 山田和子, 渡邊征夫, 河村清史, 井上雄三, 山田正人, 市川勇, 青山旬. 住民の生活環境保全に関する意識を育てるための学習プログラムの開発（第1報）. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 769

増岡雅子, 井上伸子, 掛川武生, 田中直志, 久松栄, 小川千寿子, 小石真子, 松島美奈子, 植田悠紀子, 山田和子, 渡邊征夫, 河村清史, 井上雄三, 山田正人, 市川勇, 青山旬. 住民の生活環境保全に関する意識を育てるための学習プログラムの開発（第2報）. 第58回日本公衆衛生学会, 日本公衆衛生雑誌. 大分. 1999. 10 ; 769

市川勇, 井上雄三, 山田正人, 田中勝, 大村実, 田中昭代, 村上和雄, 磯部藍, 河村菜穂. 都市ゴミ焼却灰の生体影響をラットの生殖機能に関して評価する方法の実験的研究. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10; II 52 : 1150-11

山田正人, 井上雄三, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. 廃棄物処理分野におけるバイオアッセイ手法の適用について. 第7回衛生工学シンポジウム, 札幌. 1999. 11; 24-29

井上雄三, 山田正人, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. 廃棄物ライフサイクルにおける有害物質のサブスタンスフローアナリシス(第2報). 第7回衛生工学シンポジウム, 札幌. 1999. 11; 37-42

市川勇, 古田恵子, 荒井桂子, 池田耕一. 室内環境真菌の生育に対する植物由来芳香性精油の影響評価法の検討. 平成11年度室内環境学会研究発表会, 東京. 1999. 12; 154-157

熊江隆, 荒川はつ子. 各種ストレスがラットの肺胞マクロファージと生体内活性酸素バランスに及ぼす影響. 第1報 Wistar系ラットの肺胞マクロファージ活性に及ぼす影響. 第25回日本医学会総会記念 日本体力医学会シンポジウム, 1999; 84 R.

熊江隆, 荒川はつ子. 各種ストレスがラットの肺胞マクロファージと生体内活性酸素バランスに及ぼす影響. 第2報 17週齢からの運動ストレスがWistar系ラットに及ぼす影響. 第69回日本衛生学会, 千葉. 1999; 394.

山崎享子, 鈴川一宏, 熊江隆, 伊藤孝. 疲労の回復過程における駅伝選手の好中球ROS産生能の変化. 第69回日本衛生学会, 千葉. 1999; 395

熊江隆. Risk Benefitから見た予防的外科治療の選択. (1) Risk Benefitの概念. 第19回日本脳神経外科コングレス. 1999; 84 R. (シンポジウム)

熊江隆. パラレル発光測定装置の改造による96穴マイクロプレートを用いた蛍光測定. 生物発光化学発光研究会. 第18回学術講演会, 1999; 39-40

熊江隆. 大学駅伝選手における栄養素摂取量の夏冬の比較. 体力・栄養・免疫学雑誌, 1999; 9(3): 999

長内悟, 熊江隆. 改造パラレル発光測定装置を用いた蛍光によるカルシウムイオンの測定. 体力・栄養・免疫学雑誌, 1999; 9(3): 999

Originals

Kondo M, Ichikawa I. Acute effects of orally administered sodium arsenite on heme biosynthetic enzymes in the tissues of three strains of mice. *Appl. Organometal. Chem.* 1999; 13: 649-654.

Kumae T, Yamasaki K, Ishizaki K, Ito T. Effects of endurance training during summer camp on non-specific immunity in long-distance runners. *Int. J. Sports. Med.* 1999; 20: 390-395

Kumae T. A study of the fluorescence measurement

荒川はつ子, 熊江隆. アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響. 第5報 アレルゲン投与による鼻汁分泌に及ぼす感作雌性ラットの性周期の影響. 体力・栄養・免疫学雑誌, 1999; 9(3): 999

熊江隆. Wistar系ラットの肺における抗酸化機構に及ぼす11週齢からのストレス負荷の影響. 第54回日本体力医学会大会, 熊本. 1999; 863L

倉掛重精, 中路重之, 梅田孝, 菅原和夫, 熊江隆, 岡村典慶, 三浦照幸. マラソンレースにおける選手の血液生化学値の変動 第3報 一血液濃縮と皮膚温の検討一. 第54回日本体力医学会大会, 熊本. 1999; 889R

荒川はつ子, 熊江隆, 内山巖雄. アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響. 第6報ラットの鼻腔抵抗測定方法の改良. 第40回大気環境学会年会, 1999; 297

熊江隆, 伊藤孝. ヘム鉄剤による貧血予防に関する研究. 第1報 大学駅伝選手における検討. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10; 228R

荒川はつ子, 熊江隆, 渡辺卓. アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響. 第7報杉花粉抗原感作ラットの気管支肺胞洗浄液中細胞に及ぼす強制運動の影響. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10; 771L

村山留美子, 内山巖雄. 化学物質過敏症(シックハウス症候群を含む)に関する相談の実態について. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

村山留美子, 内山巖雄, 佐塙宏美, 広瀬弘忠, 中畠菜穂子, 石塙智一, 土田昭司. 環境リスクレベルの認知についての調査(2). 日本リスク研究学会第12回研究発表会, 東京. 1999. 11

中畠菜穂子, 石塙智一, 村山留美子, 内山巖雄, 佐塙宏美, 広瀬弘忠, 土田昭司. 環境リスクレベルの認知についての調査(3). 日本リスク研究学会第12回研究発表会, 東京. 1999. 11

学術報告書等

内山巖雄, 佐々木昭彦, 兵井伸行, 他. 社会集団の健康事象に及ぼす気候変動の影響—アジア太平洋地域のライフスタイル研究—. 安藤満編. 平成8-10年度環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書「地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究」, 1999; 103-149

using a 96-well microplate by a remodeled parallel luminescent measuring system. Luminescence. Special Issue 1999; In press.

Sugawara K, Suzuki K, Liu Q, Umeda T, Shimoyama T, Nagaji S, Kudoh S, Yamada M, Kowatari K, Suzuki K, Kumae T. Production of reactive oxygen species from human neutrophils in many kinds of environment. *Hirosaki Med.J.* 1999; 51: s31-s42

Books

Kumae T. **A study for reactive oxygen species production from neutrophils in the mouth: in "Bioluminescence and Chemiluminescence."** (Ed. A Roda, M Pazzaglia, L J Kricka, P E Stanley). John Wiley & Sons. West Sussex : 1999 ; 273-276

Proceedings with abstracts

Takahashi M, Sasaki A., Uchiyama I, Nishida Y. **Heat-**

衛生薬学部**Department of Pharmaceutical Sciences****著 書**

森川馨, 中尾明夫, 秋元雅裕, 小山靖人, 斎藤泉, 至田康志, 白石達郎, 福原克也, 三川正明, 吉野節, 他. 日本PDA技術教育委員会. 治験薬GMP研究報告(II). 日本PDA(品質保証学会), 1999

抄録のある学会報告

足立直樹, 黒瀬光一, 福原守雄. エストラジオールがアフリカツメガエル初期発生に及ぼす影響の蛍光ディファレンシャル・ディスプレイ法による解析. 第22回日本分子生物学会年会, 福岡. 1999. 12

宮澤宏, 王瑞生, 和田賢人, 花岡文雄. マウスDNAポリメラーゼεの構造と機能の解析. 第22回日本分子生物学会年会, 福岡. 1999. 12

西川直子, 泉雅子, 横井雅幸, 宮澤宏, 花岡文雄. マウスDNAポリメラーゼα・プライマーゼ複合体46-kDaサブユニット遺伝子プロモーターの解析. 第22回日本分子生物学会年会, 福岡. 1999. 12

森川馨. 医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証. 製剤機会技術研究会第9回年会, 大阪. 1999. 10

大野勉, 後藤知美, 三上栄一, 松本浩, 森川馨. バリデーションモデル実例による内服固形製剤の混合工程における

Originals

Fukuhara M, Sun B, Kato K, Kimura M, Yamazaki S. **Cytochrome P450 isoforms catalyzing benzo[a]pyrene metabolism in the Chinese hamster liver.** *Toxicol. Lett.* 1999 ; **110** : 85-93

Yoshida T, Andoh K, Fukuhara M. **Estimation of absorption of trihalomethanes and carbon tetrachloride in low-level exposure by inhalation pharmacokinetic analysis in rats.** *Arch. Environ. Contam. Toxicol.* 1999 ; **36** : 347-354

Kurose K, Isozaki M, Tohkin M, F, Fukuhara M. **Cloning and expression analysis of a new member of the cytochrome P450, CYP2A15 from the Chinese hamster, encoding testosterone 7alpha-hydroxylase.**

related death of small children left in parked cars during 1985-98 in Japan. 10th Global Warming International Conference. Yamanashi. 1999 ; 128

Takahashi M, Sasaki A, Uchiyama I, Nishida Y. **Background of a child's heat-related death in a car.** Asian Regional Association for Home Economics. Yokohama. 1999 ; 314-315

含量の均一性に関する技術研究. 第36回全国衛生化学技術協議会年会, 福岡. 1999. 11

馬淵博, 堀池あづさ, 小和田和宏, 佐野智子, 永野隆夫, 森川馨. 溶出試験のバリデーションについて. 第36回全国衛生化学技術協議会年会, 福岡. 1999. 11

堀池あづさ, 小和田和宏, 馬淵博, 佐野智子, 上村慎子, 高橋真, 坂根弓子, 永野隆夫, 森川馨. 日常試験における試験方法のバリデーションについて. 第36回全国衛生化学技術協議会年会, 福岡. 1999. 11

森川馨, 渡辺恵市郎, 室井哲夫, 平岡健二, 他. 医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証に関する研究—無菌製剤におけるプロセスバリデーションー. (主任研究者: 森川馨) 平成10年度創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業 研究成果普及事業 研究成果報告シンポジウム, 東京. 1999 : 11

学術報告書等

森川馨. 医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証に関する研究. (主任研究者: 森川馨) 平成10年度創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業重点研究報告, 第6分野医用材料及び製剤設計技術の開発に関する研究, 1999 ; 11-21

Arch. Biochem. Biophys. 1999 ; **371** : 270-276

Kurose K, Tohkin M, F, Fukuhara, M. **A novel positive regulatory element that enhances hamster CYP2A8 gene expression mediated by xenobiotic responsive element.** *Molecular Pharmacology.* 1999 ; **55** : 279-287

Tohkin M, Kurose K, Isozaki M, F, Fukuhara M. **Molecular cloning, heterologous expression, and characterization of a novel member of CYP2A in the Syrian hamster.** *Biochim. Biophys. Acta.* 1999 ; **1446** : 438-442

Mizuno T, Yamagishi K, Miyazawa H, Hanaoka F. **Molecular architecture of the mouse DNA polymerase alpha-primase complex.** *Mol. Cell. Biol.* 1999 ; **19** : 7886-7896

Proceedings with abstracts

Isram MO, Kurose K, Fukuhara M. **Mechanism of induction of hamster cytochrome P450 3A by phenobarbital.** The 72nd Annual Meeting of The Japanese Pharmacological Society. Sapporo. Mar. 1999

Isram MO, Kurose K, Fukuhara M. **Induction of Syrian hamster CYP3A by phenobarbital is related to the down-regulation of IP3 receptor.** 11th International Conference on Cytochrome P450. Sendai. Aug. 1999 ; 450

Miyazawa H, Wada M, Wang R-S, Hanaoka F. **Characterization of mouse DNA polymerase epsilon.** Eukaryotic DNA Replication, Cold Spring Harbor Laboratory Meeting. Cold Spring Harbor, NY. Sep. 1999

Mizuno T, Yamagishi K, Yanagi K, Yanagihara M, Miyazawa H, Hanaoka F. **Molecular architecture of mouse DNA polymerase alpha-primase complex.** Eukaryotic DNA Replication, Cold Spring Harbor Laboratory Meeting. Cold Spring Harbor, NY. Sep. 1999

衛生獣医学部 Department of Veterinary Public Health

原 著

藤井敏昭, 青木正人, 山崎省二, 鈴木英友. **UV/光電子法による生物粒子の除去・空中浮遊菌の除去・殺菌.** エバラ時報. 1999 ; 184 : 28-35

藤原真一郎. **HACCPシステムの構築とその基礎となる衛生管理.** 空気清浄. 1999 ; 36(6) : 2-9

日佐和夫, 武政二郎, 持田信治, 豊福肇, 藤原真一郎. **食品の腐敗変敗事故事例とその再発防止における問題点.** 日本食品微生物学会雑誌. 1999 ; 16(3) : 205-210

総 説

山崎省二. **空気の細菌汚染と細菌汚染測定方法の進展.** 空気清浄. 1999 ; 37(4) : 325-329

山崎省二. **空気の細菌汚染.** 保健婦雑誌. 1999 ; 55(13) : 1186-1192

長岡宏美, 山本茂貴. **犬と猫のコクシエラ症.** 獣医畜産新報JVM. 1999 ; 52(11) : 935-938

抄録のある学会報告

難波恭子, 八重島智子, 石橋憲雄, 早澤宏紀, 山崎省二. **腸管出血性大腸菌O157に対するビフィズス菌の効果. 無菌マウスにおける感染防御とin vitroにおける毒素産生に対する影響.** 第3回腸内細菌学会, 東京. 1999. 6 ; 37

松岡隆介, 山崎省二, 藤井敏昭, 田中康夫, 鈴木英友, 河合英明. **UV/光電子法を用いた食品ショウケース中の生物粒子除去・浮遊菌除去及び食品への付着防止の検討.** 第17回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 1999. 4 ; 98-101

大廻和彦, 竹内黎明, 大塚佑子, 松岡隆介, 山崎省二. **空調ダクト内粉塵中の微生物量 (その2).** 第17回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 1999 . 4 ; 105-107

尾之上さくら, 山崎省二, 五箇野幹子, 相原孝, 磯前和郎. **エアーフィルタ用酸素固定化ろ紙の殺菌効果.** 第17回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 1999.4 ; 108-110

仲田幸博, 杉田直記, 三上壮介, 尾之上さくら, 山崎省二. **携帯型空中浮遊菌サンプラーの開発.** 第17回空気清浄

とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 1999 . 4 ; 113-116

山崎省二, 木村昌伸, 尾之上さくら, 竹内辰郎, 小玉雅昭, 亀野昌明, 迎田孝弘. **除じん, 除菌, 脱臭抗菌機能を有する空気清浄システムの確立(Ⅲ).** 第17回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 1999 . 4 ; 361-364

山本茂貴, 塚下和彦, 山崎省二. **生物発光法を利用した清浄度測定キットの比較.** 第20回日本食品微生物学会, 盛岡. 1999 . 10 ; 121

長岡宏美, 杉枝正明, 宮本秀樹, 中村信也, 山本茂貴. **不定愁訴症候群患者からのQ熱病原体遺伝子の検出.** 平成10年度日本獣医師会年次大会, 札幌. 1999 . 2 ; 444

長岡宏美, 山本茂貴. **イヌとネコのコクシエラ症 (Q熱).** 第127回日本獣医学会, 相模原. 1999 . 4 ; 102

長岡宏美, 佐原啓二, 三輪好伸, 杉枝正明, 秋山眞人, 山本茂貴. **ウシにおけるCoxiella burnetii感染様式に関する研究.** 第128回日本獣医学会, 熊本. 1999 . 10 ; 77

井上伸子, 饗場直美, 山本茂貴. **放射線照射によるLMP2欠損マウス胸腺細胞の細胞死の機構の解析.** 第72回日本生化学会大会, 横浜. 1999 . 10

長岡宏美, 佐原啓二, 三輪好伸, 杉枝正明, 秋山眞人, 宮本秀樹, 中村信也, 山本茂貴. **牛乳等におけるQ熱のリスクアセスメントに関する検討.** 平成11年度全国食品衛生監視員研修会, 東京. 1999 . 11

長岡宏美, 杉枝正明, 佐原啓二, 三輪好伸, 秋山眞人, 原元彦, 山本茂貴. **Coxiella burnetii感染者の呈する症状についての一考察.** 第6回リケッチャ研究会, 東京. 1999 . 11

春日文子, 町井研士, James M. Hungerford. **培養細胞を用いた麻痺性貝毒検出法の検討.** 第127回日本獣医学会, 1999 ; 160

宇都宮公子, 町井研士, 後藤純雄, 遠藤治, 松木幸代, 深井文雄, 高木敬彦, 光崎研一. **加藤基恵大気浮遊粉じんの細胞間連絡阻害測定法の検討.** 日本環境変異原学会, 1999 ; 137

藤原真一郎. **給食施設へのHACCP導入.** 第20回日本食品微生物学会学術総会, 盛岡. 1999 . 10 ; 21-22 (シンポジ

ウム)

岡田由美子, 牧野壯一, 岡田信彦, 山崎省二. **Listeria monocytogenes のストレス応答関連遺伝子のクローニング及び解析.** 第128回日本獣医学会学術集会, 熊本, 1999 . 10 ; 227

山崎聖美, 岡田由美子, 久松由東. **内分泌攪乱化学物質のリンパ球の反応性に及ぼす影響について.** 第72回日本生化学大会, 横浜, 1999 ; 897.

山崎聖美, 岡田由美子, 久松由東, 香山不二雄. **内分泌攪乱化学物質のリンパ球の反応性に及ぼす影響について.** 第2回日本内分泌攪乱化学物質学会, 神戸, 1999 ; 157

Originals

Oike H, Matsuoka R, Tashiro Y, Hirayama M, Tamura Z, Yamazaki S. **Effect of *Bifidobacterium*-mono-association and feeding of fructooligosaccharides on lethal activity of enterohemorrhagic *Escherichia coli* O157 in germ-free mice.** *Bioscience and Microflora*. 1999 ; **18**(2) : 101-107

Kariyone A, Higuchi K, Yamamoto S, Nagasaka-Kametaka A, Harada M, Takahashi A, Harada N, Ogasawara K, Takatsu K. **Identification of amino acid residues of the T-cell epitope of *Mycobacterium tuberculosis* α antigen critical for V β 11+ Th1 cells.** *Infection and Immunity* 1999 ; **67**(9) : 4312-4319.

Kasuga F, Igimi S, Nakayama M, Iwanaga T, Hungerford J M, Machii K, Kumagai S, Li J, Yanaihara N. **Characterization of rat sodium channels in**

学術報告書等

山本茂貴. **食中毒等の経済損失に関する経済疫学的研究(分担研究)** 平成10年度厚生科学研究食品安全総合研究事業報告書, 1999

山本茂貴, 饗場直美. **放射線照射によるリンパ球の細胞死のメカニズムの解析及びその回避因子に関する研究.** 平成10年度国立機関原子力試験研究費報告書, 1999

藤原真一郎. **清涼飲料水のHACCPに関する研究.** *月刊HACCP*. 1999 ; **5**(10) : 24-40

neuroendocrine cells using resin-specific antibodies.

Biomed. Res. 1999 . In press

Fukuhara M, Sun B, Kato K, Kimura M, Yamazaki S. **Cytochrome P450 isoforms catalyzing benzo[a]pyrene metabolism in the Chinese hamster liver.** *Toxicology Letters*. 1999 ; **110** : 85-93

Proceedings with abstracts

Yamazaki T, Okada Y, Hisamatsu Y. **Effect of endocrine disrupters on lymphocyte functions.** Keystone Symposia on Molecular and Cellular Biology. Granlibakken Resort, California. 1999 ; 48

Fujiwara S, Sato G. **Trial application of HACCP principles for catering facilities in Japan.** Third International Food Safety & HACCP Conference. Noordwijk aan Zee, the Netherlands. Oct. 1999 ; 53

放射線衛生学部 Department of Radiological Health

原 著

磯村公郎, 杉山英男. **兵庫県内花崗岩域を主とする河川水および飲料水中ウラン濃度.** *Radioisotopes*. 1999 ; **48** : 626-634

茂木美砂子, 三宅定明, 大沢尚, 中澤清明, 出雲義朗. **沸騰水加熱処理におけるミツバからの¹³⁷Csの溶出について.** *Radioisotopes*. 1999 ; **48**(7) : 459-464

三宅定明, 出雲義朗, 茂木美砂子, 大沢尚, 中澤清明. **陸水系における⁹⁰Srの放射生態に関する研究—県内有数河川一下流域の河川水, 川底土壤および生息生物における⁹⁰Srの放射能—.** *Radioisotopes*. 1999 ; **48**(12) : 720-724

総 説

出雲義朗. **1)環境放射能(線)調査, 9. 環境と放射能, II. 環境問題と疾病, 臨床検査の新しい展開—環境保全への挑戦.** *臨床検査*. 1999 ; **43**(11) : 1418-1424

出雲義朗. **環境の放射能(線), いま知っておきたい環境問題⑩. 保健婦雑.** 1999 ; **55**(11) : 954 - 961

緒方裕光. **動物実験のヒトへの外挿(特集: ラドンの人**

体への影響評価).

保健物理. 1999 ; **34**(2) : 142-145

著 書

緒方裕光, 柳井晴夫. **統計学—基礎と応用—.** 現代数学社, 京都. 1999

緒方裕光. **リスク比とオッズ比.** 縣俊彦編. **基本医学統計学—EBM・医学研究への応用—.** 中外医学社, 東京. 1999 ; 57-61

抄録のある学会報告

杉山英男, 寺田宙, 実方剛, 森田洋二, 和田正夫, 加藤文男. **キノコ(ヒラタケ)によるCsの高濃縮特性に関する研究.** 日本薬学会第119年会, 德島. 1999 . 3 ; 3: 148

寺田宙, 加藤文男, 松下和弘, 仁科正実, 杉山英男. **キノコによるCs取込みの速度論的アプローチ.** 日本放射線影響学会第42回大会. 広島. 1999 . 9 ; 87

寺田宙, 加藤文男, 松下和弘, 仁科正実, 杉山英男. **食品によるアルカリ元素の高凝縮特性.** 第36回全国衛生化学技術協議会, 福岡. 1999 . 11 ; 50-51

桑原千雅子, 綿貫知彦, 松下和弘, 仁科正実, 杉山英男. キノコ菌糸におけるセシウムの存在状態研究. 日本薬学会第119年会, 徳島. 1999. 3 ; 3 : 132

三宅定明, 出雲義朗, 茂木美砂子, 大沢尚, 中澤清明, 中村文雄. 県内河川一下流域における¹³⁷Cs および⁹⁰Sr の放射生態について. 平成10年度放射能分析確認調査技術検討会資料. 資料4研究発表, 日本分析センター, 1999 ; 1 - 6

橋本和子, 児玉弘人, 平井保夫, 出雲義朗. 茨城県内産野菜及び畑土壤中の人工放射性核種濃度について. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 752

三宅定明, 出雲義朗, 茂木美砂子, 中澤清明. 県内1湖沼の各種試験中における⁹⁰Sr の放射能. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 753

緒方裕光, 山口一郎, 出雲義朗. X線を照射したマウスの脾細胞および骨髄細胞におけるコバルト元素のとりこみーin vitro 照射とin vivo 照射の比較ー. 日本放射線影響学会第42回大会, 広島. 1999. 9

緒方裕光. 動物実験のヒトへの外挿について. 日本保健物理学会シンポジウム(屋内ラドンは本当に肺ガンを起こすか), 東京. 1999. 3 (シンポジウム)

緒方裕光. フランス科学アカデミー報告について. 日本保健物理学会企画行事(放射線防護における低線量リスクに関する最近の話題), 東京. 1999. 11 (シンポジウム)

緒方裕光. 動物実験の現状. 第27回放射線医学総合研究所環境セミナー(ラドン, その人間への影響まで), 千葉. 1999. 12 (シンポジウム)

Proceedings with abstracts

Sugiyama H, Terada H, Sanekata T, Morita Y, Wada M, Kato F. **Characteristic of cesium accumulation by edible mushroom (*Pleurotus ostreatus*)**. Seventh International Conference on the Chemistry and Migration Behavior of Actinides and Fission Products in the Geosphere. Nevada. Sep.-Oct. 1999 ; 219

Izumo Y, Yamaguchi I, Ogata H, Hashimoto K, Hirai, Y. **Radioprotective security system for nuclear massive facilities in Japan**. Health Security, Development of

山口一郎, 緒方裕光, 張永紅, 出雲義朗, 三宅定明. 食物にとりこまれた放射性核種の化学的存在状態について. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

福永一郎, 山口一郎, 伊勢和宏, 高田昇, 白坂真男, 實成文彦. エイズ教育に関する意識調査—オンラインネットワークを利用したアンケートー. 第12回日本エイズ学会, 東京. 1998. 12

義永直巳, 山口一郎, 鷹箸右子, 尾崎米厚. HIV感染者の経済的負担に関する調査. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10

学術報告書等

杉山英男, 寺田宙. 食品(キノコ)中のセシウムの存在様態と高濃縮機構に関する研究. (研究代表者: 杉山英男) 平成9年度-平成10年度文部省科学研究研究成果報告書, 1999 ; 1-50

杉山英男, 寺田宙. 環境から食品へ高濃縮される放射性物質の分布と特性. 第41回環境放射能調査研究成果抄録集(平成10年度), 科学技術庁, 1999

杉山英男, 寺田宙. 環境放射能監視と放射線防護に関する研究. 日中笹川医学研究者制度第21期研究者研究報告書, 日中医学協会, 1999

緒方裕光, 山口一郎, 出雲義朗. 無機金属元素による放射線障害回復機構に関する研究. (研究代表者: 緒方裕光) 平成10年度国立機関原子力試験研究成果報告書(第39集), 1999 ; 70-1 ~ 70-4

Community System Towards Twenty-first Century (APACPH). Tokyo. May. 1999

Ogata H, Morlier JP, Monchaux G. **Survival models in the analysis of radiation carcinogenesis experiments**. The 34th Annual Meeting of Japan Health Physics Society. Ohita. May. 1999

Yamaguchi I, Izumo Y, Ogata H, Ohkubo M. **Bone Mineral Density as A Primary Health Indicator. International workshop on health indicator**. Seoul. Mar. 1999

地域環境衛生学部 Department of Community Environmental Science

原 著

福崎紀夫, 原宏, G. P. Ayers. 降水試料保存方法の比較. 大気環境学会誌. 1999 ; 34 : 25-41

内山巖雄, 渡辺征夫. 有害大気汚染物質(ベンゼンなど)の連続測定とその意義. ASTHMA. 1999 ; 12 : 49-52,

小谷野道子, 孫成均, 遠藤治, 後藤純雄, 渡辺征夫, 町井研士, 峯木茂, 松下秀鶴. 低流量・小型カスケードインパクターで分級捕集した空気浮遊粒子の変異原性及びPAH濃度. 環境化学. 1999 ; 9(4) : 955-968

森康明, 節田節子, 後藤純雄, 小野寺祐夫, 中井里史,

松下秀鶴. O-(2,3,4,5,6-ペンタフルオロベンジル)ヒドロキシルアミン含浸シリカゲルを充填したパッシブサンプラーによる室内環境中のアルデヒド類の測定. *Journal of Health Science*. 1999 ; 45(2) : 105-110

相沢貴子, 浅見真理, 小笠原英城, 雨宮潤治, 後藤純雄. 水中有機物の物性変化による光触媒処理特性の評価. 水環境学会誌. 1999 ; 22(11) : 916-920

総 説

久松由東. 大気環境中におけるニトロアレーンの生成とそ

の変異原性. 環境変異原研究. 1999; 21: 141-145

久松由東. 大気浮遊粒子上での強変異原物質の生成. 空気清浄. 1999; 36(5): 327-332

久松由東. 大気環境中の発癌物質. 大気環境学会誌. 1999; 34(6): a43-52

久松由東. プラスチック類の熱分解燃焼反応による変異原物質の生成. かんきょう. 1999; 9: 40-41

原宏. 酸性雨: イオン組成を読み解く. 化学と教育. 日本化学会, 1999; 47: 124-127

原宏. 酸性雨(1) 晴れた日でも「酸性雨」. 理科教室. 1999; 7月号: 69

原宏. 酸性雨(2) 「pH5.6」を点検する. 理科教室. 1999; 8月号: 69

原宏. Robert Angus Smith と酸性雨研究. 環境技術. 1999; 28: 774-778

著 書

久松由東. 臨床検査の新しい展開—環境保全への挑戦, 菅野剛史他編. 環境問題と疾病, 4. 大気汚染, 4) 大気汚染と変異(癌)原物質. 医学書院, 臨床検査, 1999; 43(11): 1319-1326

岩坂泰信, 原宏. 大気汚染物質の増加と大気質変化. 安成哲三, 岩坂泰信, 共編. 岩波講座 地球環境学 3. 大気環境の変化. 岩波書店, 東京. 1999

抄録のある学会報告

石井聰子, 稲津晃司, 秋鹿研一, 久松由東. 変異原物質2-ニトロトリフェニレンの大気浮遊粒子中の濃度. 第40回大気環境学会年会, 1999. 9

久松由東, 及川義貴, 日高久夫, 鈴木仁美. 大気環境中におけるニトロベンズアントロンの生成とその環境動態. 第40回大気環境学会年会, 1999. 9

堤憲明, 稲津晃司, 秋鹿研一, 久松由東. NO₂-O₃-SO₂共存下でのピレンの気-固不均一反応生成物の変異原性とニトロピレンの生成. 第40回大気環境学会年会, 1999. 9

石井聰子, 久松由東, 稲津晃司, 秋鹿研一. 変異原物質, 2-ニトロトリフェニレンの大気浮遊粒子上における生成と濃度. 日本環境変異原学会第28回大会, 1999. 12

久松由東, 浅見博信, 賀田聰, 日高久夫. ポリエチレン, ポリ塩化ビニル等の高分子物質の熱分解, 燃焼反応生成物の変異原性. 日本化学会第76春季年会, 1999. 3

久松由東, 中山貴宏, 賀田聰, 日高久夫. 種々の金属化合物の共存下におけるポリ塩化ビニルの熱分解, 燃焼反応生成物の変異原性. 日本化学会第76春季年会, 1999. 3

原宏. 酸性雨研究の歴史(1): R. A. Smith "Acid Rain" 第40回大気環境学会年会, 1999; 263

原宏, 杉山直樹, 門井守夫, 大山準一, 中館明, 小川完. 南鳥島の降水化学. 第40回大気環境学会年会, 1999; 264.

青木正敏, 小山彩子, 高野賢一, 原宏, 大喜多敏一, 福山力, 内山政弘, 泉克幸, 坂本和彦. アカマツ群落におけるオゾンの沈着速度. 第40回大気環境学会年会, 1999;

294.

原宏, 大喜多敏一, 小山彩子, 高野賢一, 堀江勝年, 青木正敏, 福山力, 内山政弘, 泉克幸, 坂本和彦, 門井守夫. アカマツ群落内における硫酸エアロゾル濃度の高度分布. 第40回大気環境学会年会, 1999; 296

泉克幸, 久米博, 内山政弘, 福山力, 小山彩子, 高野賢一, 堀江勝年, 青木正敏, 原宏, 大喜多敏一, 坂本和彦. アカマツ群落内における硫酸エアロゾル生成の可能性について. 第40回大気環境学会年会, 1999; 295.

原宏, 木村義明. 鳥取における降水の酸性化. 環境科学会1999年会, 1999; 226-227.

渡辺征夫, 池口孝, 柳結子, 西村良子, 泉克幸, 寺島千晶, 古野正浩, 燃焼排ガス中のクロロフェノール類のドレン水/HPLC-電気化学検出器による分析. Separation Sciences '99, 東京. 1999. 6; 26-27

渡辺征夫, 七里玄吾, 牧岡愛美, 泉克幸, 鈴木善三. 練炭燃焼により排出されるガス状汚染物の低減化対策. 第40回大気環境学会, 三重. 1999. 9; 331

渡辺征夫, 中里裕美, 西村良子, 泉克幸, 寺島千晶. 燃却炉排ガスのドレン水中のクロロフェノール類のHPLC/MS/MSによる分析. 第40回大気環境学会, 三重. 1999. 9; 356

渡辺征夫, 山田正人, 田中勝, 大場宏行, 七里玄吾, 谷川昇. 解放光路/FTIR法による廃棄物埋立地からのメタン放出の実態測定. 第40回大気環境学会, 三重. 1999. 9; 464

坂東博, 前田淳, 渡辺征夫, 駒崎雄一, 酒巻史郎, 村野健太郎, 畠山史郎. IGAC調査(3): 窒素酸化物, PAN濃度からみた東シナ海海洋上の高濃度汚染大気の特徴. 第40回大気環境学会, 三重. 1999. 9; 523

渡辺征夫, 中西基晴, 鈴木雅臣, 石井忠浩, Ninong Komala, 富田潤一, 杉田和俊, 小池真, 近藤豊, 川上修司, 小川利紘. 航空機による熱帯から温帯までのPeroxyacetyl Nitrate類(PANs)の観測. 第40回大気環境学会, 三重. 1999. 9; 525

渡辺征夫, 遠藤治, 後藤純雄, 田辺潔, 溝口次夫, 松下秀鶴. β線吸収法とHi-Vol法による都市大気中の浮遊粉塵の測定値の比較, 一東京の2監視局での10年間にわたる間欠測定調査より. 日本分析化学会第48年会, 神戸. 1999. 9; 317

渡辺征夫, 丹後俊郎, 孫成均, 後藤純雄. 測定項目間の相互関係解析法およびその利用; -N88BASICとWINDOWS表計算ソフトとの連携-. 日本分析化学会第48年会, 神戸. 1999. 9; 318

山田正人, 渡辺征夫, 藤井崇, 斎藤聰. 素材リサイクルによる温室効果ガス排出削減量の評価. 第10回廃棄物学会研究発表会, 埼玉. 1999. 10; 110-112

川上修司, 小川利紘, 近藤豊, 北和之, 町田敏陽, 渡辺征夫, D. Blake, B. Liley, 西憲敬. 热帯アジアにおけるバイオマス燃焼および雷放電がオゾンへ与える影響評価のための航空機観測実験(BIBLE): 速報. 第9回大気化学シン

ポジウム研究集会, 豊橋. 1999 ; 150-151

宮崎雄三, 北和之, 川上修司, 小川利紘, 近藤豊, 町田敏陽, 渡辺征夫, 西憲敬, D. R. Blake, B. Liley. **1998年4月の東アジア域上部対流圏における大気微量成分の航空機観測実験.** 第9回大気化学シンポジウム研究集会, 豊橋. 1999 ; 214-215

峯木茂, 菅原二三男, 松尾勝, 内山巖雄, 後藤純雄. ナホトカ号事故による漂着重油中の多環芳香族炭化水素の微生物処理. 日本農芸化学会1999年度大会, 福岡. 1999 . 3 ; 389

松下秀鶴, 後藤純雄, 根津豊彦, 松村年郎, 松本寛. **Ⅲ-1-(1)生活環境空気中の粒子状物質等のキャラクタリゼーションと汚染実態の把握に関する研究.** 大気汚染による健康影響に関する総合的研究第10回研究懇談会, 東京. 1999 . 5 ; 95-103

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 後藤純雄, 渡辺征夫, 宇野秀之, 中村清一, 川本俊弘, 櫻田尚樹, 松野康二, 永倉俊和, 小幡徹. **Ⅲ-2-(3)生物学的暴露マーカーをもつた汚染物質の暴露量把握に関する研究.** 大気汚染による健康影響に関する総合的研究第10回研究懇談会, 東京. 1999 . 5 ; 122-126

中井淳子, 西島知恵, 後藤純雄, 四宮貴久, 池北雅彦. タバコ煙の種々細胞株に及ぼす細胞死誘導効果の比較. 日本薬学会第1999年会, 徳島. 1999 . 3

後藤純雄. **室内空気中の変異原性物質について.** 平成11年度室内環境学会セミナー第2回「室内空気環境」講演会, 東京. 1999 . 11 ; 1-13

小谷野道子, 遠藤治, 後藤純雄, 孫成均, 角田百合絵, 高木敬彦, 雨谷敬史, 松下秀鶴. **室内及び屋外空気中の浮遊粒子の変異原性とPAH濃度.** 平成11年度室内環境学会総会, 東京. 1999 . 12 ; 68-71

孫成均, 杉田和俊, 小谷野道子, 遠藤治, 森康明, 河合昭宏, 後藤純雄. **分級採取粒子試料及びガス状試料中のPAH測定法.** 平成11年度室内環境学会総会, 東京. 1999 . 12 ; 72-73

角田百合絵, 小谷野道子, 後藤純雄, 遠藤治, 高木敬彦, 矢島博文, 石井忠浩. **台所の空気中浮遊粒子に含まれるPAH測定法.** 平成11年度室内環境学会総会, 東京. 1999 . 12 ; 74-75

松村年郎, 濱田実香, 安藤正典, 長田英二, 角野政弥, 後藤純雄, 松本泉. **化学物質及び燃焼生成物による室内汚染.** 平成11年度室内環境学会総会, 東京. 1999 . 12 ; 78-79

後藤純雄, 遠藤治, 松本寛, 麻野間正晴, 平山晃久, 渡辺徹志, 世良暢之, 若林敬二. **日本各地における大気浮遊粉じん, 河川水および土砂試料の変異原性(Ⅱ).** 日本環境変異原学会第28回大会, 岐阜. 1999 . 12 ; 105

高木敬彦, 平井紀子, 光崎研一, 後藤純雄, 遠藤治, 森康明. **動物(犬)尿の変異原性測定法の検討.** 日本環境変異原学会第28回大会, 岐阜. 1999 . 12 ; 110

押尾梓, 後藤純雄, 遠藤治, 小田美光, 白石不二雄, 矢島博文, 石井忠浩. **発光umuテストの簡易化手法による環**

境試料の変異原性測定法の検討. 日本環境変異原学会第28回大会, 岐阜. 1999 . 12 ; 129

宇都宮公子, 町井研士, 後藤純雄, 遠藤治, 松木幸代, 深井文雄, 高木敬彦, 光崎研一, 加藤基恵. **大気浮遊粉じんの細胞間連絡阻害測定法の検討.** 日本環境変異原学会第28回大会, 岐阜. 1999 . 12 ; 137

渡辺征夫, 後藤純雄. **東アジアにおける酸性雨原因物質排出制御手法の開発と環境への影響評価に関する研究(1)酸性雨原因物質の排出制御手法の開発に関する研究③民生用燃焼器具からの酸性雨原因物質の排出制御技術の実用化に関する研究.** 環境庁地球環境研究総合推進費酸性雨研究分野C-3課題研究報告会, 東京. 1999 . 12 ; 47-53

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 渡辺征夫, 後藤純雄, 溝口次夫, 坂本和彦. **東アジアにおける酸性雨原因物質排出制御手法の開発と環境への影響評価に関する研究(2)酸性雨原因物質排出制御の実施に伴う環境影響評価に関する研究①酸性雨原因物質排出制御の実用化と健康影響・評価に関する研究.** 環境庁地球環境研究総合推進費酸性雨研究分野C-3課題研究報告会, 東京. 1999 . 12 ; 21-25

学術報告書等

久松由東, 原宏. **廃プラスチック類の熱分解・燃焼反応に伴う有害化学物質生成の低減化及び生物学的評価に関する基礎的研究.** 平成11年度環境保全研究成果集, 1999 ; 10-1 - 10-16

渡辺征夫, 後藤純雄, 田中勝, 山田正人, 池口孝, 大迫政浩. **廃棄物リサイクルにともなう温室効果ガスの排出制御技術に関する研究.** 地球環境研究総合推進費 平成10年度研究成果報告書, (中間報告Ⅱ) 地球の温暖化(対策). 1999 ; 55-59

田中勝, 井上雄三, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫. **廃棄物処理分野におけるメタン, N₂Oの発生制御対策に関する研究.** 地球環境研究総合推進費平成10年度研究成果報告書, (中間報告Ⅱ) 地球の温暖化(対策). 1999 ; 20-24

渡辺征夫, 後藤純雄. **民生用燃焼器具からの酸性雨原因物質の排出制御技術の実用化に関する研究.** 地球環境研究総合推進費 平成10年度研究成果報告書, (中間報告Ⅲ) 酸性雨, 海洋汚染. 1999 ; 17-21

田中勝, 池口孝, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫, 後藤純雄, 遠藤治. **廃棄物の熱処理に伴う未規制有害物質の制御・管理に関する研究,** 平成10年度環境庁総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集. 1999 ; 1 : 11-1 ~ 11-17

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 渡辺征夫, 後藤純雄, 他. **生体試料測定による地域住民の有害大気汚染物質暴露アセスメントに関する研究.** 平成10年度環境庁総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集. 1999 ; 1 : 14-1 ~ 14-24

渡辺征夫(分担執筆). **亜酸化窒素の排出低減に関する調査研究成果報告書.** 地球環境産業技術研究機構発行. 1999 . 3

渡辺征夫(分担執筆). **エネルギー使用合理化CFC分解**

処理技術開発. 新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境負荷物質低減技術開発委員会発行. 1999 . 3

後藤純雄, 渡辺征夫, 遠藤治, 町井研士. 空気中の微量発癌関連物質の人体曝露測定法および曝露要因に関する研究特に発癌プロモーターを中心として一. (研究代表者:後藤純雄) 平成10年度環境保全成果集, 1999 ; 16-1~16-14

大迫政浩, 後藤純雄. [I 官民共同研究等推進事業] 6. 有害性廃棄物の分析手法の総合化・簡素化に関する研究. (委員長:森田昌敏) 平成9年度調査研究成果の概要, 財団法人廃棄物研究財団. 1999 ; 30-35

後藤純雄. 有害性廃棄物の分析手法の総合化・簡素化に関する研究. 平成10年度報告書, 財団法人廃棄物研究財団. 1999

後藤純雄. 環境中のがん・変異原性物質. 平成10年度「地域保健総合推進事業(総合的地域保健検討事業)」公衆衛生従事者の教育研修教材開発に関する研究 1998年度報

告書, 財団法人公衆衛生振興会. 1999 ; 531-535

後藤純雄. III-1-(1)生活環境空気中の粒子状物質等のキャラクタリゼーションと汚染実態の把握に関する研究. (研究代表者: 松下秀鶴) 平成10年度大気汚染による健康影響に関する総合的研究成果集, 公健協会. 1999 ; 93-101

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 後藤純雄, 渡辺征夫. III-2-(3)生物学的暴露マーカーをもちいた汚染物質の暴露量把握に関する研究. (研究代表者: 内山巖雄) 平成10年度大気汚染による健康影響に関する総合的研究成果集, 公健協会. 1999 ; 119-124

市川勇, 青山旬, 大迫政浩, 後藤純雄, 杉山英男, 寺田宙, 山田和子, 他. 環境保全に関する住民活動と行政の対応~鎌倉市の環境保全団体の実態調査を通して~. 平成11年度専門課程・専攻課程合同臨地訓練報告書, 国立公衆衛生院. 1999 ; 4-1~4-23

Originals

Tahara S, Kitada Y, Nakazawa H, Hisamatsu Y. **Enantiomeric separation of atropine in Scopolia extract and Scopolia Rhizome by capillary electrophoresis using cyclodextrins as chiral selectors.** *Journal of Chromatography A.* 1999 ; **848** : 465-471

Totsuka Y, Ushiyama H, Ishihara J, Sinha R, Goto S, Sugimura T, Wakabayashi K. **Quantification of the co-mutagenic β -carbolines, norharman and harman, in cigarette smoke condensates and cooked foods.** *Cancer Letters.* 1999 ; **143** : 139-143

Goto S, Sugita K, Takagi Y, Kohzaki K, Endo O, Yajima H, Ishii T, Matsushita H. **Size-distribution measurement of mutagenic particles in indoor air.** Proceeding of the 8th International Conference on Indoor Air Quality and Climate, *Indoor Air99.* 1999 ; (4) : 267-272

Mineki S, Goto S, Yajima H, Kato T, Ishii T. **Properties of immobilized mold lipase on polyacrylonitrile resin.** *Material Technology.* 1999 ; **17**(10) : 440-444

Proceedings with abstracts

Hisamatsu Y, Hidaka H, Suzuki H. **Formation of a powerful mutagen, nitrobenzanthrone, in the atmospheric environment.** 17th International symposium on polycyclic aromatic compounds. Bordeaux, France. Oct. 1999

Inazu K, Tsutsumi N, Aika K, Hisamatsu Y. **SO₂-Enhanced nitration of fluoranthene and pyrene**

adsorbed on particulate matter in the heterogeneous reaction in the presence of NO₂. 17th International symposium on polycyclic aromatic compounds. Bordeaux, France. Oct. 1999

Hara H, Kimura Y. **Acidification of precipitation chemistry in Tottori, Japan.** The 3rd. International Symposium on Global Environment and Nuclear Energy Systems. Tokyo. Oct. 1999. ; p. 16, 14-17 (Invited Talk)

Watanabe I, Yamada M, Osako M, Inoue K, Ikeguchi T, Tanigawa N, Matsuzawa Y, Tanaka M. **Methane emission from landfill sites of municipal solid waste in Japan and Southeast Asia.** Second International Symposium on Non-CO₂ Greenhouse Gases (NCGG-2). Noordwijkerhout, The Netherland. Oct. 1999

Shaughnessy TD, Ohe T, Landi S, Goto S, Franzen R, Demarini DM. **Mutation spectra in salmonella TA98, TA100, and TA104 of chlorinated butenoic acids related to MX that are present in chlorinated drinking water.** Environmental and Molecular Mutagenesis, 1999 Environmental Mutagen Society Meeting. Washington D.C., U.S.A. Mar.-Apr. 1999 ; **33**(30) : 56

Endo O, Koyano M, Mineki S, Goto S, Tanabe K, Yajima H, Ishii T, Matsushita H. **Estimation of indoor air PAH concentration increases by cigarette, incense-stick, and mosquito-repellent-incense smoke.** 17th International Symposium On Polycyclic Aromatic Compounds. Bordeaux, France. 1999 ; 187

建築衛生学部

Department of Architectural Hygiene Engineering and Housing

原著

池田耕一, 野崎淳夫, 吉澤晋, 入江建久, 堀雅宏. 開放

型石油暖房機の非メタン炭化水素発生特性 (Part I) 室内VOC, ホルムアルデヒド汚染に関する研究 (その1). 日

本建築学会計画系論文集. 1999 ; (517) : 27-44

池田耕一, 熊谷一清, 堀雅宏, 松村年朗, 野崎淳夫, 木村洋, 飯倉一雄, 吉澤晋. 居住状態における住宅室内の揮発性有機化合物に関する実態調査 日本建築学会計画系論文集. 1999 ; (522) : 45-52

鈴木晃. 高齢者の住宅問題の一般化—二つの選択肢とその課題一. 都市問題. 1999 ; 90(12) : 29-42

鈴木晃. 高齢者・障害者の住宅改善に関する課題とアプローチの方法. 日本の科学者. 1999 ; 34(9) : 435-439

鈴木晃. 住宅改善支援の課題と展望. 建築とまちづくり. 1999 ; (268) : 6-8

高橋美加, 田辺新一, 長谷部ヤエ. 裸体時表面熱抵抗に与える椅子の影響. 日本家政学会誌. 1999 ; 50(10) : 1049-1056

高橋美加, 佐々木昭彦, 内山巖雄, 西田泰. 自動車内における幼児の熱中症の分析. 日本農業気象学会気候影響・利用研究会会報. 1999 ; 16 : 40-48

著 書

池田耕一. 急増する化学物質過敏症. Newton 別冊 : なぜ人は病気になるのか. ニュートンプレス社, 1999 ; 171-177

池田耕一. 室内空気汚染対策としての次世代省エネ基準. 南雄三編. 次世代省エネルギー基準のすべて・木造編. 日本住宅新聞社, 第1部. 1999 ; 29-31

松本恭治, 丸山英氣編著. マンション大百科. 東京法令出版, 1999

抄録のある学会報告

池田耕一, 金森基, 堀木美加, 吉澤晋, 熊谷一清. 室内濃度予測モデルにおけるSink効果に関する研究. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 711-712

池田耕一, 山崎唯史, 野崎淳夫, 吉澤晋. 建材(複合材)からのガス状物質発生機構, 建材由来のVOC, ホルムアルデヒド汚染に関する研究(4). 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 733-734

池田耕一, 赤林伸一, 朴俊錫, 坂口淳, 熊谷一清, 村上周三, 松村年朗. 住宅における化学物質汚染に関する実態調査・その1, 室内化学物質汚染実態に関するデータベースの構築. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 763-764

池田耕一, 山口一, 赤林伸一, 坂口淳, 渡辺澄, 熊谷一清. 住宅における化学物質汚染に関する実態調査・その2, 新潟県の住宅を対象とした居住者意識調査. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 765-766

池田耕一, 熊谷一清, 赤林伸一, 坂口淳, 山口一, 渡辺澄. 住宅における化学物質汚染に関する実態調査・その3, ホルムアルデヒドの実態調査. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 767-

768

池田耕一, 松村年朗, 赤林伸一, 坂口淳, 熊谷一清. 住宅における化学物質汚染に関する実態調査・その4, ホルムアルデヒドのパッシブサンプラーの開発. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 769-770

池田耕一, 野崎淳夫, 山崎唯史, 吉澤晋, 坊垣和明. 室内化学物質汚染低減化対策としてのベイクアウトに関する研究(1), 建材由来のホルムアルデヒド汚染に関する研究(5). 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 785-786

池田耕一, 飯倉一雄, 野崎淳夫, 山崎唯史, 吉澤晋, 坊垣和明. 室内化学物質汚染低減化対策としてのベイクアウトに関する研究(2), 建材由来のホルムアルデヒド汚染に関する研究(6). 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 787-788

池田耕一, 飯倉一雄, 野崎淳夫, 佐藤睦浩, 吉澤晋, 坊垣和明. 室内化学物質汚染低減化対策としてのベイクアウトに関する研究(3), 建材由来のホルムアルデヒド汚染に関する研究(7). 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 789-790

池田耕一, 入江建久, 大村道雄. 室内型空気清浄機の性能比較(その4) ファン・フィルタ式, イオン式, イオン・ファン式の比較. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 807-809

池田耕一, 塩津弥佳, 吉澤晋. 自由記述による『良い空気』についての意識調査. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 821-822

池田耕一, 光田恵, 宮井克典, 吉野博. 高齢者施設における臭気の測定法に関する検討と実測例. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-2, 環境工学II) 825-826

池田耕一, 野崎淳夫, 飯倉一雄, 吉澤晋, 坊垣和明. 室内化学物質汚染低減化対策に関する研究(1), ベイクアウトの実施手順とその評価方法に関する素案. 平成11年度室内環境学会総会, 1999 ; 94-97

池田耕一, 金森基, 土屋禎久, 吉澤晋, 熊谷一清. 吸着特性を考慮したVOC室内濃度予測に関する研究. 平成11年度室内環境学会総会, 1999 ; 128-129

池田耕一, 熊谷一清, 堀雅宏, 松村年朗, 野崎淳夫, 木村洋, 飯倉一雄, 吉澤晋. 居住状態における住宅室内の揮発性有機化合物に関する実態調査. 平成11年度室内環境学会総会, 1999 ; 130-133

池田耕一, 飯倉一雄, 野崎淳夫, 吉澤晋, 坊垣和明. 室内化学物質汚染低減化対策に関する研究(2), 複合材におけるベイクアウト効果. 平成11年度室内環境学会総会, 1999 ; 158-159

池田耕一, 野崎淳夫, 飯倉一雄, 吉澤晋, 坊垣和明. 住宅における建材由来のホルムアルデヒド及びVOC汚染に関する研究(2) 室内化学物質汚染低減化対策としてのベイクアウトに関する研究(1). 空気調和・衛生工学会平成11

年度学術講演会, 1999 ; I : 37-40

池田耕一, 飯倉一雄, 野崎淳夫, 吉澤晋, 坊垣和明. 住宅における建材由来のホルムアルデヒド及びVOC汚染に関する研究 (3) 室内化学物質汚染低減化対策としてのベイクアウトに関する研究 (2). 空気調和・衛生工学会平成11年度学術講演会, 1999 ; I : 41-44

松本恭治, 川崎俊明. 環境衛生からの集合住宅対策の可能性, その1 横浜市の給水台帳データの分析. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集), 1189-1190

川崎俊明, 松本恭治. 環境衛生からの集合住宅対策の可能性, その2 小規模分譲集合住宅の維持管理と受水槽検査について横浜市の給水台帳データの分析. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集), 1191-1192

鈴木晃. 住宅改善支援を遠隔地から支援する方法の検討. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999. 9 ; (学術講演梗概集F-1), 1317-1318

上住津恵, 鈴木晃. 住宅改善実施後の評価. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 397

吉田拓正, 長田泰公, 川口毅, 星山佳治. 幹線道路騒音と住民反応・健康影響との関係. 日本音響学会秋季講演論文集, 1999 ; 647-648

吉田拓正, 徳山久雄. 市街地道路騒音のレベル距離減衰特性. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集D-1), 223-224

吉田拓正. 環境騒音測定における除外データの統計的手法による決定法の検討. 日本騒音制御工学会研究発表会, 1999 ; 179-182

鈴木晃, 金子由美子. 住宅改善におけるジェネラリストへの動機づけと技術移転の方法. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 404

牧上久仁子, 鈴木晃, 石井享子. 住宅改造後のフォローアップを視野に入れた施工前アセスメントシートの提案. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 404

森下かおり, 鈴木晃, 石井享子. 住宅改造の効果とプロセス. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 405

寺田勇人, 鈴木晃, 石井享子. フォローアップの意義と可能性. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999. 10 ; 405

高橋美加, 佐々木昭彦, 西田泰. 幼児の自動車内熱中症死亡事故の分析—気象条件とリスクの認識についてー. 第30回気候影響・利用研究会, 1999 ; 68-71

高橋美加, 永井由美子, 中山栄純, 佐々木昭彦, 内山巖雄. 高齢者の暑熱環境における体温調節とR-R間隔変動. 第69回日本衛生学会, 1999. 3 ; 198

高橋美加, 佐々木昭彦. 国内での乳幼児の自動車内熱中症による死亡事故—気象条件との関係. 日本家政学会第15回大会, 1999 ; 68

高橋美加, 岩田利枝, 木村建一. 有機ハロゲン化合物の屋内濃度調査. 日本建築学会1999年度大会, 広島. 1999 ; (学術講演梗概集), 771-772

高橋美加, 岩田利枝, 木村建一. 有機ハロゲン化合物に関する室内空気調査とリスク評価. 空気調和・衛生工学会学術講演会, 1999 ; 25-28

高橋美加, 佐々木昭彦, 内山巖雄, 永井由美子, 中山栄純. 高齢者の暑熱適応における体温調節とR-R間隔変動のモデル化の試み. 第58回日本公衆衛生学会, 大分. 1999 10 ; 600

学術報告書等

池田耕一. シックハウス症候群. からだの科学. 1999 ; (204) : 12-17

池田耕一. シックハウス症候群について, 健康住宅を考える. 建築設備と昇降記. 1999 ; (18) : 28-35

池田耕一. 室内空気汚染物質と対策のあり方. 化学物質と環境. 1999 ; (34) : 11-14

池田耕一. 木造の科学／シックハウス症候群2. 木の建築. 1999 ; (45) : 30-32

池田耕一. 木造の科学／シックハウス症候群3. 木の建築. 1999 ; (46) : 37-39

池田耕一. 木造の科学／シックハウス症候群4. 木の建築. 1999 (47) : 38-39

池田耕一. 住環境と健康・シックハウス症候群の原因と対策. 産業と環境. 1999 ; 28(10) : 20-27

池田耕一. 最近の室内空気汚染問題・シックハウス症候群. クリーンテクノロジー. 1999 ; 9(5) : 61-66

池田耕一. 化学物質の室内環境汚染問題と実施動向. 建築設備と配管工事. 1999 ; 37(8) : 1-5

池田耕一. 1998年度ASHRAE冬季大会にみるIAQおよび換気研究の動向. ビルと環境. 1999 ; (85) : 52-59

池田耕一. 湿度と皮膚の乾燥感について. オフィス用高温低湿空調の温熱設計用ガイドラインの研究委員会研究報告書（オフィス用高温低湿空調の温熱設計用ガイドラインの策定に関する調査研究(3)). 1999 ; 2.20-2.23

池田耕一. ダク汚染について. 平成10年度厚生省科学研究補助金（生活安全総合研究事業）「建築物の多様化に対応した新たな維持管理手法の構築に関する研究」ビルの維持管理手法検討部会報告書, 第7章. 1999 ; 73-95

池田耕一. 生活時間調査による屋内滞在時間量と活動量について. 国民線量推定のための基礎調査 (X X II), 第IV編. 1999 ; 35-52

池田耕一. 化学物質汚染に関する全国の住宅を対象とした実態調査. 社団法人日本建築学会室内化学物質空気汚染調査研究委員会, 化学物質による室内空気汚染の現状と対策報告会資料. 1999 ; 7-12

池田耕一. 1998年度ASHRAE冬季大会にみるIAQおよび換気研究の動向. 社団法人空気調和衛生工学会, 換気性能評価小委員会平成10年度活動報告書. 第2章, 第5節, 1999 ; 26-34

松本恭治. バブル経済崩壊後のマンション管理問題. 住宅会議. 1999 ; (45) : 24-28

松本恭治."健康住宅"と"Healthy Housing". 大阪保健医雑誌. 1999 ; 27(389) : 17-23

松本恭治. どこにでもたち始めた超高層住宅への疑問.
GA (Global Architecture) JAPAN. 1999 ; 37 : 14
吉田拓正. 環境騒音測定及び交通量調査. (分担) 平成11年度騒音振動の健康影響に関する調査報告書. 東京都. 1999

Reviews

Takahashi M, Koshimizu-Enomoto H, Tochihara Y. **The effect of frequent transfer between hot and cold rooms on human thermal responses - the autonomic nervous system.** *Journal of Human-Environmental System*. 1999 ; 3(1) : 77-83

Proceedings with Abstracts

Ikeda K, Shiotsu M, Yoshizawa S. **Survey of time spent indoors and activity patterns for the dose evaluation of indoor air pollutants.** The 8th International Conference on Indoor Air Quality and Climate, Indoor Air 99. 1999 ; 2 : 876-881

Park J.S., Fujii S. **Evaluation of VOC emissions from solid building materials by diffusion model.** The 8th International Conference on Indoor Air Quality & Climate, Indoor Air 99. Edinburgh, Scotland. 1999

Takahashi M, Iwata T. **A study on thermo-physiological and psychological human responses to simulated direct sunshine in an air-conditioned room.**

鈴木晃. 高齢者・障害者の住宅改善プランを遠隔地から支援するためのアセスメント票とその活用方法の検討. 平成9～10年度科学的研究費補助金（基盤研究C 2）研究成果報告書. 1999 . 3

The 8th International Conference on Indoor Air Quality and Climate. Edinburgh. 1999 ; 1 : 667-672

Takahashi M, Iwata T, Ono M, Kimura K. **Study on the intermediary products in indoor air by oxidative degradation under TiO₂-Photocatalytic action.** The 8th International Conference on Indoor Air Quality and Climate. Edinburgh. 1999 ; 2 : 830-835

Takahashi M, Sasaki A, Uchiyama I, Nishida Y. **Heat-related death of small children left in parked cars during 1985-98 in Japan.** The 10th Global Warming International Conference. Yamanashi. 1999 ; 128

Takahashi M, Sasaki A, Uchiyama I, Nishida Y. **Background of a child's heat-related death in a car.** The 10th Biennial Congress of Asian Regional Association for Home Economics. Yokohama. 1999 ; 314-315

Reports

Ikeda K. **On the indoor radon pollution problems in Japanese houses.** *Journal of Human-Environmental Systems*. 1999 ; 3(1) : 1-26

水道工学部 Department of Water Supply Engineering

原 著

国包章一, 日置潤一, 山田淳, 菅原繁, 寺川幸士. **開発途上国における村落水道整備事業の評価に関する研究.** 公衆衛生研究. 1999 ; 48(3) : 222-230

北澤弘美, 国包章一, 真柄泰基. **水道水源におけるクリプトスピリジウム及びジアルジア実態調査結果の解析.** 水道協会雑誌. 1999 ; 68(4) : 22-31

竹田静雄, 赤澤寛, 国包章一. **ろ過水の濁度. 微粒子数及びF-Iの相互関係.** 水道協会雑誌. 1999 ; 8(1) : 2-11

西村和之, 河本秀夫, 伊藤光明, 国包章一. **ミクロシスチンの簡易測定手法に関する研究.** 水環境学会誌. 1999 ; 22(3) : 222-227

相澤貴子, 澤田恵枝, 浅見真理, 野嶋義教. **水中に存在するヒ素の化学形態別分離定量法と金属塩の影響.** 環境化学. 1999 ; 9(4) : 899-907

相澤貴子, 浅見真理, 小笠原英城, 雨宮潤治, 後藤純雄. **水中に有機物の物性変化による光触媒処理特性の評価.** 水環境学会誌. 1999 ; 22(11) : 916-920

服部和夫, 相澤貴子, 真柄泰基. **実証プラントを用いた二酸化塩素の注入実験.** 水道協会雑誌. 1999 ; 68(8) : 23-31

相澤貴子, 浅見真理, 雨宮潤治. **酸化チタン光触媒.** 水

処理分野への応用.

工業材料. 1999 ; 47(6) : 91-93
伊藤雅喜, 国包章一. **半回分式試験によるナノ濾過膜の評価方法.** 水道協会雑誌. 1999 ; 68(11) : 21-31

伊藤雅喜, 国包章一. **半回分式試験によるナノ濾過膜の基礎的性能評価.** 水道協会雑誌. 1999 ; 68(12) : 29-41

総 説

国包章一. **水道と環境.** 第14回環境工学連合講演会講演論文集. 1999 ; 93-100

国包章一. **トリハロメタンと健康障害.** 日本医師会雑誌. 1999 ; 121(5) : 686

国包章一. **いま知りたい環境問題④. 水道水.** 保健婦雑誌. 1999 ; 55(4) : 334-339

国包章一. **内分泌搅乱作用を疑われている化学物質の水道における実態調査.** 水環境学会誌. 1999 ; 22(8) : 17-18

国包章一. **水道におけるクリプトスピリジウム対策.** 厚生. 1999 ; 54(10) : 17-19.

相澤貴子. **安全な水道水質の確保に向けて—総合アプローチ研究への展望—.** 水道技術ジャーナル. 1999 ; (10) : 13-15

相澤貴子. **塩素代替消毒・酸化剤としての二酸化塩素の**

評価. 造水技術. 1999; 25(3): 27-31

相澤貴子. 塩素処理の現状と課題「環境ホルモンと塩素処理」. 第27回日本環境化学会講演会予稿集. 1999; 19-25

相澤貴子. LC/MSを用いた水質分析—水中残留農薬の分析を中心とし—. 28回日本環境化学会講演会予稿集. 1999; 10: 34-39

秋葉道宏, 国包章一. ドイツにおける水道水源の保全・管理手法. 水利科学. 1999; 43(5): 12-28.

浅見真理, 相澤貴子. 水中の臭素酸一毒性, 生成および制御. *Journal of Health Science*. 1999; 45(6): 344-355.

著 書

国包章一. ダム湖生態系の保全と管理. 岡田光正, 大沢雅彦, 鈴木基之編著. 環境保全・創出のための生態工学. 丸善, 1999; 210-221

国包章一. 水道水源対策. 日本水環境学会編集. 日本の水環境行政. ぎょうせい, 1999; 114-121

国包章一. 人間活動. 茅陽一監修. 2000/2001環境年表. オーム社, 1999; 124-141

住友恒, 伊藤雅喜, 他. 異臭味水の処理. 日本水道協会編. 生物起因の異臭味水対策の指針. 1999; 83-159

相澤貴子. 水環境. 溝口次夫編. 環境学入門. 環境新聞社, 1999; 34-62

相澤貴子. 化学物質と環境. 溝口次夫編. 環境学入門. 環境新聞社, 1999; 83-99

相澤貴子, 浅見真理, 他訳. WHO水道水質ガイドライン第2巻. 真柄泰基監訳. 日本水道協会. 1999

大谷倫子, 相澤貴子, 他. 水道水中のホウ素とその1日全摂取量への寄与. 浅野孝, 丹保憲仁監修. 水環境の工学と再利用. 北海道大図書刊行会, 1999; 306-320

相澤貴子. 水質をめぐるさまざまな問題と対策—水道水を中心として—. 産業と環境オートメレビュー社, 1999; 28(8): 20-23

国包章一, 北澤弘美, 伊藤雅喜, 林広宣, 他. 藻類増殖制御の面から見た公共用水域の水質管理技術の向上に関する研究. 平成10年度環境庁環境保全研究成果集. 1999; (7) 1-15.

抄録のある学会報告

及川栄作, 木村憲司, 加藤竜司, 西野徳三, 国包章一, 阿部隆広, 渡部英, 石橋良信. 表面プラズモン共鳴(SPR)法を応用した新規バイオセンサーによるかび臭物質の検出. 第33回日本水環境学会年会, 1999; 402

大澤忠浩, 桜井豊, 北澤弘美, 国包章一. 浄水処理過程におけるクリプトスボリジウム除去指標としての藻類除去率. 第50回全国水道研究発表会, 1999; 114-115

谷中正直, 白土雅孝, 八木美雄, 国包章一. 湖沼系原水等を対象とした凝集沈殿・高速ろ過の研究. 第50回全国水道研究発表会, 1999; 118-119

江夏輝行, 北澤弘美, 国包章一. 藻類に由来する消毒副生成物生成能の生成特性. 第50回全国水道研究発表会, 1999; 550-551

及川栄作, 加藤竜司, 阿部隆広, 渡部英, 木村憲司, 西野徳三, 国包章一, 石橋良信. 表面プラズモン共鳴法によるかび臭物質の測定. 第50回全国水道研究発表会, 1999; 624-625

国包章一. 凝集沈殿・砂ろ過による浄水処理の効率化—千葉県水道局福増浄水場等における実証実験の途中経過を踏まえて—. 高効率浄水技術開発セミナー, 1999

国包章一. 水道を取巻く諸問題と対応. 第9回水道技術セミナー, 1999; 17-24.

石黒靖尚, 松本尚久, 芦谷俊夫, 相澤貴子. 活性アルミニウムを用いたヒ素汚染地下水の浄化. 第33回日本水環境学会年会, 1999; 54

増田修一, 胡建英, 相澤貴子. オクタノール—水分配係数を用いた低濃度残留農薬の粉末活性炭への吸着性評価. 全国水道研究発表会, 宮崎. 1999

守田康彦, 増田修一, 胡建英, 相澤貴子. NPEO界面活性剤の水処理性と発泡性に関する研究. 全国水道研究発表会, 宮崎. 1999

野嶋義教, 澤田恵枝, 浅見真理, 相澤貴子. 活性アルミニウム吸着法及びNF膜ろ過法を用いたヒ素除去処理—原水の水質因子による影響の評価—. 全国水道研究発表会, 宮崎. 1999

澤田恵枝, 増田修一, 守田康彦, 浅見真理, 相澤貴子. 非イオン界面活性剤(APE)の分析法について. 全国水道研究発表会, 宮崎. 1999

酒井徹志, 井上嘉則, 澤田恵枝, 野嶋義教, 浅見真理, 相澤貴子, 真柄泰基. 河川及び地下水中に存在するヒ素の化学形態別分離定量法及び既存定量法との比較検討. 分析化学会, 1999

胡建英, 守田康彦, 増田修一, 浅見真理, 相澤貴子. フェノール類物質のエストロゲン受容体結合活性に関する構造活性相関. 計算化学討論会, 東京. 1999

雨宮潤治, 小笠原英城, 浅見真理, 相澤貴子. 光触媒によるハロ酢酸類の分解性評価について. 全国水道研究発表会, 宮崎. 1999

相澤貴子, 浅見真理, 雨宮潤治, 岩本卓治. 紫外線処理・光触媒処理による水中有机物の変化と副生成物の生成. 第2回日本水環境学会シンポジウム, 東京. 1999

小笠原英城, 浅見真理, 雨宮潤治, 相澤貴子, 後藤純雄. 河川水の物理化学特性と変異原性による紫外線処理. 光触媒処理の評価. 全国水道研究発表会, 宮崎. 1999

国包章一. 緩速ろ過・急速ろ過・膜ろ過における除去について. 平成11年度飲料水検査技術講習会資料, 全国給水衛生検査協会. 1999; 55-60

早川哲夫. 環境政策手法としての飲料水質基準設定. 環境経済・政策学会, 京都. 1999; 122-3

早川哲夫. 日本における環境関連指標の設定に関する政策論的研究. 日本計画行政学会, 東京. 1999; 43-48

学術報告書等

国包章一, 相澤貴子, 浅見真理. 酸化処理副生成物の安全性評価に関する研究. 清浄で安心な生活環境の創造. 環境低負荷型浄化技術の開発と応用. 平成10年度報告書, 科学技術庁科学技術振興調整費による生活・社会基盤研究班(総括:真柄泰基) 1999

国包章一, 他. 内分泌かく乱化学物質の水道水からの暴露等に関する調査研究. 平成10年度厚生科学研究(生活安全総合研究事業) 報告書(主任研究者:国包章一), 1999

国包章一, 他. 水道水を介して感染するクリプトスボリジウム及び類似の原虫性疾患の監視と制御に関する研究. 平成10年度厚生科学研究(新興・再興感染症研究事業) 報告書(主任研究者:国包章一), 1999

国包章一, 相澤貴子, 北沢弘美, 伊藤雅喜, 浅見真理, 林広宣, 他. 水道における化学物質の毒性. 挙動及び低減化に関する研究報告書(主任研究者:真柄泰基), 1999

相澤貴子, 浅見真理. 有害金属の形態別分離技術の開発と地下水汚染機構解明に関する研究報告書—処理技術—(平成8年度~平成10年度). (主任研究者:真柄泰基) 1999

相澤貴子, 他. 有害金属の形態別分析技術の開発と地下水汚染機構解明に関する研究. 環境庁環境保全研究成果集, 1999; 97-1 ~ 97-31

相澤貴子, 浅見真理, 他. 界面活性剤の水道水源水域の利水過程における挙動と適正管理に関する検討. (主任研究者:真柄泰基) 平成10年度環境保全成果集, 1999

相澤貴子, 他. 未規制化学物質基準化検討調査委員会.

Originals

Hu J, Aizawa T, Magara Y. Analysis of pesticides in water with liquid chromatography / atmospheric pressure chemical ionization mass spectrometry. *Water Research*. 1999; 33(2): 417-425

Asami M, Aizawa T, Morioka T, Nishijima W, Tabata A, Magara Y. Bromate removal during transition from granular activated carbon (GAC) to biological activated carbon (BAC). *Water Research*. 1999; 33(12): 2797-2804

Proceedings with abstracts

Kunikane S, Arai S, Magara Y. Japanese future technical issues related to drinking water quality management. 5th Japan-U.S. Governmental Conference on Drinking Water Quality Management. Colorado Springs, U.S.A. 26-28. Jul. 1999

ダイオキシン調査報告書(主任研究者:真柄泰基) 日本水道協会. 1999

相澤貴子, 他. 界面活性剤の水環境に及ぼす影響に関する調査. 日本水環境学会. (主任研究者:須藤隆一) 1999

相澤貴子, 他. 突発水質汚染の監視対策に関する研究. -平成10年度研究並びに総括-報告書(主任研究者:安藤正典), 日本水道協会. 1999

相澤貴子, 他. 水道原水及び浄水中のダイオキシン類調査マニュアル. 厚生省生活衛生局水道環境部水道整備課. 1999

相澤貴子, 浅見真理, 国包章一, 他. 蛍光偏光度法による外因性内分泌攪乱物質のエストロゲン受容体結合性の測定及び構造活性相関評価. 内分泌攪乱化学物質の水道水からの曝露等に関する調査研究報告書(主任研究者:国包章一), 1999; 229-234

相澤貴子, 浅見真理. 平成10年度酸化処理副生成物の制御を考慮した浄水システムに関する研究報告書. (主任研究者:真柄泰基) 日本水道協会. 1999

国包章一, 早川哲夫, 林広宣. 平成10年度給水用具の試買試験結果報告書. 1999

相澤貴子, 浅見真理. 給水過程における酸化処理の安全性評価に関する研究. 平成10年度給水装置工事に関する研究報告書(主任研究者:相澤貴子), 1999

国立公衆衛生院水道工学部. ハロ酢酸. 平成10年度厚生省基準化検討費報告書, 1999

Y Magara, T Kamei, S Kunikane. Study on environmental endocrine disrupting chemicals in water supply. 5th Japan-U.S. Governmental Conference on Drinking Water Quality Management, Colorado Springs, U.S.A. 26-28. Jul. 1999

Morita M, Ito H, Seki Y, Matumura T, Magara Y, Aizawa T, Ando M. Etanination of low dioxins and PCBs cincentration in ambient water using volume 'in situ' pre-concentration system, halogenated environmental organic pollutants and POPs-Dioxin" symposium, Venice, Italy. 1999; 40: 205-210

Takahashi Y, Ogawa M, Makita N, Nojima Y, Aizawa T, Magara Y. The Removal of arsenic with coagulation and new adsorbants. The 22 World Water Congress of IWSA. 1999

廃棄物工学部 Department of Waste Management Engineering

原著

西村和之, 河村清史, 真柄泰基. 限外ろ過を用いた活性汚泥プロセスにおける蓄積物質の特性とその制御. 水環境学会誌. 1999; 22(7): 54-60

欧阳通, 鳥貝真, 坂井るり子, 王寧, 尹順子, 岩島清, 大迫政浩. 廃棄物中の有害金属類の溶出ポテンシャルに関する研究—逐次抽出法による溶出試験結果の評価—. 廃棄物学会論文誌. 1999; 10(3): 142-151

金容珍, 大迫政浩, 李東勲. 溶存性フミン物質の共存下におけるPCDDs/DFsの水溶解度に関する考察. 廃棄物学会論文誌. 1999; 10(4): 214-223

総 説

田中勝. 今知つておきたい環境問題—ダイオキシン. 保健婦雑誌. 1999; 55(1): 66-73

田中勝. これからのごみ処理技術研究開発の戦略. 都市問題研究. 1999; 51(1): 16-29

田中勝. 廃棄物の定義について—事務系一般廃棄物と産業廃棄物. いんだすと. 1999; 14(2): 2-6

田中勝. 医療廃棄物処理の現状とこれから. 新医療. 1999; (290): 61-64

田中勝. 産業廃棄物処理の現況と将来. MEDICALCORNER. 1999; 104(2): 19-21

田中勝. 有害廃棄物と健康リスク及びその対応. 学術の動向. 1999; 4(3): 58-64

田中勝. ダイオキシン対策のポイント. 環境機器. 1999; 21-23

田中勝. 産業廃棄物とリスクマネジメント. いんだすと. 1999; 14(9): 2-6

田中勝. 廃棄物処理及びリサイクル技術とその開発. 環境研究. 1999; (115): 43-50

田中勝. ごみ減量型ライフスタイルとその実践. かんぽ資金. 1999; (259): 10-15

河村清史. 生活排水とその処理. 保健婦雑誌. 1999; 5(3): 247-255

河村清史. 小型合併処理浄化槽への膜分離技術の応用. 用水と廃水. 1999; 41(5): 27-32

河村清史, 植原豊, 佐藤豊, 中島淳, 渡辺孝雄. 合併処理浄化槽の開発途上国への技術移転. 月刊浄化槽. 1999; (280): 12-21

河村清史. し尿処理分野での膜利用. 水環境学会誌. 1999; 22(4): 22-25

河村清史, 井上雄三, 大迫政浩, 山田正人. ドイツにおける生物作用を用いたバイオ廃棄物の処理. 廃棄物学会誌. 1999; 10(4): 57-65

野馬幸生, 池口孝. 廃棄物最終処分場で排出されるダイオキシン類の濃度レベル. 廃棄物学会誌. 1999; 10(6)

井上雄三. 都市ごみ焼却残渣の処理および有効利用. 下水汚泥資源利用協議会誌－再生と資源－. 1999; 22(84): 14-22.

大迫政浩. 最終処分過程におけるダイオキシン類制御からみた廃棄物処理システムの最適化. 都市清掃. 1999; 52(230): 204-209

大迫政浩, 河村清史, 井上雄三, 山田正人. ドイツにおける廃自動車の適正処理とリサイクルの動向. 生活と環境. 1999; 44(7): 12-16

小野芳朗, 山田正人. 残留性生物濃縮性毒性化学物質のバイオアッセイによるリスク評価—内分泌搅乱物質問題の周縁一. 廃棄物学会誌. 1999; 10(2): 156-169

著 書

田中勝. 現代の問題点…ダイオキシン. さっぽろ文庫 (91) ごみとリサイクル札幌市教育委員会, 1999; 61-72

河村清史, 井上雄三, 大迫政浩, 山田正人, 他分担執筆. 液状廃棄物用語集 (田中勝編集代表). (財) 廃棄物研究財團, 1999

河村清史, 他査読, 真柄泰基, 金子光美監訳. WHO飲料水水質ガイドライン (第2版) (社) 日本水道協会, 1999
大迫政浩 (分担執筆). 装置の開発ニーズと状況 (第7章1). 木村俊範, 中崎清彦監修. 生物系廃棄物コンポスト化技術. シーエムシー, 1999; 99 - 114

抄録のある学会報告

田中勝, 大迫政浩, 河村清史, 山田正人, 松井康弘, 藤井崇, 齊藤聰, 杉山涼子, 栗原和夫. 都市ごみ計画における総合評価と情報提供に関する研究. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10; 192-194

松井康弘, 大迫政浩, 田中勝, 松木祐子. 資源分別回収に対する市民参加とその意識構造に関する検討. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10; 90-92

田中勝, 池口孝, 新井秀澄, 管しのぶ. 事業所等所有小型焼却炉からのダイオキシン類排出実態. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10; 778-780

河村清史, 井上雄三, 大迫政浩, 田中勝, 駒形恭美, 内田真由, 越田亮三. 分解消滅型生ごみ処理装置におけるドッグフードの分解特性. 第20回全国都市清掃研究発表会, 1999. 2; 140-142

金子光美, 平田強, 河村清史, 水田裕之, 諸頭達夫. し尿処理施設の消毒方式見直し調査 (その2) ーし尿処理施設における細菌類の挙動と削減効果ー. 第20回全国都市清掃研究発表会, 1999. 2; 369-371

河村清史, 松尾幸彦, 宮田奈保子. 膜分離を導入した活性汚泥法における高濃度排水の処理特性と生物活性の変化. 第33回日本水環境学会年会, 1999. 3; 238

河村清史. 処理槽と微生物リスク. 第2回日本水環境学会シンポジウム, 東京. 1999. 9; 221-222

池口孝, 田中勝. 廃棄物の野焼きに伴い発生するダイオキシン類調査ー野焼きシミュレーション実験による測定ー. 第20回全国都市清掃研究発表会, 川口. 1999. 2; 406-408

池口孝, 田中勝, 遠藤守也. 事業系小型焼却炉からのダイオキシン排出調査. 第20回全国都市清掃研究発表会, 川口. 1999. 2; 221-223

渡辺征夫, 池口孝, 西村良子, 泉克幸, 寺島千晶, 古野正浩. 燃焼排ガス中のクロロフェノール類のHPLC-電気化学検出器による分析. Separation Science >99, 東京. 1999. 6

今岡務, 家藤治幸, 井上雄三, 原稔, 波多野啓史, 岡田光正. 可溶化と有用生物生産による有機性廃棄物の資源化. 第33回日本水環境学会年会, 1999. 3; 361

野村典広, 今岡務, 波多野啓史, 原稔, 家藤治幸, 井上雄三. 可溶化有機物による有用微生物の生産. 土木学会中

- 国支部第51回研究発表会, 1999. 5 ; 681-682
- 野村典広, 今岡務, 波多野啓史, 原稔, 家藤治幸, 井上雄三. 可溶化による有機性廃棄物の資源化. 土木学会第54回年次学術講演会第7部, 広島. 1999. 9 ; 414-415
- 井上雄三. 資源循型環社会に向けた廃棄物処理システムの評価手法. 第19回農業環境シンポジウム－循環型システムを目指した農業技術の現状と展望－, 1999. 9 ; 57-70
- 井上雄三. し尿・汚泥・生ごみ等の地域総合リサイクル処理システムへの取り組み. 第37回水環境セミナー－次世代に向けた水処理技術への取り組み－, 1999. 9 ; 119-130
- 井上雄三, 金成準, 田中勝, 西村和之. 有機性廃棄物からの乳酸等有機酸の回収技術および回収システムの開発. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 251-253
- 井上雄三, 林泰雄. MAPによる廃水中からのアンモニア性窒素の除去・回収に関する研究. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 331-333
- 今岡務, 野村典広, 波多野啓史, 井上雄三, 家藤治幸. 有機性廃棄物の加圧・加熱処理液による酵母生産. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 328-330
- 井上雄三, 山田正人, 田中勝, 坂口浩範, 小泉美枝子. サブスタンスフローアナリシスによる鉛の移動・蓄積および環境移行特性の把握. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 141-143.
- 田中仁, 木苗直秀, 下位香代子, 山田正人, 井上雄三, 田中勝. 金魚を用いる小核試験およびコメットアッセイによるゴミ焼却場試料の毒性評価. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 1144-1146
- 市川勇, 井上雄三, 山田正人, 田中勝, 大村実, 田中昭代, 村上和雄, 磯部藍, 河村菜穂. 都市ゴミ焼却灰の生体影響をラットの生殖機能に関して評価する方法の実験的研究. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 1150-1152
- 井上雄三, 山田正人, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. 廃棄物ライフサイクルにおける有害物質のサブスタンスフローアナリシス(第2報). 第7回衛生工学シンポジウム, 札幌. 1999. 11 ; 37-42
- 大迫政浩. 酵素免疫測定法の環境モニタリングへの適用可能性－廃棄物管理分野を中心にして－. 免疫化学測定法研究会第4回学術集会, 1999. 6 ; 11-20
- 大迫政浩, 河村清史, 井上雄三, 田中勝, 駒形恭美, 内田真由, 越田亮三. 有機性廃棄物の微生物分解過程におけるアンモニア及びメチルメルカプタンの発生予測モデル. 第12回臭気学会, 1999. 6 ; 95-96
- 大迫政浩, 金容珍, 岩間涼子, 井上雄三, 田中勝. 溶解性フミン物質共存下での難分解性有機汚染物質の凝集沈殿効果. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 955-957
- 大迫政浩, 金容珍, 尹順子, 島岡隆行, 宮脇健太郎, 西垣正秀, 篠原武. ライシメータを用いた都市ごみ焼却飛灰からのダイオキシン類浸出挙動に関する研究. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 892-894
- 田所正晴, 桜井敏郎, 長尾元子, 大迫政浩, 田中勝. 発光細菌を用いた搬入廃棄物の迅速な安全性チェックの検討. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 916-918
- 井坂和一, 山田裕之, 小林茂樹, 松井敏一, 大迫政浩. 促進酸化法によるダイオキシン類除去の基礎的検討. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 904-906
- 王寧, 欧陽通, 坂井るり子, 尹順子, 大迫政浩, 島岡隆行, 宮脇健太郎, 篠原武, 西垣正秀. 大型埋立模型槽に充填後の飛灰中における重金属等の化学形態変化と溶出特性. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 518-520
- 加納佐江子, 小野芳朗, 西村哲治, 山田正人. 廃棄物最終処分場浸出水等の内分泌搅乱性. 第33回日本水環境学会年会, 仙台. 1999. 3 ; 180
- 山田正人, 小野芳朗. 残留性生物濃縮性毒性化学物質のリスク評価. 第2回日本水環境学会シンポジウム. 東京. 1999. 9 ; 237-238
- 山田正人. 資源ごみのリサイクルにおける温室効果ガス放出削減量の評価. 第40回大気環境学会大会, 三重. 1999. 9
- 山田正人, 井上雄三, 橋本昌洋. MRL試験および魚類小核試験の廃棄物試験への適用性について. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 1153-1155
- 小野芳朗, 山田正人. 残留性生物濃縮性毒性化学物質のリスク評価. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 1156-1158
- 森田健志, 山田正人. 公表資料を用いた廃棄物焼却施設におけるプラスチックとダイオキシン類排出に関する一考察. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10
- 松井康弘, 山田正人, 井上雄三, 河村清史, 田中勝, 吉田修司, 河窪義男. し尿処理施設のLCAによる評価事例. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 141-143
- 山田正人, 渡辺征夫, 藤井崇, 斎藤聰. 素材リサイクルによる温室効果ガス排出削減量の評価. 第10回廃棄物学会研究発表会, 大宮. 1999. 10 ; 110-112
- 山田正人, 井上雄三, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. 廃棄物処理分野におけるバイオアッセイ手法の適用について. 第7回衛生工学シンポジウム, 札幌. 1999. 11 ; 24-29

学術報告書等

田中勝, 井上雄三, 山田正人, 市川勇, 他. 廃棄物ライフサイクルにおける有害化学物質のリスクアセスメント手法の開発に関する研究. 厚生科学研究補助金研究成果報告書, 1999

田中勝, 井上雄三, 大迫政浩. 最終処分場のリスク管理のための監視及び修復技術の総合化に関する研究. 総合研究プロジェクト別環境保全成果集(廃棄物の処理と資源化技術に関する総合研究), 1999

田中勝, 井上雄三, 他. 平成10年度広域最終処分場計画調査－廃棄物海面埋立環境保全調査報告書(厚生省委託調査). 1999

田中勝, 池口孝, 大迫政浩, 山田正人. 廃棄物の熱処理に伴う未規制有害物質の制御・管理に関する研究. 環境保全成果集(環境庁一括計上予算), 1999

河村清史. 生物膜分離液からのイオン交換樹脂によるりん除去・回収プロセスの開発. 循環型社会に対応した有機性廃棄物の資源化処理システムの開発研究要旨集(平成10年度), (財)廃棄物研究財団, 1999; 184-192

井上雄三, 他. 有機性廃棄物からの乳酸等有機酸の回収

Reviews

Tanaka M. Recent trends in recycling activities and waste management in Japan. *Jourenal of Material Cycles and Waste Management*. 1999.11 ; 1(1) : 10-16

Ikeguchi T. Training institute for solid waste management in Indonesia-The first project of its kind by Japan's ODA-.ISWA Times . 1999 ; (4)

Books

Tanaka M. Waste Management and Recycling in The 21st Century.: in "REWAs'99 San Sebastian Spain" Sep 7, 1999

Proceedings with abstracts

Tanaka M, Ikeguchi T. Dioxin countermeasure and dioxin emission from small incineration plants. 19th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs. Venis, Italy. Sep. 1999 ; 41 : 279-282

Ohmori H, Yahashi T, Furukawa Y, Kawamura K, Yamamoto Y. Treatment performance of newly developed Johkasous with membrane separation -On-site system for domestic sewage treatment in Japan.

技術および回収システムの開発. 「循環型社会に対応した有機性廃物の資源化処理システムの開発」研究要旨集, 1999 . 3 ; 93-107

松井康弘, 山田正人, 井上雄三, 河村清史, 田中勝, 他. 有機性廃棄物処理システムの技術評価に関する研究. 循環型社会に対応した有機性廃棄物の資源化処理システムの開発研究要旨集(平成10年度), (財)廃棄物研究財団, 1999 ; 65-71

Proceedings of International Specialized Conference on Membrane Technology in Environmental Management, Tokyo. 1999 ; 38-45

Yamamura K, Ikeguchi T, Uehara H. Study on the emission of dioxins from various industrial wastes incinerators. 19th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs, Venis, Italy. Sep. 1999

Ikeguchi T, Tanaka M. Experimental study on dioxins emission from open burning simulation of selected wastes. 19th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs, Venis, Italy. Sep. 1999 ; 41 : 507-510

Yamada M, Inoue Y, Kinai N, Ono Y, Yoshino H, Ichikawa I, Tanaka. M. Application of bioassay to solid waste management: perspective. 第3回韓・日廃棄物学会共同学術発表会, May 1999 ; 105-109

Watanabe I, Yamada M, Ohsako M, Inoue Y, Ikeguchi T, Tanigawa N, Matsuzawa Y, Tanaka M. Methane Emission from landfill sites of municipal solid waste in Japan and Southeast Asia. 2nd International Symposium on Non-CO₂ Greenhouse Gases (NCGG-2) Noordwijkerhout, The Netherlands. Sep. 1999

附属図書館 Library

原 著

丹後俊郎. 検査精度と基準範囲の推定に関する統計学的諸問題. *Japanese Journal of Biometrics*. 1999 ; 19 : 75-102.

丹後俊郎. 疾病地図と疾病集積性—疾病指標の正しい解釈をめざして. 公衆衛生研究. 1999 ; 48 : 84-93

総 説

丹後俊郎. がんの地図作成と疾病集積性の検出に関する方法論最前線. 癌の臨床. 1999 ; 45 : 1253-1260

丹後俊郎. ポアソン分布の確率. 臨床検査. 1999 ; 43 : 816-817

丹後俊郎. これからの医学研究に必須な統計技法—科学研究者に必要なデータを見る目, 解析するセンスー. 日消誌. 1999 ; 96 : 1365-1374

抄録のある学術報告

丹後俊郎. Randomized controlled trial はなぜ必要か?. 第2回日本代替医療学会学術集会, 横浜. 1999. 10 (教育講演)

丹後俊郎. ごみ焼却施設周辺の曝露評価とその方法—茨城県龍ケ崎市新利根町ごみ焼却施設周辺ー. 日本計量生物学会・応用統計学会1999年度合同年次大会, 東京. 1999. 5 (シンポジウム : ダイオキシン類のリスク評価での特別講演)

丹後俊郎. がんの地図作成と疾病集積性の検出に関する方法論最前線. 第22回日本がん疫学研究会, 東京. 1999. 7 (シンポジウム : がんの地理疫学)

磯野威, 山田律子, 泉峰子, 丹後俊郎. 厚生科学研究成果抄録データベースについて. 第12回公衆衛生情報研究協議会, 仙台. 1999. 2 (一般講演)

学術報告書等

丹後俊郎. 統計学的評価. 平成10年度東京都衛生検査所精度管理事業報告書, 東京都衛生局編. 1999; 151-180

Originals

Tango T. Improved confidence intervals for the difference between binomial proportions based on paired data. *Stat. Med.* 1999; **18**: 3511-3513.

Mori H, Taketani Y, Uemura T, Miyake A, Tango T. Rates of endometriosis recurrence and pregnancy 1 year aftertreatment with intranasal Buserelin Acetate: A prospective Study. *J. Obstetrics and Gynaecology Research.* 1999; **25**: 153-164.

柳律子, 磯野威.厚生科学研究成果抄録データベースの概要.医学図書館. 1999; **46**: 309-313

Books

Tango T. Comparison of general tests for disease clustering: in "Disease mapping and risk assessment for public health" (eds. Lawson et al.). John-Wiley & Sons. Chichester. 1999; 111-117

Proceedings with abstract

Tango T. An extended score test for detecting clusters around putative sources. International Conference on the Analysis and Interpretation of Disease Clusters and Ecological Studies. London. Dec. 1999